

国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成27年度（2015）



口絵 1 国文学研究資料館（外観）



口絵 2 国際日本文学研究集会



口絵3 連続講座



口絵4 アーカイブズ・カレッジ

はじめに

国文学研究資料館は昭和 47（1972）年、我が国初の文系大学共同利用機関として品川区戸越に創設されました。戸越から立川への移転後 8 年を経て、新天地での事業・研究体制も軌道に乗り、創設以来継続してきた調査・収集事業、また充実した設備を生かした展示に加え、人文系初の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を滞りなく実施・遂行しています。

「グローバル」ということが盛んに唱えられる昨今、日本文学研究においても「国際共同研究」は多くの大学、研究機関で行われていますが、その実情は、日本語能力の優れた外国人研究者との交流と日本語を解する海外研究者グループへの情報発信にとどまっています。

しかし、私たちがフランス語もドイツ語もロシア語も読めないままに、バルザックやゲーテやドストエフスキーに親しんできたように、海外には日本語を読めない日本文学愛好家も決して少なくはありません。そのような人々にも、私たちの研究成果を届けることこそが、本当の「グローバル化」ではないでしょうか。

そのような思いから、国文学研究資料館では従来の対外的な国際交流に加えて、内なる国際共同を実現するために、優秀な若手外国人教員の採用に踏み切り、2 年後に開始予定の国際日本文学研究のオンライン・ジャーナルの発信と国際共同研究の強化をめざして、米国とフランスから助教と准教授を迎えたところです。

一方、館創設以来の国文学資料の調査・マイクロフィルム収集事業は、全国各地の調査員の協力を得てすでに 20 万点を超え、100 年、200 年後までの保存体制を確立していますが、その調査・収集の過程で少なからぬ所蔵者の方々から国文学資料の保管と研究利用の実績が評価され、貴重な所蔵典籍の寄贈が相次いでいます。これまでに、高名な国語国文学研究者、橋本進吉、久松潜一、福井久蔵、西下経一、長谷章久、後藤重郎、高乗勲諸氏の蒐集典籍を初めとして、田安德川家の田藩文庫、山鹿積徳堂文庫、鵜飼文庫等の大型コレクションの寄贈を受け、マイクロフィルムだけでなく原本の館蔵書も着々と充実しています。それらに加え、このたび新たに『伊勢物語』の世界最大のコレクション「鉄心斎文庫」の『伊勢物語』伝本、注釈書、カルタ、屏風等の関連資料 1000 余点を、鉄心斎文庫伊勢物語文華館の館長芦澤美佐子氏よりご寄贈いただきました。

館では早速その目録作成をめざした共同研究を発足させ、併せて来年度には「鉄心斎文庫伊勢物語展」を開催すべく、準備に取りかかっています。

本年度より、国立大学法人ならびに大学共同利用機関法人は、第 3 期中期目標・中期計画に向けての活動が始まります。国文学研究資料館は、大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を中心に、これまでの実績を活かしつつ、大学共同利用機関としての使命をはたしていく所存です。

人間文化研究機構

国文学研究資料館

館長 今西 祐一郎

国文学研究資料館年報

平成 27 年度 (2015)

目 次

館長挨拶

I	共同研究	1
1.	基幹研究	1
2.	特定研究	7
3.	国際連携研究	16
II	情報事業センター	18
1.	調査収集事業部	18
2.	電子情報事業部	20
3.	情報資料サービス事業部	26
4.	学術企画連携部	38
III	古典籍共同研究事業センター	49
IV	新収和古書一覧	54
V	各教員実績一覧	59
VI	科学研究費助成事業実績一覧	95
VII	刊行物一覧	96
VIII	外国人教員・外来研究員	97
IX	海外出張・研修一覧	98
X	各種委員会一覧	100
X I	運営会議委員・幹部職員一覧	138
X II	大学院教育	140
X III	管理運営 (総務・財務)	141
付	賛助会	145

I 共同研究

1 基幹研究

【日本古典文学における〈中央〉と〈地方〉】

研究代表者：寺島恒世（国文学研究資料館研究部教授）

研究分担者：

浅田 徹	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授
岩城 賢太郎	武蔵野大学文学部准教授
神楽岡 幼子	愛媛大学法文学部教授
久保木 秀夫	鶴見大学文学部准教授
小助川 元太	愛媛大学教育学部准教授
小林 一彦	京都産業大学日本文化研究所所長（教授）
佐々木 孝浩	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授
鈴木 元	熊本県立大学文学部教授
妹尾 好信	広島大学大学院文学研究科教授
高橋 秀城	大正大学表現学部非常勤講師
高橋 悠介	神奈川県立金沢文庫学芸員
徳岡 涼	熊本大学文学部附属永青文庫研究センター特任准教授
中野 貴文	東京女子大学現代教養学部准教授
野本 瑠美	島根大学法文学部准教授
福田 安典	日本女子大学文学部教授
三村 晃功	京都光華女子大学名誉教授
海野 圭介	国文学研究資料館研究部准教授
落合 博志	国文学研究資料館研究部教授
小林 健二	国文学研究資料館研究部教授
小山 順子	国文学研究資料館研究部准教授
齋藤 真麻理	国文学研究資料館研究部教授
石澤 一志	国文学研究資料館研究部特定研究員
大野 順子	国文学研究資料館研究部機関研究員

（1）概要

最終年度の本年度は、研究成果公表として、研究会を1度、シンポジウムを2度開催した。シンポジウムは、春に国文学文献資料調査員会議の「調査収集シンポジウム」として、秋に愛媛大学・宇和島伊達文化保存会との共催で「宇和島伊達四〇〇年記念祭」として催

し、後者では併せてワークショップも行った。

(2) 活動記録

【研究会】

研究会 2015年5月22日(金) 国文学研究資料館 オリエンテーション室

- ①浅田 徹「能因「東国風俗五首」を読む—地方へのまなざし—」
- ②中野 貴文「蓮田善明が鴨長明に見たもの」
- ③三村 晃功「『夫木和歌抄』における出典注記の謎—「歌林良材」をめぐる—」

【シンポジウム】

①調査収集シンポジウム 2015年5月21日(木) 国文学研究資料館 大会議室

「文芸・宗教における九州—〈中央〉と〈地方〉の関わりから—」

司会・寺島恒世

高橋秀城「根来寺と坊津一乗院」

石澤一志 「今川了俊研究の現在」、鈴木元「「菊池万句」をめぐる幾つかの問題」

②宇和島伊達四〇〇年記念祭 シンポジウム 2015年10月18日(日)

愛媛県宇和島市 南予文化会館

「宇和島再発見一人・文化・学問—」

司会・小助川 元太

三浦和尚「三輪田米山の魅力」

福田安典「宇和島の学問」、伊井春樹「宇和島の文化」

【ワークショップ】

宇和島伊達四〇〇年記念祭 ワークショップ

「つどい・まなび・あそび—宇和島文化探訪」2015年10月17日(土)

愛媛県宇和島市 木屋旅館

司会・福田安典

岩城賢太郎「宇和島藩の能楽—『乱舞方重習』を手掛かりに—」

小林健二「もう一つの能楽の楽しみ方—『能絵鑑』と『指面』」

神楽岡幼子「村候公時代の芝居」

[研究成果]

岩城賢太郎「『源平盛衰記』漢字片仮名交じり整版本の版行と流布—敦賀屋久兵衛奥付本・無刊記整版本・寛政八年整版本・寛政八年整版関連本をめぐる—」、松尾葦江編『文化現象としての源平盛衰記』、笠間書院、2015年5月

福田安典「日本女子大学本『大和八条村孝子聞書』について」、『上方文藝研究』12号、2015年6月

赤瀬信吾・鈴木元(共著)冷泉家時雨亭叢書九三『草根集 上』、朝日新聞社、解題 2015年7月

石澤一志他「室町期歌会資料集成稿—积文と略解題—(一)」『研究と資料』73、2015

年 7 月

齋藤真麻理「黒白争闘—『鵜鷺合戦物語』攷—」、『いくさと物語の中世』、汲古書院、2015 年 8 月

高橋秀城「根来寺の「信仰」と「聖教」—パネリストの報告を受けて—」、『説話文学研究』50 号、2015 年 10 月

海野圭介「慶長前後における書物の書写と学問」、『形成される教養—十七世紀日本の(知)』、勉誠出版、2015 年 11 月

神楽岡幼子「明治期(前期)宇和島の演劇事情」、『愛文』50 号、2015 年 12 月

小林一彦・鈴木元(共著)冷泉家時雨亭叢書九二『中世私家集十二』、朝日新聞社、2015 年 12 月

妹尾好信「宮城県図書館蔵猪苗代兼如増注『源氏物語抄(紹巴抄)』について」、『広島大学大学院文学研究科論集』75 卷、2015 年 12 月

石澤一志他「室町期歌会資料集成稿—釈文と略解題—(二)」、『研究と資料』73、2015 年 12 月

高橋秀城「頼喩の夢—詫磨為遠筆の文殊像をめぐって—」、『絵解きと伝承そして文学』、方丈堂出版、2016 年 1 月

鈴木元・安井重雄(共著)冷泉家時雨亭叢書九五『歌林良材集—歌合集—続』、朝日新聞社、2016 年 2 月

佐々木孝浩「守護大名大内氏関連和歌短冊集成(稿)」、『斯道文庫論集』50、2016 年 2 月
寺島恒世「文芸・宗教における九州—〈中央〉と〈地方〉の関わりから—」、『調査研究報告』、36 号、2016 年 3 月

高橋秀城「坊津一乗院における(中央)と(地方)」、『調査研究報告』、36 号、2016 年 3 月

石澤一志「今川了俊研究の現在」、『調査研究報告』36 号、2016 年 3 月

鈴木元「『菊池万句』をめぐる幾つかの問題」、『調査研究報告』、36 号、2016 年 3 月

徳岡涼「熊本大学附属図書館寄託永青文庫蔵『幽斎様年中御祝之次第』について」、『調査研究報告』36 号、2016 年 3 月

徳岡涼「〔改訂〕飛鳥井家からの蹴鞠聞書「飛鳥井殿江聞書百拾式箇條」紹介」、『熊本大学附属永青文庫研究センター年報』第 7 号、2016 年 3 月

高橋秀城「白蓉軒桂豁の川崎大師参詣記—関西大学図書館蔵「大師河原紀行」(『一日之柴折』)翻刻」、『智山学報』65、2016 年 3 月

石澤一志他「尊経閣文庫蔵『常徳院殿詠草』—釈文・略解題—」、『埼玉大学紀要—教養学部』51-2、2016 年 3 月

【民間アーカイブズの保存活用システム構築に関する基礎研究】

研究代表者：大友一雄（国文学研究資料館研究部教授）

研究分担者：

浅倉 有子	上越教育大学大学院学校教育研究科教授
三宅 正浩	岡山大学社会文化科学研究科准教授
岩淵 令治	学習院女子大学国際文化交流学部教授
平井 義人	大分県立芸術緑丘高等学校校長
白井 哲哉	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授
西向 宏介	広島県立文書館副主任研究員
福島 幸宏	京都府立図書館総務課企画調整係副主査
小川 正人	北海道立アイヌ民族文化研究センター研究主幹
菅野 直樹	防衛省防衛研究所戦史研究センター史料室主任研究官
降幡 浩樹	松代文化施設等管理事務所学芸員（係長）
山中 さゆり	松代文化施設等管理事務所専門員
早川 和宏	国文学研究資料館研究部客員教授（東洋大学法学部法律学科・教授）
青木 睦	国文学研究資料館研究部准教授
太田 尚宏	国文学研究資料館研究部准教授
西村 慎太郎	国文学研究資料館研究部准教授
加藤 聖文	国文学研究資料館研究部准教授
種村 威史	国文学研究資料館研究部機関研究員

（１）概要

本研究では、「民間アーカイブズ論構築班」「民間アーカイブズ調査研究班」の２班により調査研究活動を行った。前者では、調査、伝来、収集整理、編成記述、情報公開、公共活用、物理的保存管理という７つの活動に即して民間アーカイブズの特質と課題を析出し、成果論集を見据えた議論のとりまとめを目指した。後者では、実践モデルである長野県松代地域について研究成果論集を編集・刊行し、東京都多摩地域では三多摩公立博物館協議会と共同で公開研究会を開催して、継続的な地域連携の構築を図った。

（２）活動記録

【研究会】

①第１回研究会（民間アーカイブズ論関係研究会）

平成 27 年 5 月 30 日（土）国文学研究資料館第 2 会議室

- 1 渡辺浩一 『『地域消滅』論と民間アーカイブズ』
- 2 松本洋幸 「地域資料の追跡調査—横浜市を事例として—」
- 3 長谷川伸 「地域における『史料保存運動』の成果と課題」

②第２回研究会（民間アーカイブズ論関係研究会：論文構想発表会）

平成 27 年 10 月 3 日(土) 国文学研究資料館第 2 会議室

- 1 新井浩文「民間所在史料の保存と活用—これまでとこれから—」
- 2 早川和宏「民間アーカイブズの保存活用をめぐる法的課題」
- 3 大友一雄「戦後の学術資料保存の取り組みと国立史料館構想」
- 4 松下正和「区有文書の保存と活用—兵庫県丹波市の事例—」
- 5 白井哲哉「原子力災害被災地における民間アーカイブズの救出・保存・活用」
- 6 西向宏介「文書館における地域史料所在状況把握の取り組み—広島県の場合—」
- 7 小川正人「アイヌ文化・アイヌ史に関するアーカイブズ—展望と課題—」
- 8 太田尚宏「民間アーカイブズの保全と地域連携—東京都多摩地域での取り組みを事例に—」
- 9 西村慎太郎「郷土史研究の展開と民間所在資料保全の可能性」
- 10 種村威史「民間所在資料の目録作成と公開をめぐる諸問題」
- 11 青木 睦「民間アーカイブズの保存のためのモデルケース」
- 12 加藤聖文「公共記録としての民間文書—地域共同体再生論—」
- 13 平井義人「運動態としての民間アーカイブズを考える」
- 14 渡辺浩一『『地域消滅』論と民間アーカイブズ」
- 15 工藤航平「北海道における民間アーカイブズの特質」
- 16 高木秀彰「自治会所蔵文書と地域アーカイブズ」(紙上参加)

【資料調査】

- ①西村慎太郎・渡辺浩一・太田尚宏ほか 長野県長野市真田宝物館 1/30-2/1(地域実践モデル関連調査)
- ②西村慎太郎 埼玉県秩父市中町今宮神社 1/22-1/24(地域実践モデル関連調査)

【シンポジウムなど】

公開研究会「博物館における調査・運営に関する法的問題とその対応」

平成 28 年 2 月 16 日(火) 国文学研究資料館大会議室 参加者 50 名

【研究成果】

国文学研究資料館編『近世大名のアーカイブズ資源研究—松代藩・真田家をめぐって—』
(思文閣出版、平成 28 年 3 月)

【民間アーカイブズの保存活用システム構築に関する基礎研究】

研究代表者：小林 健二 (国文学研究資料館研究部教授)

研究分担者：

伊藤 鉄也	国文学研究資料館研究部教授
大高 洋司	国文学研究資料館研究部教授
大友 一雄	国文学研究資料館研究部教授
落合 博志	国文学研究資料館研究部教授

神作 研一	国文学研究資料館研究部教授
齋藤 真麻理	国文学研究資料館研究部教授
田中 大士	国文学研究資料館研究部教授
谷川 恵一	国文学研究資料館研究部教授
陳 捷	国文学研究資料館研究部教授
寺島 恒世	国文学研究資料館研究部教授
山下 則子	国文学研究資料館研究部教授
渡辺 浩一	国文学研究資料館研究部教授
相田 満	国文学研究資料館研究部准教授
青木 睦	国文学研究資料館研究部准教授
青田 寿美	国文学研究資料館研究部准教授
入口 敦志	国文学研究資料館研究部准教授
海野 圭介	国文学研究資料館研究部准教授
太田 尚宏	国文学研究資料館研究部准教授
加藤 聖文	国文学研究資料館研究部准教授
小山 順子	国文学研究資料館研究部准教授
西村 慎太郎	国文学研究資料館研究部准教授
江戸 英雄	国文学研究資料館研究部助教
恋田 知子	国文学研究資料館研究部助教
野網 摩利子	国文学研究資料館研究部助教

(1) 概要

研究初年度の本年は、昨年度の試行を踏まえ、担当教員のタグ付け対象書目を確認した上で、各自に作業を進めた。古典籍共同研究事業センター連携委員会における全体の進行状況を踏まえつつ進行の加速を図るとともに、JPEG 画像+Excel、または Access による現行の方法を見直し、作業の効率化を図るため、新たな方法を導入することとした。

7月からはRAによる補助作業を併せて行うこととし、習熟のための準備期間ののち、作業を委嘱した。

(2) 活動記録

【研究会】

古典籍共同研究事業センター連携委員会（平成27年4月22日・9月16日・12月16日・平成28年3月16日開催）の場において、担当教員相互に作業進捗状況を確認し合うとともに、タグ付け作業の問題点や新たな方法の検討等を行った。

【研究成果】

本年度にタグ付け作業を行った書目とコマ数は以下の通りである。

①教員担当

書目

敵討連理橘・西山物語・いろは酔故伝・蜻蛉日記・百人一首一夕話（巻一～六）・和歌色葉・武鑑（享和元年）・琴曲抄・画本虫撰・潮干のつと・絵本松のしらべ・小紋雅話・絵本見立仮譬尽・画本わかぬ浦・

袖中抄・国産考・武鑑（文化4年）・武鑑（文化7年）・武鑑（文化6年）・成形図説・絵本武者備考（上中下）・英雄百人一首・絵本堪忍記・武鑑（文化8年）・武鑑（文化9年）・武鑑（文化10年）

計 34点 コマ数 7,958コマ

②RA担当

書目

入鹿・馬そろへ・笈さがし・景清・切兼曾我・大職冠（4点）・富樫・浜出・伏見常盤・舞の本・幸若音曲曾我物集・舞・夢合・徒然草（4点）・絵本徒然草・徒然草新註

計 22点 コマ数 1,312コマ

総計 53点 コマ数 9,270コマ

【その他】

作業の効率化を図るため新たな方法を導入することに関し、古典籍共同研究事業センター特任助教の協力を得た。

2 特定研究

【万葉集伝本の書写形態の総合的研究】

研究代表者：田中大士（国文学研究資料館研究部教授）

研究分担者：

小川 靖彦	青山学院大学教授
城崎 陽子	國學院大學兼任講師
新谷 秀夫	高岡市万葉歴史館総括研究員
景井 詳雅	洛星中高等学校教諭
池原 陽斎	東洋大学非常勤講師
野呂 香	国文学研究資料館研究部機関研究員

(1) 概要

当共同研究の目的である『新万葉手鑑』作成のために、まず、第4回、第5回と調査の成果報告が行われ、第6回の研究会では『新万葉手鑑』原稿案の発表を行い、討議を重ねた。

(2) 活動記録

【研究会】

①第4回研究会

平成27年8月28日(金) 国文学研究資料館 第2会議室

- 1 大石 真由香「陽明文庫所蔵『古活字本万葉集』書入の性格」
- 2 樋口 百合子「細川本『歌枕名寄』に見る万葉集長歌の享受とその特質」

②第5回研究会

平成26年12月25日(金) 国文学研究資料館 第2会議室

- 1 田中大士「柘枝切の新出資料—柘枝切は寛元本か—」
- 2 高松寿夫「伊達文庫本万葉集調査報告」

③第6回研究会

平成27年3月18日(金) 国文学研究資料館 第2会議室

- 1 『新万葉手鑑』原稿の発表及び検討

【資料調査】

嘉村雅江 9/17～18 天理大学附属天理図書館 (資料調査)

野呂 香 10/31 石川武美記念図書館 (資料調査)

野呂 香 1/20～21 京都大学附属図書館 (資料調査)

野呂 香 3/1～3 京都大学附属図書館 (資料調査)

【研究成果】

池原陽齊「平安時代中期における『万葉集』伝来の一様相」(『上代文学』第114号 平成27年4月 P53-67)

池原陽齊「仮名万葉文献として見た『赤人集』」(『国語国文』第84巻4号 平成27年4月 P1-13)

田中大士「万葉集忠兼本の系譜」(『国語国文』第84巻第11号 平成27年11月 P1-18)

田中大士「万葉集仙覚校訂本における親行本の扱い」(『美夫君志』第92号 平成28年3月、P1-12)

【中世古今集注釈書の総合的研究—「毘沙門堂本古今集注」を中心に—】

研究代表者：山本登朗 (関西大学教授)

研究分担者：

浅田 徹	お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科教授
大谷 節子	成城大学文芸学部教授
岡崎 真紀子	奈良女子大学研究院人文科学系准教授
鈴木 英之	早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員
田淵 句美子	早稲田大学教育総合科学学術院教授
近本 謙介	筑波大学人文社会系准教授
蔦 清行	大阪大学日本語日本文化教育センター准教授

濱中 祐子	京都学園大学非常勤講師
小山 順子	国文学研究資料館研究部准教授
落合 博志	国文学研究資料館研究部教授

(1) 概要

本研究は、本年度が当初年度であり、研究期間の各年度に2回の研究会実施を予定している。第1回研究会では、本特定研究の中心資料となる『毘沙門堂本古今集注』原本をグループ閲覧した上で、今後の研究計画、研究成果の公開についての協議をもった。第2回研究会では、3名による研究発表を行った。また、各自の研究と並行して、『毘沙門堂本古今集注』の正確を期した翻刻データを作成している。

(2) 活動記録

【研究会】

①第1回研究会

平成27年7月19日(日) 国文学研究資料館第1会議室

- 1 景井詳雅「毘沙門堂古今集注と萬葉集」
- 2 蔦清行「『毘沙門堂本古今集注』声点の文献学的検討」
- 3 落合博志「『毘沙門堂古今集注』の書誌的問題」
- 4 総括

②第2回研究会

平成28年3月5日(土) 国文学研究資料館第1会議室

- 1 松本大「毘沙門堂古今集注と物語注釈」
- 2 岡崎真紀子「毘沙門堂本古今集注に現れた語学的方法—仮字反(かながえし)を中心に」
- 3 海野圭介「『五藏曼陀羅和會釋』と和歌注釈」
- 4 総括

【出張・資料調査】

舟見一哉 6/20-21 関西大学(中古文学会第40回例会にて口頭発表)

小山順子 6/20-21 関西大学(舟見氏の発表を聴講・情報収集)

景井詳雅 6/25 国文学研究資料館(資料調査)

濱中祐子 7/18 国文学研究資料館・愛知文教大学(資料調査)

【研究成果】

口頭発表・舟見一哉「『毘沙門堂本古今集注』系古注の伝本整理」(中古文学会第40回例会、2015.6.20 於関西大学)

論文・舟見一哉「前田育徳会尊経閣文庫蔵『古今和歌集注』(零本)翻刻と解題——「毘沙門堂本古今集注」再考のために——」『国文学研究資料館紀要 文学篇』第42号、2015年3月

【日本の近世における中国漢詩文の受容－三体詩・古文真宝の出版を中心に】

研究代表者：高橋智（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授）

研究分担者：

青山 英正	明星大学人文学部准教授
伊藤 善隆	湘北短期大学総合ビジネス学科教授
合山 林太郎	大阪大学コミュニケーションデザインセンター准教授
染谷 智幸	茨城キリスト教大学文学部教授
中川 豊	中京大学文学部准教授
林 望	作家・書誌学者
福井 辰彦	上智大学文学部准教授
陳 捷	国文学研究資料館研究部教授
神作 研一	国文学研究資料館研究部教授
金田 房子	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター特任准教授

（１）概要

研究会は都合 6 回開催。

「高橋智先生の中国目録学講座」（毎回 14 時 30 分から 16 時。公開）で中国目録学のイロハを学び、残りの大半の時間を書誌調査に費やした。

（２）活動記録

【研究会】

- ①第 1 回研究会 5 月 22 日(金) 国文学研究資料館第 1 会議室、10 時 30 分から 17 時まで
 - ②第 2 回研究会 6 月 19 日(金) 同 上
 - ③第 3 回研究会 7 月 24 日(金) 同 上
 - ④第 4 回研究会 10 月 23 日(金) 同 上
- *この日に限り高橋代表による「中国書誌学講座」。
- ⑤第 5 回研究会 11 月 20 日(金) 同 上
 - ⑥第 6 回研究会 12 月 18 日(金) 同 上

【資料調査】

2016 年 3 月 17 日 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫（関係文献調査）
18 日 静嘉堂文庫（同）

参加者は 10 名（高橋代表・青山・伊藤・合山・中川・林・福井・金田・陳捷・神作）。

【研究成果】

2 年目である今年度は、毎回全員で「高橋智先生の中国目録学講座」を受講することによって、中国目録学の理念と体系について理解を深め、それを皆で共有しつつ、書誌調査に精励した。書誌カードの著録はおよそ 40 点。

○林 望「研究ノート／仁和寺旧蔵古活字版『魁本大字諸儒箋解古文真宝（後集）』について」（『国文研ニュース』41号、国文学研究資料館、2015年10月）

○合山林太郎「高橋智先生の中国目録学講座」受業記」（『国文研ニュース』43号、2016年4月刊予定）

【その他】

「高橋智先生の中国目録学講座」には、毎回、館内の多くの司書たちが参加しているほか、首都圏の大学院生や若手研究者も大勢聴講に来ている。彼らがやがて中国目録学を体得した上で、日本書誌学への理解を深めてゆくことも、本研究のささやかな「ねらい」の一つである。

【短冊手鑑の内容と成立に関する研究】

研究代表者：中村健太郎（帝京大学短期大学助教）

研究分担者：

久保木 秀夫	鶴見大学准教授
田中 潤	国立文化財機構東京文化財研究所研究補佐員
舟見 一哉	文部科学省初等中等教育局教科書調査官
別府 節子	出光美術館学芸員
緑川 明憲	慶應義塾横浜初等部教諭
山本 啓介	新潟大学准教授
入口 敦志	国文学研究資料館研究部准教授
海野 圭介	国文学研究資料館研究部准教授
石澤 一志	国文学研究資料館研究部特定研究員

（1）概要

鎌倉時代から江戸時代初期頃までに染筆された1,200点あまりの短冊を収める毛利家旧蔵の短冊手鑑「筆陳」（上下2帖）を直接の対象とし、所収される短冊の内容と筆跡、製作年代などについて基礎的な調査を行い、画像データを作成した。また、研究会を開催し、短冊を対象とした調査手順や研究手法の検討と、短冊資料を用いた研究手法や視点に関する報告を行った。

（2）活動記録

[研究会等]

○第1回研究会

平成27年5月9日（土） 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

研究代表者挨拶

研究発表 中村健太郎「後西天皇による短冊手鑑製作について」

資料調査 短冊手鑑、短冊関係資料の調査

共同研究打ち合わせ（今後の共同研究の計画、成果発表などについて）

○企画調整会議

平成 27 年 6 月 12 日(金) 株式会社 三弥井書店

成果報告等調整 (中村・海野)

○第 2 回研究会

平成 27 年 8 月 4 日(火)～5 日(水) 八代市立博物館未来の森ミュージアム

資料調査・討議

○第 3 回研究会

平成 28 年 1 月 20 日(水) 国文学研究資料館

研究発表 中村健太郎 中世の短冊資料の諸問題—新収の短冊手鑑「筆陳」を中心として

共同研究打ち合わせ (今後の共同研究の計画、成果発表などについて)

[資料調査]

中村健太郎 8 月 4 日～5 日 八代市立博物館未来の森ミュージアム

入口 敦志 8 月 4 日～5 日 八代市立博物館未来の森ミュージアム

石澤 一志 8 月 4 日～5 日 八代市立博物館未来の森ミュージアム

海野 圭介 8 月 4 日～5 日 八代市立博物館未来の森ミュージアム

別府 節子 2 月 22 日～24 日 名古屋市内、西尾市岩瀬文庫、逸翁美術館

[研究成果]

○学会における報告

中村健太郎「後西天皇の和歌と諸芸」和歌文学会 7 月例会、2015 年 7 月 18 日(土)、駒澤大学

○学術論文

海野圭介「短冊の愉しみ」書物学 6、勉誠出版、2015 年 11 月

別府節子「出光美術館蔵古筆手鑑『墨寶』について」出光美術館研究紀要 21 2016 年 1 月

海野圭介「国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」(99-136) 影印・解題」調査研究報告 36 2016 年 3 月

[その他]

中村健太郎「中世の短冊資料の諸問題—新収の短冊手鑑「筆陳」を中心として」第 42 回国文研フォーラム、平成 28 年 1 月 20 日(水)、国文学研究資料館

【歴史叙述と文学】

研究代表者：福田景道（島根大学教授）

研究分担者：

大橋 直義	和歌山大学准教授
清水 由美子	清泉女子学非常勤講師
高橋 由記	流通経済大学専任講師
森 暁子	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター講師（研究機関研究員）
吉岡 亮	札幌大谷大学准教授
本橋 裕美	日本学術振興会特別研究員

（1）概要

〈歴史叙述と文学〉という本共同研究の包括テーマに関連して、それを構成する以下の7つの個別の研究課題を前年度に引き続き実施し、その成果をもとに8月と3月に研究発表会を開催した。

（個別研究課題）

- ・平安後・末期の後宮とその文化圏に関する研究（高橋由記）
- ・歴史物語（文芸的歴史叙述）における歴史性と文学性の相関に関する研究（福田景道）
- ・民友社の歴史叙述の研究（吉岡 亮）
- ・近世軍書における戦国の歴史叙述の研究（森 暁子）
- ・歴史物語における皇女に関わる物語引用の研究（本橋裕美）
- ・私撰国史の文献学的研究（大橋直義）
- ・軍記文学における後白河院政期の歴史叙述についての研究（清水由美子）

（2）活動記録

[研究会]

○第1回研究発表会（通算第5回）

- ・平成27年8月18日(火) 国文学研究資料館第2会議室
- 1 福田景道「『増鏡』の歴史叙述と文芸性—「横さま」の皇位継承—」
- 2 大橋直義「『扶桑略記』巻二十（陽成天皇紀）について」
- 3 森 暁子「松田秀任の来歴と歴史叙述—『武者物語』と金沢藩との関わりを中心に—」
- 4 研究の打合せ（次回の計画、成果報告書、その他）

○第2回研究発表会（通算第6回）

- ・平成28年3月28日(月) 国文学研究資料館第2会議室
- 1 高橋由記「後朱雀天皇女御延子について—実父頼宗と養母脩子内親王から受け継いだもの—」

- 2 本橋裕美「『今鏡』と虚構文学の関わり」
- 3 清水由美子「中世軍記文学にとっての「中比」—四類本『保元物語』の時代認識を起点として」
- 4 吉岡 亮「明治二〇年代の歴史と文学—民友社の歴史叙述の研究（3）—」
- 5 研究の打合せ（成果報告書刊行計画について、その他）

[資料調査]

- 森 暁子 6/23-25 金沢市立玉川図書館近世史料館（松田氏および周辺の兵学者史料の調査）
- 福田景道 9/19-20 阿波国文庫（徳島市文化の森総合公園内）（関連資料調査）
- 森 暁子 11/24-26 金沢市立玉川図書館近世史料館（松田秀任関係者の著作等調査）
- 清水由美子 2/19-21 金比羅神宮、白峯寺、善通寺（金比羅神宮及び白峯寺周辺実地踏査及び善通寺蔵資料調査）
- 森 暁子 3/22-24 金沢市立玉川図書館近世史料館（松田氏周辺の兵学者および武辺咄集等の調査）
- 吉岡 亮 3/27 東京大学附属図書館（関連資料調査）

[研究成果]

- 森暁子、「松田秀任のルーツと金沢」、平成 27 年 11 月 20 日・国文学研究資料館（「仮名草子研究会」にて口頭発表）
- 福田景道、「歴史物語における不即位東宮—「先坊(前坊)」再考—」、『島根大学教育学部紀要』第 49 巻、114～126 頁、平成 27 年 12 月、査読なし
- 清水由美子、「四類本『保元物語』の時代認識—冒頭のことば「中比」をめぐって—」、『成城国文学』(成城大学国文学会) 第 32 号、平成 28 年 3 月

【読書一人・モノ・時空】

研究代表者：桜井宏徳（成蹊大学非常勤講師）

研究分担者：

河本 明子	和歌山大学准教授
清水 由美子	大東文化大学非常勤講師
酒井 茂幸	埼玉大学非常勤講師
玉田 沙織	名古屋学院大学任期制講師
福田 武史	東京大学特任助教
渡邊 卓	國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター助教

(1) 概要

前年度に引き続き、本共同研究の包括テーマ「読書一人・モノ・時空」に関連して、各研究分担者が下記の 6 つの個別課題に従事し、その成果に基づいて、9 月に第 1 回（通算第 3 回）研究発表会を、3 月に第 2 回（通算第 4 回）研究発表会を開催した。

(個別研究課題)

- ・ 中古私家集を読む—歌人・言葉は時空を超えていかにつながっているのか—
(河本 明子)
- ・ 霊元天皇の古典書写と読書—禁裏本の蔵書群から— (酒井 茂幸)
- ・ 近世における『栄花物語』読書の研究—注釈と受容を中心として— (桜井 宏徳)
- ・ 読書行為としての「書入れ」の研究—契沖を軸に— (玉田 沙織)
- ・ 日本書紀はどのようによまれてきたか—講書・竟宴和歌・古写本から現代まで—
(福田 武史)
- ・ 近世における『日本書紀』講書の研究—大山為起『味酒講記』をめぐる—
(渡邊 卓)

(2) 活動記録

[研究会]

○第1回研究打合せ会

日程：6月14日(土) 場所：第2会議室

- 1 研究代表者を互選により選出
- 2 第1回研究発表会の計画、日程調整

○第1回研究発表会

日程：9月2日(火) 場所：第2会議室

- 1 福田 武史「『日本書紀古訓攷証』初版と改訂版について」
- 2 渡邊 卓「現存諸本からみた『味酒講記』の成立過程」
- 3 酒井 茂幸「近世禁裏仙洞における定数歌・歌会の書写活動について—目録学から読書論へ—」
- 4 研究の打合せ (第2回研究発表会の計画、日程調整、その他連絡)

○第2回研究発表会

日程：3月17日(火) 場所：第2会議室

- 1 河本 明子「実方集建治本系の性格について」
- 2 玉田 沙織「近世前期における「読書」—契沖の『古今集』研究を中心に—」
- 3 桜井 宏徳「江戸古典学と『栄花物語』—大石千引『栄花物語考難註』を例として—」
- 4 研究の打合せ (次年度の計画、日程調整、年次報告書の作成について、その他連絡)

[資料調査]

- | | | |
|------|-------|------------------------|
| 河本明子 | 9/4 | 国文学研究資料館 (『実方集』諸本関連調査) |
| 河本明子 | 3/2 | 国文学研究資料館 (『実方集』諸本関連調査) |
| 酒井茂幸 | 11/15 | 国文学研究資料館 (書陵部蔵御所本関連調査) |
| 酒井茂幸 | 12/1 | 国文学研究資料館 (書陵部蔵御所本関連調査) |

- 酒井茂幸 1/13 京都大学附属図書館（中院文庫関連調査）
 酒井茂幸 2/10 国立歴史民俗博物館（高松宮本関連調査）
 桜井宏徳 11/26 国文学研究資料館（『栄花物語』伝本・古注釈関連調査）
 玉田沙織 9/2 国文学研究資料館（契沖著作・先行研究関連調査）
 玉田沙織 3/17 国文学研究資料館（『古今余材抄』関連調査）
 福田武史 10/11-10/12 天理大学附属天理図書館（上代文学関連・漢籍調査）
 渡邊 卓 11/30-12/2 奈良県立美術館・天理大学附属天理図書館（上代文献関連調査）

[研究成果]

- 桜井宏徳『『栄花物語』における「書く」こと』10/12 京都女子大学（中古文学会平成26年度秋季大会にて口頭発表）
 福田武史「応神記・三皇子の皇位継承の資格について」4/19 学習院女子大学（古事記学会平成26年度4月例会にて口頭発表）

【日本文学のフォーラム】

研究代表者：伊藤鉄也

研究分担者：

大高 洋司	国文学研究資料館研究部教授
小林 健二	国文学研究資料館研究部教授
神作 研一	国文学研究資料館研究部教授
谷川 恵一	国文学研究資料館研究部教授
山下 則子	国文学研究資料館研究部教授
谷川 ゆき	国文学研究資料館研究部機関研究員

(1) 概要

〈国際連携研究「日本文学のフォーラム」〉の第3回国際シンポジウムについては、すでに平成24年度に3つのテーマが確定していた。

最終年度となる平成27年度の第3回国際シンポジウムのテーマは、「時間を翻訳する」(担当：谷川恵一・野網摩利子)であり、平成27年12月12日(土)に開催した。

近代文学からの視点で、該当分野の主要な研究者（海外から1名、国内5名）を招き、翻訳と時間について考える集会となった。盛会だったこともあり、終了時間を延長しての活発な質疑と討議が行われた。日本古典文学を研究対象とすることの多い国文学研究資料館での開催ということで、新たな知的刺激と好奇心が掻き立てられるものであった。日本文学の時代や分野という領域に限らず、学際的・国際的な視野からの研究の創出を目指そうとする目的は、十分に達成したものといえる。参加者は70名であった。

(2) 活動記録

[国際シンポジウム]

○第3回国際シンポジウム

期日：平成27年12月12日(土)

会場：国文学研究資料館大会議室、参加人数：70人

- ・開会の挨拶：今西祐一郎・国文学研究資料館館長
- ・趣旨説明と講師紹介：野網摩利子・国文学研究資料館
- ・発表

スティーブン・ドッド（ロンドン大学）「梶井基次郎におけるモノの歴史」

谷川恵一（国文学研究資料館）「テキストの中の時計 —『クリスマス・キャロル』の翻訳をめぐる」

林少陽（東京大学）「近代中国の誤読した〈江戸〉と〈明治〉—漢字圏の二つの言文一致運動の関連」

- ・コメンテーター：河野至恩（上智大学）・山本史郎（東京大学）・安田敏朗（一橋大学）
- ・閉会の挨拶：伊藤鉄也・国文学研究資料館

[研究成果]

今年度は本共同研究の最終年度であった。3年間で3回の研究発表とシンポジウムを実施しての成果は、一冊の成果報告書『【アジア遊学 195】もう一つの日本文学史 -室町・性愛・時間』（国文学研究資料館編、284頁、勉誠出版、平成28年3月）にまとめて刊行した。これにより、海外を含めた多くの研究者の方々と、日本文学研究に関する情報の共有を図ることとなった。また、この編著『もう一つの日本文学史 -室町・性愛・時間』については、本研究代表者である伊藤鉄也が『国文研ニュース 43号』（SPRING 2016）に、「国際連携研究「日本文学のフォーラム」の成果を『もう一つの日本文学史』として刊行」というトピック記事として掲載した。

II 情報事業センター

1 調査収集事業部

【全体の概要】

調査収集事業部では、全国の研究者・研究機関等との緊密な協力のもとに、資料の特性を踏まえた調査と、それに基づく計画的な収集を実施した。具体的には、全国の所蔵機関等に存在する日本文学原典及びその関連資料の調査と、撮影（マイクロフィルムまたはデジタル撮影）による収集、及びアーカイブズ調査収集である。調査については、年度当初に予定していた計画点数の90%程度の成果を挙げることができた。収集については、117%程度の成果となった。

【全国の所蔵機関に存在する日本文学原典及びそれに関連する資料の調査・収集】

(1) 日本文学原典及びその関連資料の調査・収集

平成27年度においては、5,402点の調査、2,635点の収集を行った。中心となる地域別調査（97箇所）のほか、先方機関と連携して行う連携調査（2箇所）を行った。

(2) 日本古典資料調査データベース

平成26年度に調査したカードを中心に、画像データ約4,800件、書誌データ約6,000件の入力を行った。現在、累計で約177,000件が利用に供されている。毎年度蓄積する新規カードのデジタル化は、今後も継続する予定である。

(3) 調査収集の成果としての刊行物

『調査研究報告』第36号を刊行した。

また、オンデマンド出版による、開化期戯作など明治文学の復刻である「リプリント日本近代文学」第8期10点を刊行した。

(4) 調査収集の成果の共有と還元のための取り組み

調査収集の成果は、マイクロフィルム・デジタル画像公開等の形で国文学研究に寄与しているが、それを更に推進するための取り組みとして、調査員を共同研究者とする基幹研究を実施している。平成27年度は、「日本古典文学における〈中央〉と〈地方〉」（研究期間：平成25年度～27年度）に係る研究成果を、調査収集シンポジウム（平成27年5月21日、於・国文研）において「文芸・宗教における九州―〈中央〉と〈地方〉の関わりから―」というテーマで発表した。また、宇和島伊達四百年記念祭ワークショップ「つどい・まなび・あそび―宇和島文化探訪」（平成27年10月17日、於・愛媛県宇和島市・木屋旅館）、同シンポジウム「宇和島再発見―人・文化・学問」（同18日、於・同・南予文化会館）を愛媛大学・宇和島伊達文化保存会と共同開催した。

【アーカイブズ調査・収集】

(1) 目録による史料群所在情報の調査

全国の史料保存利用機関の史料群情報、目録情報・刊行状況の調査及び収集を行い、目録類を収集した。

(2) 史料の存在形態調査

史料存在形態情報の記述・整理、簡易的保存措置、目録作成・データベース作成、保存と利用のための基盤整備として、信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その9)・近現代文書目録:守屋栄夫文書(その1)を収録する『史料目録』第102集(3,131点)・103集(8,076点)の2冊を刊行した。

(3) 所蔵史料に関連する史料の調査及び収集資料

伊豆の国市江川文庫の調査とデジタル収集(400点)、及び真田宝物館(真田家文書)の調査とデジタル収集(82点)を実施した。

(4) 収蔵歴史アーカイブズデータベース

目録データの公開は、6文書群24,531件を追加し、累計で210文書群、約28万6千件となった。このうち、史料の画像公開は、10文書群4,678件116,359コマを追加し、累計で25文書群11,454件452,848コマとなった。

2 電子情報事業部

【総括】

電子情報事業部は、情報システムの有効・適切な運用を図り、研究・調査及び事業の成果を、研究者、学生等に、インターネットを通じて提供している。

情報システム環境は、平成 28 年 1 月末日をもって第 8 期情報システム（平成 23 年 2 月～平成 28 年 1 月の 5 年間）での運用を終了し、同年 2 月 1 日に第 9 期情報システムへ移行した。

管理運用面では、ほぼ安定した稼働を保持し、情報システム、情報資源共に概ね順調に経過した。

データベース公開事業では、搭載データの適宜追加、更新などの作業を行い、学術基盤としてのサービスの維持に努めている。第 8 期から第 9 期への情報システム移行では、汎用データベースの仕組みによるシステムの共通化、関連データベースの統合、透かし入り画像の動的生成から事前作成への変更による画像表示高速化などを実施した。平成 28 年 2 月現在、29 タイトルのデータベース（概要は表 5 を参照）を公開している。

データベースと関連システムの保存、保守、更新などの運用管理業務は、学術情報課学術情報係と同システム管理係が担当している。また、データベース利用に関わる評価のための利用統計等のデータ収集と分析を行い、データベース利用環境の向上に努めている。

デジタル画像の公開に関しては、館蔵和古書の画像として新規に 1,572 作品を公開するとともに、マイクロフィルムやデジタル撮影により収集した他機関所蔵画像として 32 所蔵者 10,343 作品を新規に公開した。

【電子情報事業部の運営】

(1) 組織体制と運営

電子情報事業部長を置き、同副部長他、8 名の教員の体制により事業を運営し、学術情報係、システム管理係が事務を担当している。

ほぼ毎月電子情報事業部会を開き、事業全体の進捗度の把握と評価を行うとともに、電子情報事業に関わる種々の事項について審議、立案等を行った。

第 9 期情報システムへの移行を実施するための仕様策定委員会及び技術審査会を開催し、平成 27 年 9 月に開札、平成 28 年 1 月末日までに導入、2 月 1 日から運用を開始している。

(2) 情報システムの運用管理

情報システムは、Linux サーバおよび Windows サーバによる分散型サーバシステムと、これらを利用するためのクライアント PC、そしてこれらを接続する館内 LAN（1 Gbps）で構成され、主に館内の様々な情報処理、並びにインターネット経由による公開データベースサービス等に使用、計画停電での停止を除き中断なく稼働している。情報システムに関

する実績評価については、システム稼働状況（サーバ稼働率、ディスク使用率、ネットワーク・トラフィック）のデータを取得し、確認を行っている。また、情報システムに蓄積された日本文学とそれに関わるアーカイブズ研究資料情報等の資源監視、プロセス監視、ユーザ管理、バックアップの定期的な運用管理を行っている。

平成 28 年 2 月 1 日より、情報システムは第 9 期システムへと移行した。運用管理は前システムと同様に行っている。

平成 25 年 10 月から、iSCSI ストレージシステムの運用を行い、平成 27 年 1 月半ばにディスクを増設して合計 20TB のディスクシステムとしたことにより、第 9 期情報システム初期において画像を扱うサーバの容量確保に成功した。第 9 期情報システムへ移行するに当たり、画像データは一旦新システムのストレージサーバへと集約された。このストレージシステムは今後、歴史的典籍に関する大型プロジェクトでの画像保存領域としても運用する予定である。

平成 25 年 7 月半ばから、業務用計算機システムとして端末 PC（103 台）及びファイルサーバの運用を行っている。本システムは、データ保守を重視し、各 PC のデータ領域をファイルサーバ上に構築する仕組みを取り入れている。また、システムソフトウェアのアップデートの一元管理の仕組みを取り入れている。平成 28 年 1 月よりリースが終了後、端末 PC とファイルサーバを全て買い取り、引き続き業務で使用している。

平成 28 年 2 月時点で、第 9 期情報システムに登録されている情報の件数を、表 1 に掲げる。

表 1 国文学研究資料館 システム関係の登録情報（平成 28 年 2 月現在）

項目	件数	
アカウント数	196	
メールアドレス数(ML 含む)	277	
IP アドレス割り当て数	パソコン(Win/Mac)	453
	サーバ(第 9 期情報システム他)	87
	その他(プリンタ/NAS 等)	124

(3) ネットワークシステムの運用管理

研究、教育、業務におけるネットワークシステムについて、障害に強く、かつ安定的な稼働に努め、また電子メール等へのウイルス侵入に対する予防対策、緊急対応、システムの更新、パッチ適用等を可能な限り速やかに行い、対処し、安定した運用を保持した。

第 9 期情報システムでは、第 8 期情報システムで整備した高いセキュリティ対策水準を維持し、仮想化技術によるサーバの運用やコンソールのリモート管理等、運用管理機能の一元化をして作業の効率化を図っている。

(4) 情報資源の運用管理

図書・雑誌所蔵目録(OPAC)、学術情報リポジトリを含むデータベースについて、年間を通じて安定的な稼働を行った。平成28年2月に行われた第9期情報システム移行により、運用の効率化のため、32タイトルから29タイトルへのデータベース再編や画像表示高速化などを実施し、データベースごとに適宜データの追加更新を行っている。また、これら情報資源の定期的なバックアップを行い、不測の事態に対しても十分な対応を行い、維持に努めた。

平成26年度から構築を開始した「国文学研究資料館学術情報リポジトリ」は、平成27年4月1日から本公開を開始した。構築には、国立情報学研究所(NII)のJAIRO Cloudサービスを利用している。今年度は、笠間索引叢刊の追加などコンテンツの充実や、紀要「文学研究篇」へ英文要旨を付与する作業を行い、一部を公開した。平成28年3月末までに文学研究篇の全てに英文要旨を付与する予定である。現在公開されている著作物の一覧を表2に掲げる。

表2 リポジトリ公開著作物一覧

分類	著作物名	内容	件数
紀要	文学研究篇	全文テキスト付	187
		メタデータのみ	180
	アーカイブズ研究篇	全文テキスト付	82
	史料館研究紀要	全文テキスト付	229
		メタデータのみ	1
調査研究報告		全文テキスト付	131
学術資料	笠間索引叢刊 (30タイトル分)		254
その他	国文研ニュース		42
	国文学研究資料館報		62
	史料館報		80
	アーカイブズ・ニュースレター		8
	年報		40
	記念誌		18
	展示図録		1
	合計		1,325

(5) 情報サービスの向上

各データベースの利用者サービスの向上に資するため、アクセス元情報等の利用統計分析及びウェブページのデザイン等の変更を適宜行った。また、各種公開サービスの表玄関となる当館のWebトップページサーバ及びDNSサーバへのIPv6アクセスを可能にし、

従来のアクセス環境を維持しつつ、世界的な IP アドレス不足に端を発するインターネットインフラの仕様変化にも柔軟に対応できるよう変更を行なっている。

【個別事業の実績】

(1) 情報システムの運用管理

情報システムの安定的運用管理及び情報資源のセキュリティ確保のため、以下の業務を行った。

①情報システムの運営

システムのオペレーション、バージョンアップ、パッチ適用作業等については、監視と操作作業は委託 SE により行い、システム管理係において確認を行った。

また、情報システムのハードウェア、ソフトウェア、オペレーションに起因するシステム障害は 3 件であった。詳細を表 3 に掲げる。

表 3 平成 27 年度システム障害及びネットワーク障害一覧

区分	障害内容	対応内容
システム障害	base1 サーバ及び画像配信サーバの特定ディレクトリに書き込みが出来ない	iSCSI ストレージ HDD 不具合対応を実施した際、マウントする側のサーバについても再起動を実施したことにより復旧。
システム障害	館内サーバ(base2)の統合古典籍総合システムにアクセス出来ない	過大な負荷によるもの。サーバ再起動により復旧。
システム障害	base1 で展開しているデータベース全てにおいて検索が出来ない	検索ログを溜めているファイルの容量が限界値を突破したため。ファイル操作により復旧。

外部からの干渉(クラッキング等)による重大なシステム障害は発生していない。(システムの計画停止作業は、法令点検に伴う全館停電のために 1 回行った。) PC 系、プリンタ系の軽度の障害等については、システム管理係及び業者の保守窓口が対応した。

②共同利用の推進

人間文化研究機構「研究資源共有化事業」に積極的に関わり、その責務を果たしている。人間文化研究機構に属する 6 機関(当館、国立歴史民俗博物館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館)の合計 100 以上のデータベースを検索対象とする統合検索システム nihuINT に参加し、当館のデータベースも安定的に検索できるようにしている。

③情報セキュリティの推進

平成 21 年 4 月 1 日に制定した情報セキュリティポリシーを継続して運用している。平成 26 年度末で運用していたメールスパムフィルタサーバのサービスが終了したため、平成 27 年 3 月に新たなサーバを導入し、スパムメールやウイルスの除去を

行っている。

(2) データベースの運用管理

データベースと関連システムの保存と運用管理を行っている。また、研究系や他事業部が作成するデータベースと関連システムは、緊密に連携・協力を行っている。

平成 27 年度システムの開発、変更及び大幅なコンテンツ追加を行ったデータベースを表 4 に掲げる（全公開データベースの概要は表 5、利用状況は表 6 及び表 7 をそれぞれ参照）。

表 4 平成 27 年度システムの開発、変更及び大幅なコンテンツ追加を行ったデータベース

(システム更新によるもの以外)

データベース名	内容
館内業務用 国文学論文目録データベース	論文データ作成システムの改修 ・ URL 欄の追加 ・ 辞書データ削除機能の追加 ・ CSV ファイルインポート機能の追加
館内業務用 古典籍総合目録データベース	著作・著者統合機能の開発
所蔵和古書・マイクロ/デジタル 目録データベース (第 9 期情報システムでは 日本古典籍総合目録データベース 館蔵和古書目録データベース)	追加画像公開 [館蔵和古書] 1,572 作品 (47+1,184+98+4+200+39) [他機関] ・ 研医会図書館 62 作品 ・ 酒田市立光丘文庫 111 作品 ・ 宮内庁書陵部 555 作品 (69+485+1) ・ 肥前島原松平文庫 88 作品 ・ 北海道大学附属図書館 154 作品 ・ 東京大学総合図書館 178 作品 ・ 東京大学総合図書館秋葉文庫 374 作品 ・ 東京大学文学部国文学研究室 335 作品 ・ 筑波大学附属図書館 902 作品 ・ 名古屋大学附属図書館神宮皇學館文庫 834 作品 ・ 名古屋大学文学部国文学研究室 15 作品 ・ 名古屋大学文学部小林文庫 139 作品 ・ 広島大学図書館福井文庫 176 作品 ・ 九州大学附属図書館細川文庫 206 作品 ・ 九州大学文学部 595 作品 ・ 大阪大学附属図書館忍頂寺文庫 680 作品 ・ 九州大学附属図書館支子文庫 233 作品 ・ 岐阜市立図書館 429 作品 ・ 弘前市立図書館 444 作品 ・ 大阪大学附属図書館赤木文庫 100 作品 ・ 新潟大学附属図書館佐野文庫 1,168 作品 ・ 京都大学附属図書館平松家本 264 作品 ・ 東京大学文学部宗教史学研究室 833 作品 ・ 奈良女子大学附属図書館 155 作品

	<ul style="list-style-type: none"> ・相愛大学春曙文庫 143 作品 (140+3) ・東京理科大学下浦文庫 831 作品 ・光藤益子氏所蔵 75 作品 ・広島大学図書館 35 作品 ・谷川好一氏所蔵 214 作品 ・大洲市立図書館 1 作品 ・金城学院大学図書館 1 作品 ・谷川好一氏・上田秋成資料 13 作品
--	--

なお、各データベースは、データベース管理簿を作成し、整理し、管理している。

3 情報資料サービス事業部

【総括】

資料の受入・整理・整理・保存、閲覧・複写サービスなどの閲覧サービス、古典籍総合目録事業を推進している。

新収の大量資料として、伊勢物語のコレクションである鉄心斎文庫（1,088点）、林望氏旧蔵の三体詩コレクション（約121点）を受け入れた。また、重要文化財2点を含む舟橋家文書を受託した。

ブックスキャナーの導入、新たに高機能の自動調湿窒素発生装置の増強により複写サービス・資料保存環境が向上した。

文献複写については、NACSIS-ILLを通じた文献複写受付件数が、参加館中第10位、人文系機関としては第1位となっている。

古典籍総合目録事業では、大学図書館のほか博物館・公共図書館・専門機関所蔵情報の収録を行った。

館蔵資料の画像データ・書誌データについては、オープン化の方向で進めることとなり、今後環境の整備を進めていく予定である。

規則改正により教科書への資料掲載の無償化を行った。また、他機関への展示貸付期間の改定、土曜日複写受付時間の延長などの規則改正を行う予定である。

【図書資料の収集及び受入・整理】

（1）概要

図書資料委員会で所蔵資料全体を考慮した計画をたて、日本文学・歴史分野の研究書や雑誌、古典籍原本の収集を行っている。収集した資料は、装備・目録作成を行い利用に供している。

（2）活動記録

①資料の受入

平成27年度の受入資料数は以下のとおりである。

資料1 図書資料受入統計

			点数等		冊数等	
			平成27年度	累積	平成27年度	累積
収集マイクロ資料	マイクロフィルム	日本文学	1,465点	192,096点	183リール	42,254リール
		歴史	0件	202件	0リール	6,308リール
	マイクロフィッシュ	日本文学	0点	16,667点	0枚	57,358枚
	紙焼写真本	日本文学	-	-	0冊	75,122冊
		歴史	-	-	0冊	11,196冊
図書	写本・版本		1,212点	17,538点	2,583冊	58,709冊
	活字本・影印本等		-	-	3,921冊	183,862冊
	逐次刊行物		1,514誌	8,909誌	-	-
所蔵史料			3件	487件	-	約520,000点
寄託資料・寄託史料	日本文学	0件	9件	0冊	9,440冊	
	歴史	1件	18件	0件	7,230点	

(平成28年3月末現在)

②貴重書・特別コレクションの指定

資料2 新たに指定された貴重書及び特別コレクション

貴重書

請求記号	書名等
99:199	庭訓往来抄
99:200	立川普濟寺版 大方広華嚴經
99:201	筆陳
99:202	万葉集断簡 (柘枝切)
99:203	古今私秘聞

特別コレクション

請求記号	書名等
98	鉄心斎文庫 (約1,088点)

③資料の装備・目録作成

a. マイクロ資料目録作成

- ・書誌データ登録 6,187件

資料3 平成27年度マイクロ資料目録データベース登録一覧

文庫番号	所蔵者	サービス区分 *	リール番号 **	件数 ***
218	国立国会図書館(貴重)	A	221-240	106
90	宮城県図書館	B'	224-352	304
272	弘前市立弘前図書館	A	364,380	53
346	百々御所文庫	E	103-128,165-181	125
397	相愛大学図書館	B'	1-63	175
ハ3	初瀬川文庫	A	167-175	67
KJGT	金城学院大学図書館	Y	1-231	241
KNIK	研医会図書館	Y	51-105	62
KSRM	宮内庁書陵部	Y	2508-2597,2636-2674, 2848-2992,3015-3638	1,805
TGUA	谷川家(上田秋成資料)	Y	1-13	16
THKW	東北大学附属図書館	Y	2809-5569, 6122-7175, 18123- 18179	3,227
UWJM	宇和島伊達文庫保存会	Y	1-43	6
合計				6,187

- * サービス区分
- A : 複写可(ポジフィルム・電子複写)
 - B : 複写可(電子複写)
 - C : 複写可(ポジフィルム・電子複写) …複写の事前許可が必要
 - D : 複写可(電子複写) …複写の事前許可が必要
 - E : 複写不可(館内閲覧のみ可)
 - Y : デジタル資料につき複写サービス対象外
- サービス区分に ' があるものは複写の事後報告が必要
- ** リール番号 一部番号抜けあり
- *** 件数 一部古典籍共同研究事業センター事業に伴うデータ登録を含む

b. 和古書・明治期資料の装備

- ・和古書の装備 304 点
- ・明治期資料の装備 95 冊

c. 和古書・明治期資料の目録作成

- ・和古書目録書誌データ登録 1,204 点
- ・明治期資料目録書誌データ登録 1,257 冊

d. 活字本・影印本の装備目録作成 1,152 冊

e. 歴史関係図書・逐次刊行物の遡及入力

旧史料館所蔵図書の目録遡及事業を継続して行っている。平成 27 年度は 6,362 冊の遡及を行った。また外部委託により 4,388 冊の遡及を行った。これらにより図書約 85,000 冊のうち 58,000 冊が OPAC で検索可能となった。

【資料の保存】

(1) 概要

原型を尊重した保存措置・修復作業を継続的に行っている。

(2) 活動記録

①文書・記録類の保存・修復措置

史料目録刊行済みのものについて、閲覧用ラベル貼付、中性紙封筒・帙・箱等への収納、状態調査記録作成、虫損・剥離箇所への部分修復処置等を行った。……7,449 点（「信濃国松代伊勢町八田家文書」「武蔵国多摩郡和田村石坂家文書」「出羽国村山郡山家村山口家文書」）

その他、必要に応じてクリーニング、中性紙封筒・箱等への入替、部分修復処置等を行った。……1,228 点（「信濃国松代真田家文書」「大平善悟関係文書」ほか）

②古典籍原本の保存措置・修復措置

a. 害虫処理

新規受入資料は、自動調湿窒素発生装置及び脱酸素剤を使用した殺虫処理を行っている。平成 27 年度は機構長裁量経費により、自動調湿窒素発生装置の増強を行った。大量に受け入れたコレクション類の処理の迅速化を図る予定である。

b. 補修

虫損が甚だしく閲覧・撮影が困難な資料には補修を行っている。平成 27 年度は高乗勲文庫の『年中行事鈔』ほか 3 点 9 冊を専門家に依頼して補修を行った。

【利用者サービス】

(1) 概要

来館利用、図書館間相互協力（文献複写・相互貸借）、出版物への掲載許可、他機関への展示貸付やレファレンス等によって、当館が収集した資料の共同利用促進に努めている

る。

大型コレクションの寄贈等が続いたことにより、書庫の狭隘化問題が深刻であり、書架増設の予算要求を行っているところである。

平成 27 年度に新たに開始した主なサービスは以下のとおりである。

- ①大学支援「国文研でゼミを！」を 10 月から開始した。これは、館蔵資料を利用したゼミや講義を当館のゼミ室等で行えるプログラムで、企画広報係との協力のもとに体制を整備し、関東地区の大学にパンフレットを配布した。
- ②ブックスキャナーを導入し、資料保存上の観点からこれまで複写サービスを行うことのできなかつた資料についても、複写サービスを行えるようにした。
- ③教科書への資料掲載の際の使用料を無償にした。また、掲載に使用する画像を E メールで提供できるようにした。
- ④システム更新により、OPAC をリニューアルした。

(2) 活動記録

①資料の閲覧及び複写

平成 27 年度の開館日数は 249 日、新規登録者は 1,059 人、来館利用者数は 6,439 人で、前年に比べると減少傾向にある。

平日と土曜日の利用状況を月毎に比較をすると、5 月、8～9 月、2～3 月以外はほぼ土曜日の方が多く、土曜日の利用者へのサービス強化が求められている。

閉架資料のうち、和古書、ポジフィルム出納が大幅に減っているのは、画像公開の効果と見られる。

また、郵送や FAX による個人からの複写申込が 1,132 件あり、遠隔地に住む大学等の機関に所属していない利用者にも高い需要があることがわかる。

資料 4 閲覧統計（平成 27 年度）

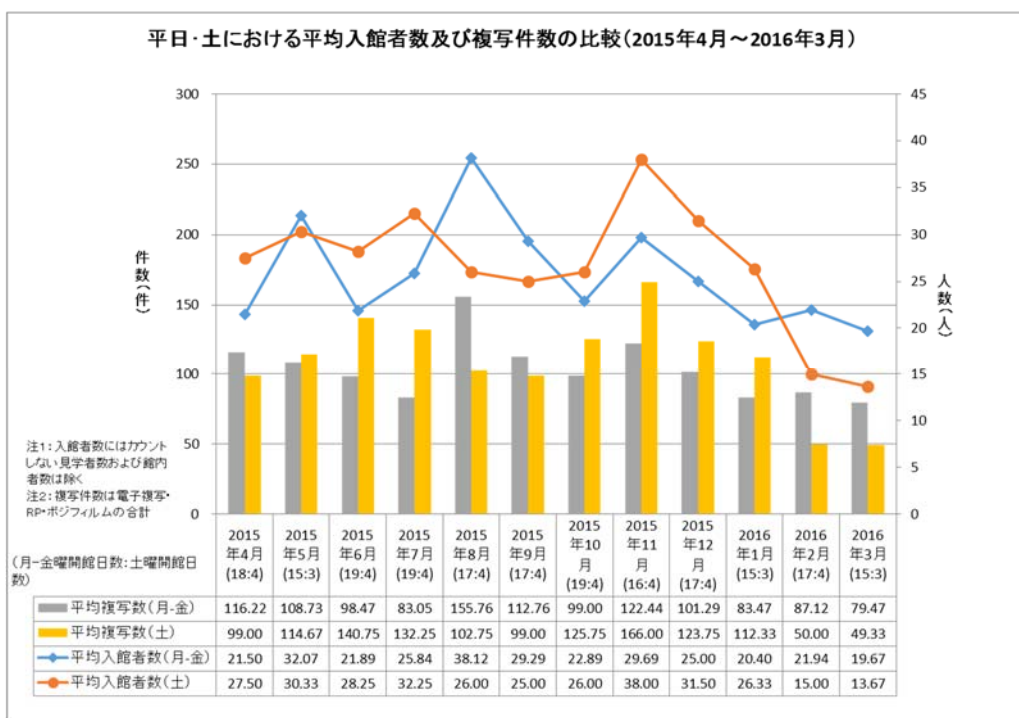
月	開館日数	入室者(人)		登録者(人)			外の見学者(人)	書庫立入者(人)	閲覧請求(点)							紙焼一夜(点)	参考質問(件)	文献複写(件)					複写収入(円)
		見学者(内訳)	新規	更新	計	逐刊			活字	和古	ポジ	紙焼	文書等	計	電子複写			内セルフ	R. P	ポジ	紙焼	計	
4	22	497 (38.0)	88	40	128	8	117	144	230	35	108	75	1,519	2,111	0	65	2,414 (2,194)	74	0	0	2,488	273,308	
5	18	572 (43.0)	135	26	161	12	116	130	213	29	99	44	933	1,448	5	79	1,924 (1,812)	51	0	0	1,975	207,632	
6	23	529 (45.0)	79	33	112	7	119	108	233	86	131	60	807	1,425	0	72	2,343 (2,169)	91	0	0	2,434	281,024	
7	23	620 (39.0)	140	22	162	11	116	153	187	26	85	73	1,228	1,752	0	55	2,068 (1,972)	39	0	0	2,107	218,704	
8	21	752 (54.0)	120	38	158	92	115	209	321	100	166	73	8,145	9,014	1	91	2,993 (2,627)	66	0	0	3,059	379,517	
9	21	598 (53.0)	103	17	120	5	148	155	226	44	138	48	3,239	3,850	0	44	2,203 (2,010)	110	0	0	2,313	348,956	
10	23	539 (58.0)	85	15	100	6	141	144	198	26	69	144	1,391	1,972	0	66	2,285 (2,105)	99	0	0	2,384	334,653	
11	20	627 (84.0)	83	16	99	14	89	172	207	32	91	50	1,593	2,145	2	54	2,571 (2,303)	52	0	0	2,623	277,591	
12	21	551 (68.0)	76	10	86	4	110	132	202	47	135	160	1,287	1,963	0	54	2,139 (1,940)	78	0	0	2,217	332,045	
1	18	385 (47.0)	50	11	61	19	110	93	179	34	54	34	867	1,261	0	30	1,550 (1,452)	39	0	0	1,589	162,405	
2	21	433 (44.0)	51	9	60	9	91	134	183	51	78	68	1,697	2,211	0	36	1,605 (1,478)	76	0	0	1,681	219,570	
3	18	336 (30.0)	49	14	63	17	81	109	172	67	80	51	4,085	4,564	7	59	1,284 (1,214)	56	0	0	1,340	285,047	
計	249	6,439 (603)	1,059	251	1,310	204	1,353	1,683	2,551	577	1,234	880	26,791	33,716	15	705	25,379 (23,276)	831	0	0	26,210	3,320,452	
日平均		25.86 (2.4)	4.25	1.01	5.26	0.82	5.43	6.76	10.24	2.32	4.96	3.53	107.59	135.41	0.06	2.83	101.92 (93.5)	3.34	0.00	0.00	105.26	13,335	
月平均		536.58 (50.3)	88.25	20.92	109.17	17.00	112.75	140.25	212.58	48.08	102.83	73.35	2,232.58	2,809.67	1.25	58.75	2,114.92 (1,939.7)	69	0	0	2,184	276,704	
前年度		7,460(494.0)	1,181	237	1,418	128	1,324	1,767	3,127	953	1,700	1,681	25,961	35,189	14	883	28,451 (26,132.0)	1,012	0	0	29,463	3,537,733	
前年度日平均		29.84 (2.0)	4.72	0.95	5.67	0.51	5.30	7.07	12.51	3.81	6.80	6.72	103.84	140.76	0.06	3.53	113.80 (104.5)	4.09	0.00	0.00	117.85	14,151	
前年比		0.86	1.22	0.90	1.06	0.92	1.59	1.02	0.95	0.82	0.61	0.73	0.52	1.03	0.96	1.07	0.80	0.89	0.89	0.82	0.89	0.94	

資料5 来館利用者の構成

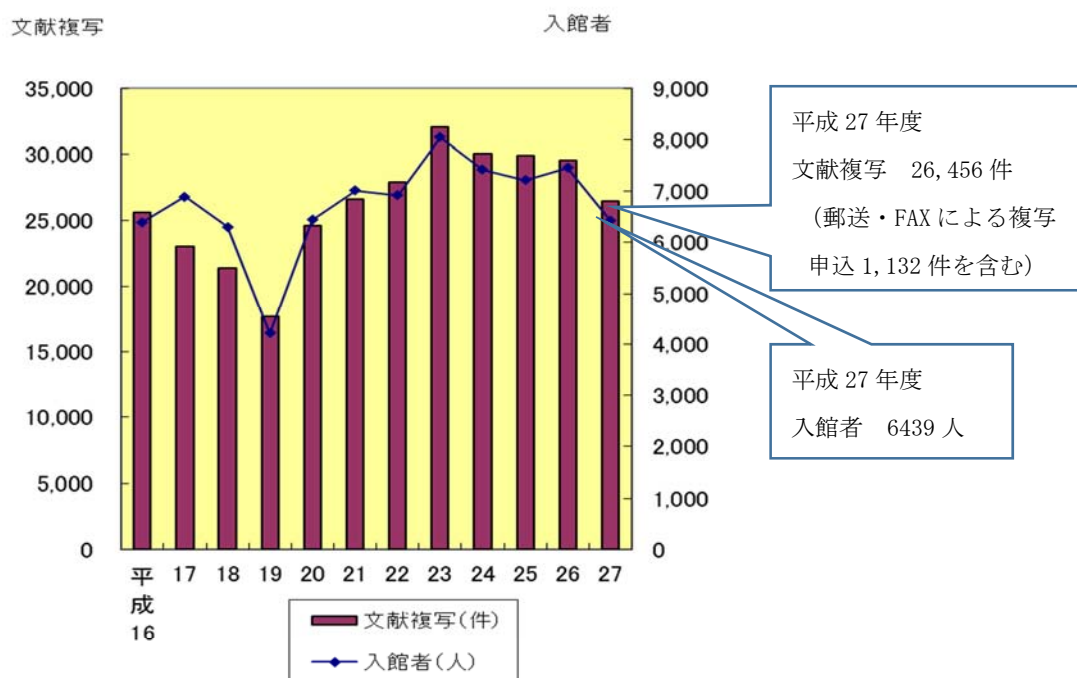
(人)

利用者内訳	H26年度	H27年度
学生	2,427	2,082
大学院生	1,348	1,089
大学教員	1,332	999
小中高等学校教員	233	242
調査研究機関等研究員	294	235
地方自治体職員	124	89
その他(館外者)	1,702	1,703
総計	7,460	6,439

資料6 平日と土曜日の利用比較



参考資料 来館利用数比較



※平成26年度以降の文献複写件数: 窓口収入分と外部委託分を合算

平成18年度：アスベスト工事により3ヶ月間休館

平成19年度：移転準備のため6ヶ月間休館

平成20年度：7月から土曜開館・隔週水曜休館

平成22年度：地震・計画停電のため5日間休館, 2日間正午以降休館

資料7 資料出納点数

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
逐次刊行物	1,684	1,921	1,664	1,708	1,767	1,683
活字本・影印本	2,292	2,951	2,562	2,939	3,127	2,551
和古書	811	708	700	430	953	577
ポジフィルム	2,002	2,442	1,904	1,540	1,700	1,234
紙焼写真本	1,431	1,535	3,476	1,757	1,681	880
史料	32,275	17,259	27,556	21,381	25,961	26,791
紙焼写真本一夜貸	69	99	38	25	14	15
合計	40,564	26,915	37,900	29,780	35,203	33,731

②相互協力サービス

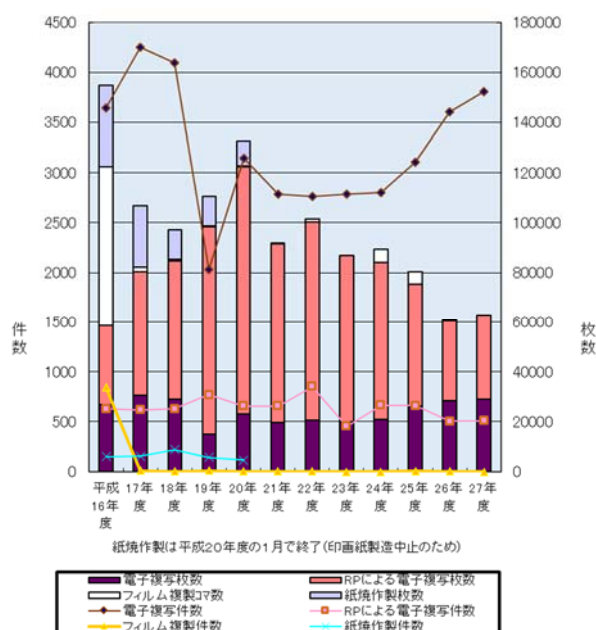
図書館相互協力による文献複写受付件数は、ここ数年大幅に増加しており、NACSIS-ILL を通じた文献複写受付件数は、受付をした参加組織 1,212 館中 10 位、人文系の機関としては 1 位となっており、全国的にも上位の水準で資料の共同利用に貢献している。

また、現物貸借受付は、59 冊、うち図書 57 冊、紙焼写真本 2 冊あり、他機関には所蔵の少ない当館の蔵書が活用されている。

資料 8 相互協力件数

項 目		平成 26 年度		平成 27 年度			
		受 付	依 頼	受 付	依 頼		
閲覧	紹介状	-			19 件		
	図書	48 件、48 冊		59 冊	3 冊		
貸借	紙焼写真本	9 件、9 冊		2 冊	-		
					1 件、1 冊		
複写	電子複写	3,607 件	28,386 枚	13 件	3,809 件	28,910 枚	31 件
	RP による電子複写	505 件	31,965 枚	21 件	509 件	33,884 枚	23 件
	フィルム複製	1 件	282 枚	2 件	0 件	0 枚	2 件
	合計	4,113 件	60,633 件	36 件	4,318 件	62,794 件	56 件

参考資料 相互協力文献複写受付比較



③レファレンスサービス

日本文学・歴史資料分野のレファレンスサービスを継続しておこなった。

資料9 レファレンスサービス件数

質問の種類		平成26年度	平成27年度
文書による質問		66	31
メールによる質問	総合窓口システムへの質問	78	63
	問い合わせメール	172	209
電話による質問	所蔵調査	153	153
	利用についての問い合わせ	509	524
	内容調査	44	57
クイック・レファレンス(閲覧カウンターでの質問)		883	883
合計		1,905	1,920

④利用者ガイダンス・施設見学

ゼミ単位での利用ガイダンスや施設見学等に対応している。

⑤掲載許可申請受付（平成27年度決裁分）

- ・翻刻掲載 8件
- ・写真掲載 215件

写真掲載のうち非営利・学術目的の要件に該当した102件は無償（うち、検定教科書に該当したのは7件）、また、翻刻掲載はすべて無償である。

⑥資料の展示貸付（展示開始が今年度のもの） 8件

資料 10 平成 27 年度展示貸付一覧

主催者名	展示会名	展示期間	資料名	点数
長野県立歴史館	春季企画展「山と海の回廊をゆく-信濃と北陸をつなぐ道-」	平成 27 年 4 月～5 月	「直江津上野間鉄道雙六各駅真景(日本実業史博物館コレクション)」(37TA-551)	1
桑名市博物館	桑名市博物館開館 30 周年記念特別企画展「大定信展」	平成 27 年 10 月～11 月	「山水図 田安宗武筆」(水墨画)(15-817) 「翌恩園に遊ぶの記 田安斉匡 文政元年(1818)」(15-430)	2
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	平成 27 年度一乗谷朝倉氏遺跡資料館特別展「一乗谷 ～戦国城下町の栄華～」	平成 27 年 9 月～11 月	「七十番職人歌合」(ヨ 1-156)	1
栃木県立博物館	第 112 回企画展「川のあるくらし～栃木の漁師の玉手箱～」	平成 27 年 7 月～8 月	「日本捕魚図志 上 (祭魚洞文庫旧蔵水産史料)」(23Z1-192)	1
鳥取市歴史博物館	平成 27 年度企画展「荒木又右衛門と鳥取～伊賀越え仇討始末」	平成 27 年 9 月～10 月	「至鎮様御代旧記帳 (阿波国徳島蜂須賀家文書)」(28G/01341)ほか 10 点	11
公益財団法人 五島美術館	開館 55 周年記念特別展「一休 —とんち小僧の正体—」	平成 27 年 10 月～12 月	「稻妻表紙後編本朝酔菩提」(ナ 4-635) 「狂画五十三驛之一枚/關/一休禪師地藏尊かいげんのづ」(ユ 3-234)	2
松江歴史館	特別展「祝・国宝指定 松江城天守再発見展」	平成 27 年 9 月～10 月	「御城内惣間数(出雲国松江松平家文書)」(24H/00107)	1
奈良県立万葉文化館	特別展「見る・知る-万葉と飛鳥- ～飛鳥と春日大社の宝物」	平成 27 年 10 月～12 月	「春日懐紙」(99-87-13、14、19、20、1、22、4、5) 8 枚	1

⑦蔵書点検

平成 24 年度より 4 年計画で、全蔵書の蔵書点検に取り組んでおり、4 年目に当たる平成 27 年度は、書庫配置資料のうち、貴重書庫の資料を中心に点検を行った。

【古典籍総合目録事業】

(1) 概要

『国書総目録』(岩波書店刊)を継承発展させた、古典籍総合目録作成事業を行っている。現在、所蔵和古書・マイクロ/デジタル資料目録データベースを含めた「日本古典籍

総合目録」データベースを公開し、古典籍の書誌・所在情報を、著作及び著者の典拠情報とともに広く提供している。

(2) 活動記録

下記のとおりデータ作成等を実施した。

- ①データソースの収集、所蔵者との連絡（書誌情報の古典籍総合目録データベース収載公開についての依頼等）
- ②書誌データの登録 約 9,871 件

資料 11 平成 27 年度古典籍総合目録データベース登録一覧

所蔵者	コレクション	目録	件数
明星大学図書館		明星大学人文学部日本文化学科所蔵古典籍目録	172
内藤記念くすり博物館	大同薬室文庫	大同薬室文庫蔵書目録	2,479
大曲図書館		大曲図書館所蔵和漢書(和装本)一覧	723
家政学院大学附属図書館	大江文庫	大江文庫目録	2,474
氷見市立博物館	向島文庫	向島文庫(古書)目録	400
高岡市立中央図書館	佐渡家資料	佐渡家文書目録	147
横浜市立大学附属図書館	三枝博音文庫	三枝博音文庫目録 和漢の部2	95
電気通信大学附属図書館	村田・高木文庫 (江戸期・和算書 コレクション)	村田・高木文庫(江戸期和算書コレクション)目録 http://www.lib.uec.ac.jp/wasan/wasan_catalogue.html (2014.11.18 現在)	107
宮内庁書陵部		宮内庁書陵部紀要 21 号ほか	2,928
白石市図書館		白石市図書館所蔵資料目録	346
合計			9,871

③基礎データ（典拠データ）の追加・改訂

日常的に生じる追加・改訂のほか、当館基礎データの参照が NACSIS-CAT の規則で記

述されている。このため、外部から基礎データにかかわる質問・改訂要望が寄せられ、その内容を検討し、データの追加・改訂などの対応を行っている。

④データベースシステムの維持管理

a. 業務システムの改修

基礎データ（典拠データ）の統合機能の開発を行う。基礎データの改訂が容易になり、作業効率が向上する予定である。

b. 公開データベースシステム更新

日本古典籍総合目録と所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベースをシステム統合した。これにより、日本古典籍総合目録データベースからデジタル画像が参照できるようになった。また、公開データベース更新を3回実施した。

4 学術企画連携部

【学術企画連携部の目的】

研究・教育及び事業の公開・普及、他機関との連携、国際交流を推進する。

国際交流室

【第 39 回国際日本文学研究集会】

日 程：11 月 14 日(土)～15 日(日)

場 所：国文学研究資料館大会議室

主 催：国文学研究資料館

後 援：総合研究大学院大学

目 的：日本文学研究者による研究発表・討議により、広い視野からの日本文学研究の進展を図り、研究者相互の国際交流を深めるため、毎年度秋に開催している。

参加者：93 名（外国人 21 名、日本人 72 名）

* 研究発表者等は、一般応募者の中から国際日本文学研究集会委員会の決定に基づき、主として若手研究者を対象として選考した。

* 発表時間が 25 分の研究発表、発表時間が 15 分のショートセッション及び資料揭示による説明コーナーでの発表（ポスターセッション）を設けている。

* 研究発表 9 本、ショートセッション 3 本、ポスターセッション 6 本が行われた。

* 「日本文学の越境 ―非・日本語で Haiku を読む／詠む―」というテーマで、シンポジウムを実施した。

【国際シンポジウム等の開催】

◆ 当館が主催または共催した国際シンポジウム等

(1) 日本古典籍（くずし字）講習会

日 程：5 月 6 日～8 日

場 所：カリフォルニア大学バークレー校（アメリカ）

主 催：カリフォルニア大学バークレー校日本研究センター

共 催：国文学研究資料館、AAS/CEAL 日本資料委員会、日本希少本小委員会

目 的：日本学資料専門ライブラリアンやキュレーター、研究者、学生を対象に、北米の機関が現地主催機関として開催する。講師は当館教員が日本語で行い、年 1～2 回開催する。

参加者：25 名

* カリフォルニア大学バークレー校 C.V. スター東アジア図書館と、平成 27 年 6 月 1 日に学術交流に関する協定を結んだ。

(2) 第3回国際シンポジウム「時間を翻訳する」

日 程：12月12日

場 所：国文学研究資料館

主 催：国文学研究資料館

目 的：学術交流協定を締結している海外諸機関や大学との間で新たな共同研究を促進。

参加者：51名

[参考]

(1) 国際交流室事業の他、当館教員が主導又は深く関与している国際シンポジウム等は、次のとおり。

① 9月12日に聖ピオ十世ホール（バチカン市国）において、人間文化研究機構日本関連在外資料国際共同研究事業「バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書の保存・公開に関する調査・研究」により、「キリシタンの跡をたどるーバチカン図書館所蔵マレガ収集文書の発見と国際交流」というテーマでシンポジウムを開催した。参加者は約130名。

(2) 海外における国際学会への教員個々の参加状況（講演・研究発表を含む）

① 5月7日にマイクロソフト 코리아（韓国）において開催された CORE レビューミーティングに参加し、研究報告を行った。

② 6月29日に輔仁大学（台湾）において講義を行った。

③ 7月5日～6日に韓国国立民俗博物館及び古版画博物館（韓国）において開催された日韓古版画学術大会に参加し、研究発表を行った。

④ 7月20日～24日にアバディーン大学（イギリス）で開催された Text Generation Summer School において、ワークショップ等に参加した。

⑤ 7月30日～31日に北京国家会議センター（中国）で開催された ACL Workshop on Computing News Storylines に参加し、研究発表を行った。

⑥ 8月29日～31日に西北大学及び臨潼陝西省療養院（中国）において開催された和漢比較文学会に参加し、研究発表を行った。

⑦ 8月31日～9月1日及び9月3日～5日にカリフォルニア大学（アメリカ）で開催された Wahon Literacies に参加し、招待講演を行った。

⑧ 9月14日～16日に台湾中央研究院近代史研究所（台湾）で開催された日中戦争国際シンポジウムに参加し、研究報告を行った。

⑨ 10月2日～3日にストラスブール大学（フランス）で開催された国際研究集会「日本の文化遺産としての絵巻」に参加し、コメンテータをつとめた。

⑩ 10月7日に天理日仏文化協会（フランス）で開催された「絵解きフォーラム in パリ」に参加し、講演を行った。

- ⑪10月9日にフランス言語文化研究学院（フランス）で開催されたワークショップ「日本の絵解き文化」に参加し、解説を行った。
- ⑫11月13日に大韓民国国資編纂委員会（韓国）で開催された「承政院日記DB構築完了記念学術会議」に参加し、研究報告を行った。
- ⑬11月28日に北京大学新聞与伝播学院（中国）で開催された「2015年東方院迹-中韩日雕版印刷国際学術検討会」に参加し、研究発表を行った。
- ⑭12月11日～12日に四川外国語大学（中国）から日本語・日本文学専攻設立40周年記念として特別講義の依頼を受け、招待講演を行った。
- ⑮12月19日に台湾中央研究院（台湾）で開催された「中日戦争衝撃下の亜洲」国際学術検討会に参加し、研究報告を行った。
- ⑯3月4日～5日にプリンストン大学（アメリカ）で開催される写本版本国際集會に参加し、研究発表を行った。

【外国人研究員の招聘】

平成27年度は受入実績なし。

上記の他、外来研究員として邱春泉氏（北京外国語大学日本学研究センター・学生）、商海鋒氏（中央研究院中國文哲研究所・博士後）、鄭雅尹氏（中央研究院中國文哲研究所・博士培育生）、前年度に引き続き韓凌燕氏（揚州大学・講師）を受け入れた。

【学術交流協定による国際交流】

- (1) カリフォルニア大学バークレー校 C.V. スター東アジア図書館と、平成27年6月1日に学術交流に関する協定を結んだ。
- (2) コレージュ・ド・フランスとの協定に基づき、国文学研究資料館において研究打合せを行った。
- (3) 北京外国語大学北京日本語学研究センターから、外来研究員として1名受け入れた。

展示企画室

【展 示】

- (1) 通常展示「書物で見る 日本古典文学史」

概 要：上代から明治初期までの文学を、書物（古典籍）によってたどる。最近の研究動向にも配慮しつつ、教科書でなじみの深い作品を中心に据えて、文学史の流れを示し、展示した。

日 程：平成27年4月1日(水)～9月30日(水) 119日間

※土曜・日曜・祝日・夏季一斉休業(8月13日・14日)・展示室整備日は休室。

ギャラリートーク：5月28日 落合博志教授

6月25日 小林健二教授
7月23日 入口敦志准教授
8月24日 青木 睦准教授
8月27日 恋田知子助教
9月24日 相田 満准教授

場 所：国文学研究資料館展示室

主 催：国文学研究資料館

鑑 賞 者：2,292名

(2) 通常展示「和書のさまざま」

概 要：和書について、形態的・内容的な構成を説明した上で、各時代の写本・版本や特色のある本を紹介した。併せて和書の性質を判断する場合の問題をいくつか取り上げており、全体を通して和書の基本知識を学ぶとともに、和書について考えるきっかけとなることを意図し、展示した。

日 程：平成27年12月7日(月)～平成28年3月31日(木) 62日間

※土曜・日曜・祝日・年末年始(12月28日～1月4日)・展示室整備日は休室

ギャラリートーク：1月27日 落合博志教授

2月19日 入口敦志准教授

3月16日 恋田知子助教

場 所：国文学研究資料館展示室

主 催：国文学研究資料館

鑑賞者：1,135名(特別開室1日間含む。)

(3) 特設コーナー

概 要：年間を通じて、展示室の一部のスペースに特設コーナーを設け、定期的に展示替えを行いながら、様々なテーマで展示を行った。

(4) 特別展示「韓国古版画博物館名品展」

概 要：韓国の古版画については、韓国国内でもあまり知られておらず、忠や孝などの徳目を奨励するための『三綱行実図』とその影響作はすぐに思い浮かぶが、それ以外となるとなかなか名前が出てこない。しかし、韓国にも非常に豊かな版画の世界があり、韓国古版画博物館の協力を得て、韓国古版画の優品を展示した。

日 程：平成27年10月13日(火)～11月22日(日) 33日間

※土曜・日曜・祝日は休室

ギャラリートーク：11月12日、11月17日、11月20日

担当講師：入口敦志准教授

場 所：国文学研究資料館展示室

主 催：国文学研究資料館
鑑賞者：887名（特別開室5日間含む）

【展示関係の機能強化】

（1）展示室の土曜日開室に向けた展示室機能強化

概 要：これまで土曜日は閉室としていた展示室を、平成28年度から土曜日も開室することにより、社会貢献の充実を図るため、展示室の機能を強化するため、平成28年3月に改修した。

強化内容：監視カメラの増設、展示ケース電源設備の改修、展示ケース照明のLED化

（2）デジタル展示の機能強化

概 要：資料の展示以外に、臨場感ある巻子の展示及び長期間展示することができない貴重書の展示等をデジタルにて、高精細画像オリジナルの展示を行った。

強化内容：

○通常展示「書物で見る 日本古典文学史」

・中世の文学『浦島太郎』

2,200万画素20コマの画像を一巻のデジタル画像にし、モニタ3台の超横長モニタとして使用し、自動巻きの方法で展示した。

・近世の文学『金々先生栄花夢』

2,100万画素16コマの画像を4Kモニタの性能を活用し、読書イメージの自動頁めくりで展示した。

・近世の文学『雨月物語』

2,100万画素94コマの画像を4Kモニタの性能を活用し、読書イメージの自動頁めくりで展示した。

○特設コーナー

・生巧館木口(こぐち)木版作品群

3,000万画素の高精細画像を使用し、4Kモニタの性能を最大限に活かし、木版画約6,000枚の内80枚をカテゴリー別に展示した。

・「職人」のいる文芸—中世から近世へ—

東京博物館所蔵の『近世職人尽絵詞』全3巻合計43コマを貼合わせ、2100万画素の一巻のデジタル画像を作成し、4Kモニタで詳細な描写まで確認できる展示を行った。

○通常展示「和書のさまざま」

展示室内で無線ネットワーク(Wi-Fi)を使用し、鑑賞者持参のスマートフォン及びタブレットにて解説ビデオを見られるビジュアルモバイルガイドを行った。なお、スマートフォン及びタブレットを持参していない方用に、同じ内容を見られるパソコン1台を展示室に設置した。

広報出版室

【講座・講演会関係】

(1) 連続講座

平成 24 年度から日本文学の普及のため「くずし字を読む講座」を開催している。平成 26 年度までは今西祐一郎館長による「くずし字で読む『源氏物語』」講座を開催していたが、平成 27 年度は、「くずし字で読む『百人一首』」をテーマに各回の講師を決め、開催した。

名 称：平成 27 年度連続講座

テーマ：くずし字で読む『百人一首』

日 程：13 時 30 分～15 時 00 分

第 1 回：5 月 28 日 参加者：89 名 講師：田中大士教授

第 2 回：6 月 25 日 参加者：80 名 講師：山下則子教授

第 3 回：7 月 23 日 参加者：68 名 講師：海野圭介准教授

第 4 回：8 月 27 日 参加者：71 名 講師：小山順子准教授

第 5 回：9 月 24 日 参加者：73 名 講師：寺島恒世副館長

第 6 回：10 月 22 日 参加者：68 名 講師：齋藤真麻理教授

第 7 回：11 月 26 日 参加者：70 名 講師：神作研一教授

第 8 回：12 月 24 日 参加者：66 名 講師：恋田知子助教

第 9 回：2 月 25 日 参加者：69 名 講師：今西祐一郎館長

司 会：野網摩利子助教

場 所：国文学研究資料館大会議室

主 催：国文学研究資料館

参加者：延べ 654 名

(2) 「古典の日」講演会

11 月 1 日が「古典の日」と法制化されたことを記念し、平成 24 年度から開催している。

平成 27 年度は、日本文学研究者であり東京大学大学院のロバート キャンベル教授及び当館の齋藤真麻理教授が講師を担当して開催した。

名 称：平成 27 年度国文学研究資料館「古典の日」講演会

講 師：「春琴の恋—御伽草子の世界から—」 齋藤真麻理

「日本文学のアーリー・モダン」 ロバート キャンベル

司 会：小山順子准教授

日 程：11 月 1 日(日)13 時 30 分～16 時

場 所：ベルサール神田

主 催：国文学研究資料館

参加者：342 名

(3) アーカイブズ・カレッジ

多様な史料資料を取扱う専門の人材を養成するため、長期コース・短期コースをそれぞれ年1回開催した。

長期コースは、前期7月21日(火)から3週間、後期8月24日(月)から3週間の日程で国文学研究資料館において開催し、34名(うち2名は特別聴講)が受講した。受講者のうち史料保存機関職員や大学教職員などの社会人は19名、大学院生は15名であった。

なお、平成27年度、長期コースの全6科目を受講し、修了論文の審査に合格した24名に修了証書を授与した。短期コースは、11月16日(月)から21日(土)に三重県総合博物館の施設を借用して開催し、30名が受講した。受講者のうち史料保存機関職員や大学教職員などの社会人は26名、大学院生は4名であった。

①長期コース

日 程：7月21日(火)～8月7日(金)、8月24日(月)～9月11日(金)

講 師：大友一雄教授、渡辺浩一教授、古瀬蔵教授、早川和弘客員教授、青木睦准教授、入口敦志准教授、太田尚宏准教授、加藤聖文准教授、西村慎太郎准教授、丸島和洋特任助教 他、外部講師16名

場 所：国文学研究資料館オリエンテーション室ほか

受講者：34名(うち2名は特別聴講)

②短期コース

日 程：11月16日(月)～21日(土)

講 師：大友一雄教授、渡辺浩一教授、青木睦准教授、太田尚宏准教授、加藤聖文准教授、西村慎太郎准教授 他、外部講師7名

場 所：三重県総合博物館

受講者：30名

(4) 日本古典籍講習会

日本古典籍の整理・目録化を促進し、古典籍が広く活用される環境の整備を図るために、古典籍を所蔵する大学附属図書館、公私立図書館等の職員を対象として書誌学の専門知識や整理方法の技術修得を目的に研修を平成15年度から開始したもので、平成27年度で13回目である。平成25年度よりカリキュラムを変更し、3日間から4日間の開催で実施している。平成27年度は平成28年1月26日(火)から29日(金)で開催し、最初の3日間は当館で、最終日は国立国会図書館を会場として行った。大学図書館17名、公共図書館等14名、計31名が受講した。

日 程：1月26日(火)～29日(金)

講 師：谷川恵一副館長、大高洋司教授、落合博志教授、神作研一教授、齋藤真麻理教授、堀川貴司慶應義塾大学附属研究斯道文庫教授、青田寿美准教授、入口敦志准教授、恋田知子助教、増井ゆう子(古典籍共同研究事業センター事務室副室長)、和田洋一(学術情報課図書情報係長)、

喜多妙子（学術情報課古典資料目録係長）、中村美里（古典籍共同研究事業センター事務室古典籍データベース係長）他、国立国会図書館5名

場 所：国文学研究資料館大会議室、国立国会図書館

主 催：国文学研究資料館、国立国会図書館

受講者：31名

(5) 大学支援「国文研でゼミを」

学部、大学院で行っている日本文学、日本史のゼミや講義を、当館の豊富な所蔵資料を手に取りながら、当館のゼミ室で行うプログラムを今年度10月から実施し、3件受入れた。

【出版関係】

(1) 平成27年度国文学研究資料館紀要の発行

当館教員の研究成果の社会への還元の一環として、年度毎に研究紀要を発行している。平成27年度は、文学研究篇第42号、アーカイブズ研究篇第12号を刊行した。

(2) 研究成果刊行物購入に関する制度の実施

当館の研究成果の社会への還元の一環として、研究成果の出版を希望する当館の共同研究に対して、内容等を審査の上で、出版物の一部を当館が支出し、刊行を促進することを目的としている。

平成27年度は2件の申請があり、広報出版室において、外部委員を含めた審査会を組織し、審査した結果、申請を採択し、本制度を適用することとした。

(3) 国文研ニュースの発行

当館の広報記事や研究内容を紹介する定期刊行物として年に4回発行している。

平成27年度は、39号～42号の4冊を発行し、関係機関等に配布するとともに、催事実施の際に来館者に配布した。

(4) 概要の作成

平成27年度の当館概要を作成した。

(5) リーフレットの作成

平成27年度の当館リーフレットを作成した。

【広報関係】

(1) 広報活動

当館のWebページ及びチラシ・ポスターを通じて、催し物等の広報を行った。

(2) 文部科学省情報ひろば「企画展示」への参加

文部科学省内に設置されている広報スペース「情報ひろば」にて、当館の研究成果や取組を展示物で紹介する「企画展示」に参加した。また、これに関連する企画イベントとして、小学生を対象とした特別授業を文部科学省内の「ラウンジ」にて実施した。

○企画展示

日 程：8月3日(月)～11月18日(水)

場 所：文部科学省情報ひろば

入場者数：3,121名（ただし、情報ひろばがある文化展示室への入場者数である。）

○企画イベント「特別授業」

日 程：11月5日(木)、12月11日(金)

講 師：山下則子教授、入口敦志准教授

場 所：文部科学省ラウンジ

対 象：八王子市立みなみ野君田小学校6年生、新宿区立愛日小学校6年生

(3) 大学共同利用機関シンポジウム 2015 研究者博覧会への参加

大学共同利用機関等を将来の研究を担う若手（高校生等）や一般の方々に知ってもらうため、開催している。展示にあたっては、①各機関の研究に関連した研究体験②研究活動及び最近のトピックスなどを紹介する等、わかりやすく知的好奇心を鼓舞する内容とし、可能な限り見やすくインパクトのある展示として参加した。

日 程：11月29日(日)

研究者トーク：青田寿美（准教授）

担当講師：田中大士教授、渡辺浩一教授

場 所：アキバ・スクエア

来場者数：674名

(4) 文部科学教育通信への掲載

文部科学教育通信は、大学の学長、副学長、理事等の運営管理者や事業推進者を中心に購読されており、毎号全国的に2,000部程度が発行されている。この誌面には、当館所蔵資料の収蔵品紹介の頁があり、平成26年9月号より記事を掲載している。

○平成26年度

347-348号：田中大士教授、349-350号：渡辺浩一教授、

351-352号：大高洋司教授、353-354号：太田尚宏准教授、

355-356号：古瀬蔵教授、357-358号：入口敦志准教授、

359-360号：西村慎太郎准教授

○平成27年度

361-362号：江戸英雄助教、363-364号：青田寿美准教授、

365-366号：野網摩利子助教、367-368号：相田満准教授、

369-370号：齋藤真麻理教授、371-372号：小林健二教授、

373-374号：山下則子教授、375-376号：山本和明特任教授、

377-378号：小山順子准教授、379-380号：加藤聖文准教授、

381-382号：大友一雄教授、383-384号：神作研一教授

(5) カレンダーの作成

当館の平成 28 年用カレンダーを作成し、関係機関等へ配布した。

(6) 広報グッズ

一筆箋（3 種類）及びクリアファイルを増刷した。

(7) 見学の受入れ

当館の施設見学等について、平成 27 年度は教育機関関係や市民サークル等 22 件受入れた。

【平成 27 年度展示室特設コーナー】

(1) 古典文学とあそび—謎をかける—

概要：『扇の草紙』や『祐信風俗画譜』や『謎々合』など、古くから伝わることばや文字、絵を用いた遊びに関する資料 8 点を展示した。

日程：平成 27 年 3 月 12 日(木)～5 月 12 日(木) 38 日間

(2) 能・狂言の資料

概要：『二曲三体人形図』や『謡稽古秘伝抄』など能・狂言に関する資料 7 点を展示した。

日程：平成 27 年 5 月 14 日(木)～7 月 7 日(火) 38 日間

(3) 山鹿文庫の蔵品から

概要：山鹿文庫から寄贈を受けた資料群のうち、『山鹿家譜並年譜』や『中朝事実』など山鹿素行自身が書いた第 1 級資料 5 点を展示した。

日程：平成 27 年 7 月 9 日(金)～9 月 9 日(木) 41 日間

(4) さまざまな言語に翻訳された『源氏物語』

概要：アラビア語、イタリア語、クロアチア語、スペイン語、スロヴェニア語、タミール語、中国語、ドイツ語、ハンガリー語、韓国語、パンジャビ語、フランス語、ポルトガル語、モンゴル語、タイ語の翻訳本を展示した。

日程：平成 27 年 9 月 10 日(木)～9 月 30 日(水) 12 日間

(5) 折々の源氏物語～冬～

概要：『絵入り源氏物語』や『承応版本』など、源氏物語に関する資料 13 点を展示した。

日程：平成 27 年 10 月 13 日(火)～11 月 4 日(水) 16 日間

(6) 生巧館木口木版作品群

概要：『文藝界』創刊号の表紙試し刷など、木口木版画 27 点を展示した。

日程：平成 27 年 11 月 5 日(木)～平成 28 年 1 月 12 日(水) 33 日間

※11 月 14 日(土)、15 日(日)国際日本文学研究集会、及び 12 月 12 日(土)国際連携研究シンポジウム開催時の特別開室の日数を含む。

(7) 「職人」のいる文芸—中世から近世へ—

概 要：『七十一番職人歌合』や『俳諧職人尽前集』など、近世期の文芸の中の「働く人々」に関する資料 12 点を展示した。

日 程：平成 28 年 1 月 14 日(木)～4 月 12 日(火) 41 日間

Ⅲ 古典籍共同研究事業センター

【組織関連】

- 1 古典籍共同研究事業センター事務室に古典籍共同研究係を設置（4月）。
- 2 本事業を円滑・効果的に推進していくため、国文学研究資料館内に企画戦略WGを設置（5月）。
- 3 大型プロジェクトでの事業の進捗状況を評価するため、日本語歴史的典籍ネットワーク委員会に評価小委員会を設置（6月）。進捗評価報告書を作成（2月）。
- 4 情報系機能強化のため、ソフトウェア開発・データベース構築に専従する若手研究者（特任助教）を採用（10月）。

【協定関連】

- 1 カリフォルニア大学バークレー校 C.V. スター東アジア図書館を海外拠点に追加（1月）。

【データベース関連】

- 1 平成 27 年度から、拠点大学における画像作成（日本語の歴史的典籍の撮影）を開始。
- 2 平成 27 年度末までに、拠点 9 大学等のほか、マイクロフィルムからの画像作成、画像作成内製化実証試験による当館設置ブックスキャナでの撮影、拠点からの既存画像の提供などにより約 18,000 点の画像を作成。（累計画像作成数：約 72,000 点）
- 3 国際共同ネットワークシステムの構築において、データ作成系システム（館内職員作業用システム）を導入。また、公関係システム（書誌および画像データ等を、インターネットを通して公開するためのシステム）については仕様策定委員会を設置し、平成 28 年度末の導入に向けて必要な機能の検討や仕様書の作成等を開始。
- 4 タグ付けについては、館内教員、医学関連書タグ付け WG および数学関連書タグ付け WG メンバーによる作業を継続して実施中。

【研究開発系共同研究関連】

- 1 検索機能の高度化等を推進するため、研究開発系共同研究 6 件を実施。
 - (1) 検索機能の高度化に係る総合的研究
《国立情報学研究所、国文学研究資料館》
 - ・タグ付けによらない検索機能の高度化に関する基礎的研究（主として画像検索）
北本 朝展（国立情報学研究所・准教授）
 - ・先進性の高いシステム構築に基づくデータ配付に関する研究
大山 敬三（国立情報学研究所・教授）研究期間：平成 27 年 12 月～平成 30 年 3 月
 - (2) 典籍画像からのテキスト化とキーワード抽出に関する研究
《公立はこだて未来大学、国文学研究資料館》
寺沢 憲吾（公立はこだて未来大学・准教授）
研究期間：平成 27 年 5 月～平成 30 年 3 月
 - (3) 古典籍画像を対象としたメタデータ記述／アノテーションに関する研究

- 《一橋大学、慶應義塾大学、国文学研究資料館》
林 正治（一橋大学・助教）
研究期間：平成 27 年 9 月～平成 29 年 3 月
- (4) 「新古典籍総合目録データベース」のマルチリンガル化対応のための基礎研究
《立命館大学衣笠総合研究機構、国文学研究資料館》
赤間 亮（立命館大学・教授）
研究期間：平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月
- (5) 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」における典籍の全文テキスト化に関する検討協力
《凸版印刷株式会社、国文学研究資料館》
研究期間：平成 26 年 12 月～
- (6) 古文書および古典籍を対象とした、ブックスキャナの開発に関する共同研究
《株式会社 P F U、国文学研究資料館》
研究期間：平成 28 年 1 月～平成 30 年 12 月

【共同研究関連】

- 1 国際共同研究 2 件を実施。
- (1) 江戸時代初期出版と学問の総合的研究
ピーター・コーニツキー（ケンブリッジ大学アジア中東研究学部 名誉教授）
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月
- (2) 境界をめぐる文学一知のプラットフォーム構築をめざして—
ハルオ・シラネ（コロンビア大学東アジア言語文化学部 教授（学部長））
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月
- 2 公募による共同研究 5 件を実施。
- (1) 文化史の領域
- ①草双紙を中心とした近世挿絵史の構築
佐藤悟（実践女子大学文学部 教授）
研究期間：平成 26 年 10 月～平成 29 年 9 月
- ②紀州地域に存する古典籍およびその関連資料・文化資源の基礎的研究
大橋直義（和歌山大学教育学部 准教授）
研究期間：平成 26 年 10 月～平成 29 年 9 月
- ③日本漢詩文における古典形成の研究ならびに研究環境のグローバル化に対応した日本漢文学の通史の検討
合山林太郎（大阪大学大学院文学研究科（コミュニケーションデザイン・センター）准教授）
研究期間：平成 26 年 10 月～平成 29 年 9 月
- (2) 科学史の領域
- ①近世日本を中心とする東アジアの理学典籍に関する国際共同研究
小川東（四日市大学環境情報学部 教授）
研究期間：平成 26 年 10 月～平成 29 年 9 月
- ②近世日本科学史典籍の国際的再評価に向けた基盤研究
佐藤賢一（電気通信大学大学院情報理工学研究科 准教授）

- 研究期間：平成 26 年 10 月～平成 29 年 9 月
- (3) 異分野融合共同研究 2 件を開始。
- ①古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究
伏見裕利（富山大学和漢医薬学総合研究所 特命准教授）
研究期間：平成 27 年 7 月～平成 29 年 3 月
- ②オーロラと人間社会の過去・現在・未来
片岡龍峰（国立極地研究所准教授）
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月
※研究経費については総合研究大学院大学の学融合共同研究で負担。
- (4) 拠点主導共同研究 4 件を開始。
- ①法華経の日本での享受についての研究
浅田徹（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 教授）
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ②日本の歴史的典籍の画像データベースを利用した国際的教育プログラムの開発
飯倉洋一（大阪大学大学院文学研究科 教授）
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ③「見立て」と日本文化の諸相
福長進（神戸大学大学院人文学研究科 教授）
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ④西欧および近代日本における日本「古典」の受容のあり方についての研究～南方熊楠を視座として～
千本英史（奈良女子大学大学院人文科学系 教授）
研究期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- (5) 国文学研究資料館を中心に「総合書物学」の構築を目指す共同研究 7 件を実施、新規に 2 件を開始。
- 《継続 7 件》
- ①アジアの中の日本古典籍—医学・理学・農学書を中心として—
陳捷（国文学研究資料館研究部 教授）
研究期間：平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月
- ②日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化
落合博志（国文学研究資料館研究部 教授）
研究期間：平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月
- ③日本古典籍コードの国際標準化
山本和明（国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター 特任教授）
研究期間：平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月
- ④古代の百科全書『延喜式』の総合書物学研究—多分野協働をめざして
小倉慈司（国立歴史民俗博物館研究部 准教授）
研究期間：平成 26 年 10 月～平成 30 年 3 月
- ⑤表記情報と書誌形態情報を加えた日本語歴史コーパスの精緻化
高田智和（国立国語研究所理論構造研究系 准教授）
研究期間：平成 26 年 10 月～平成 29 年 9 月
- ⑥キリシタン文学の継承—宣教師の日本語文学

郭南燕（国際日本文化研究センター海外研究交流室 准教授）

研究期間：平成 26 年 10 月～平成 30 年 3 月

⑦表記の文化学—ひらがなとカタカナ—

入口敦志（国文学研究資料館研究部 准教授）

研究期間：平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月

《新規 2 件》

①書誌学・文献学の再構築

谷川恵一（国文学研究資料館研究部 教授）

研究期間：平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月

②青少年に向けた古典籍インターフェースの開発

田中大士（国文学研究資料館研究部 教授）

研究期間：平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月

【研究成果の発信及び広報関連】

1 イベント関連

- (1) 公募型共同研究（大阪大学・合山林太郎）の研究成果を、国際ワークショップ「幕末漢詩文の”かたち”」において発表（4月10日 於大阪大学）。
- (2) 日本古典籍（くずし字）講習会実施（5月6日～5月8日 於カリフォルニア大学バークレー校 東アジア図書館協議会(CEAL)日本資料委員会と共催）。
- (3) 連続講座「くずし字で読む『百人一首』」開催（5月28日～2月25日：全9回 於国文学研究資料館）。
- (4) 拠点主導共同研究（お茶の水女子大学）の研究成果を、国際日本学シンポジウム「日本化する法華経」において発表（7月4日～5日 於お茶の水女子大学）。
- (5) 日本学術会議主催公開シンポジウム「日本語の歴史的典籍データベースが切り拓く研究の未来」開催（7月25日 於日本学術会議講堂）。
- (6) 第1回日本語の歴史的典籍国際研究集会「可能性としての日本古典籍」開催（7月31日～8月1日 於国文学研究資料館）。インターネット上にパネル報告の一部を動画公開。
- (7) 文部科学省情報ひろば企画展示にて本プロジェクトの紹介（8月3日～11月18日）。関連イベントとして、小学校6年生を対象とした古典籍に関する特別授業を実施（11月5日、12月11日 文部科学省旧庁舎1階ラウンジ）。
- (8) 公募型共同研究（和歌山大学・大橋直義）の研究成果を、紀州地域学共同研究会「研究集会—2015 夏」において発表（8月27日～30日 於和歌山大学）
- (9) 国文研主導共同研究の研究成果を、佐賀大学地域学歴史文化研究センター地域学シンポジウム「葉種商野中家（ウサイエン）からみる江戸時代の佐賀」において発表（9月27日 於佐賀大学）。
- (10) 「古典の日」の講演会開催（11月1日 於ベルサール神田）。
- (11) 公募型共同研究（四日市大学・小川東）の研究成果を、四日市大学関孝和数学研究所「和算国際会議」において発表（11月7日～8日 於国文学研究資料館）。
- (12) 公募型共同研究（実践女子大学・佐藤悟）の研究成果を、絵入本学会主催の「絵入本ワークショップⅧ」において発表（12月12日～13日 於実践女子大学）。

- (13) 歴史的典籍オープンデータワークショップ（アイデアソン）開催（12月18日 於メルパルク京都）。本プロジェクトのホームページ及び「カレントアウェアネス・ポータル」（国立国会図書館のサイト）で実施概要報告及びグループディスカッションによる利活用案の報告。
- (14) 国際シンポジウム「HathiTrust とデジタルアーカイブの未来」開催（平成28年1月25日 於伊藤国際学術研究センター（東京大学本郷キャンパス） 東京大学と共催）。
- (15) 国際シンポジウム「読みたい！日本の古典籍—歴史的典籍の画像データベース構築とくずし字教育の現状と展望」開催（2月17日 於大阪大学 大阪大学と共同主催）。
- (16) 「古典籍ワークショップ」開催（3月11日 於カリフォルニア大学バークレー校 C.V. スター東アジア図書館）。
- (17) 総合研究大学院大学×国文学研究資料館×国立極地研究所共同ワークショップ「古典籍からオーロラを見つけよう・古典オーロラハンター（市民参加型ワークショップ）」開催（3月13日 於国文学研究資料館）。
- (18) 人間文化研究機構の広領域連携型基幹研究プロジェクト キックオフ・シンポジウム「人文学の知の展開—健康・地域・書物」において「異分野融合による総合書物学の構築」を紹介（3月19日 於コクヨホール）。
- 2 広報関連
- (1) ニュースレター「ふみ」を2回（4号、5号）発行。ホームページからPDF版（1号～5号）も配信開始。
- (2) 本プロジェクトの紹介（“2015EAJRS conference in Leiden” 9月16日～19日 於ライデン大学）。
- (3) 「国文研古典籍データセット（オープンデータ）」を国立情報学研究所の「情報学研究データリポジトリ（IDR）」から公開（11月10日公開 国立情報学研究所と同時プレスリリース 11月4日）。
- (4) 研究成果発表の事前告知（プレスリリース 11月10日）古典籍から発見されたオーロラの動態（異分野融合共同研究（国立極地研究所・片岡龍峰）。第6回極域科学シンポジウム（国立極地研究所）で発表。「ふみ」5号に関連記事）。
- (5) 本プロジェクトの紹介（「日本の歴史的典籍とそのデジタル化—研究及び教育に与える影響」11月12日～14日 於ハイデルベルク大学）。
- (6) 本プロジェクトの紹介（CEAL(Council on East Asian Libraries)の年次大会 平成28年3月30日 於米国シアトル）。発表資料動画配信。
- (7) 本プロジェクトの紹介及び古典籍データのオープン化の紹介（人間文化研究機構主催メディア懇談会（2回）、中日新聞、レポート笠間等）。
- (8) 凸版印刷（株）との共同研究成果のメディアへの取り上げ（読売新聞、日本経済新聞、テレビ各局他多数メディア）。
- (9) 本プロジェクトホームページのコンテンツ強化（共同研究のページの更新（研究課題追加、英文併記等）、各種委員会の開催状況の掲載、館蔵古典籍資料の画像・書誌データの公開に向けた取り組みの紹介、拠点大学の所蔵資料を含む収集マイクロ画像データの追加公開通知の掲載等）。
- (10) 大学共同利用機関シンポジウム2015においてブース展示。

IV 新収和古書一覽

【近代以前】

No	書名	刊写	数量	請求記号
1	紫禁和歌草(順徳院御集)	写	1冊	㊗2:289
2	筆陳 下	写	1帖	99:201:2
3	都百人一首	刊	1冊	㊗2:292
4	二百番歌合		2冊	㊗2:588:1-2
5	千蔭正岑／百番歌合・百番歌合		2冊	㊗2:586:1-2
6	百番歌合		1冊	㊗2:587
7	古文真宝後集合解評林	刊	5冊	60:490:1-5
8	古文真宝後集合解評林	刊	10冊	60:489:1-10
9	遠藤千胤旧蔵邦光社関係資料		1式	
10	御免 山王御祭番附	刊	1枚	㊗2:210
11	古文真宝諺解大成	刊	20冊	㊗9:50:1-20
12	古文真宝 後集	刊	1冊	㊗4:103
13	古文真宝 後集	刊	2冊	㊗4:104:1-2
14	古文真宝 後集	刊	2冊	㊗4:105:1-2
15	古文真宝 前集	刊	3冊	㊗4:107:1-3
16	古文真宝 前集	刊	3冊	㊗4:106:1-3
17	三十番鳥歌合	刊	1冊	㊗2:589
18	古文真宝 後集	刊	2冊	㊗4:108:1-2
19	古文真宝追加一括		224冊	60:-
20	広惠濟急方		3冊	49:333:1-3
21	広惠濟急方		3冊	49:334:1-3
22	発心集		1枚	㊗9:19
23	無名抄		1冊	
24	古文真宝後集	刊	2冊	㊗4:109:1-2
25	春色梅美婦禰	刊	7冊	㊗4:1007:1-7
26	歌仙家集		3冊	㊗2:41:1-3
27	相生の言葉		1冊	
28	忠度		1冊	
29	東鑑		50冊	
30	算学啓蒙諺解大成		7冊	
31	難波宮砂持人数おどり		1冊	
32	海外人物小伝	刊	5冊	㊗9:517:1-5
33	談海		27冊	
34	若艸源氏		11冊	
35	和蘭文典	刊	2冊	㊗9:519:1-2
36	東鑑脱漏	刊	1冊	㊗2:169
37	理学入門 植学啓原	刊	1冊	㊗9:518
38	和歌食物本草		1冊	
39	徒然草		1冊	
40	高源院殿追善紹巴独吟百韻ほか		1冊	

No	書名	刊写	数量	請求記号
41	日本廿四孝子傳		5冊	
42	女鏡秘伝書		4冊	
43	賢女物語		5冊	
44	高尾年代記		1冊	㍻7:104
45	繪本勇武鑑		3冊	
46	古文真宝後集	刊	2冊	㍻4:110:1-2
47	増補日用食性		1冊	
48	新編灸法口訣指南		1冊	
49	牛山方考		3冊	
50	済民記		3冊	
51	靈宝能毒大成		7冊	
52	内裏雛 山城名所寺社物語		5冊	
53	桂園一枝・桂園一枝拾遺		5冊	
54	平安名家墓所一覽		3冊	
55	か手物		1冊	
56	太平記綱目		41冊	
57	野間光辰諸写本を主とした近世文学資料一式		124冊	
58	島原記卷下		1冊	
59	宴曲抄		17冊	
60	謎かけ・ことば遊びの書		1冊	
61	訓蒙故事要言		10冊	
62	理学入門植学啓原		3冊	
63	吉原大鑑		2冊	
64	按摩手引		1冊	
65	養蚕私録		1冊	
66	朝鮮人大行列記		1冊	
67	人参攷		1冊	
68	沙石集卷三		1冊	
69	百人一首		1冊	
70	八幡宮本紀		8冊	
71	三国筆海全書		20冊	
72	草津温泉来由記		1冊	
73	繪本勇見山		1冊	
74	曾呂里狂歌咄		4冊	
75	安部野仲麿入唐記		4冊	
76	麻疹便覧		1冊	
77	女源氏教訓鑑		1冊	
78	鍼灸重宝記		1冊	
79	舞楽拾遺大成		5冊	
80	庭訓往来抄		2冊	
81	医療正始		9冊	
82	芥子園画伝		5冊	
83	芥子園画伝四君子		4冊	

No	書名	刊写	数量	請求記号
84	芥子園画伝		23冊	
85	宋紫石画譜		3冊	
86	義経千本櫻		1冊	
87	人柱勢子石古伝 土木建築		1冊	
88	狐疑説		1冊	
89	大坪流馬術伝書		1冊	
90	榊原本和漢朗詠集切「蟬」		1枚	
91	観音経和談鈔図会		3冊	
92	女四書芸文図会		4冊	
93	京羽二重		6冊	
94	宗祇廻国雑記		1冊	
95	和漢名画苑		1冊	
96	散逸私撰集切		1幅	
97	かたくり記		1冊	
98	法譚百座因縁		1冊	
99	手ばこのそこ		1冊	
100	連歌てには弁記		5冊	
101	類姓草画(人物草画)		3冊	
102	鼓銅図録		1冊	
103	ゆきかひふり		1冊	
104	藤川百首抄		1冊	
105	更科之記		2冊	
106	諸国歩遊記 前編 西国之部		4冊	
107	運筆簞画		3冊	
108	玩貨名物記		1冊	
109	続三匹猿		1冊	
110	伝為相歌合切幅		1軸	
111	玉露童女行状		1冊	
112	龍斎花鳥図変		1冊	
113	猿法語		3冊	
114	小謡集		3冊	
115	応理宗戒図本文集		1冊	
116	科註妙法蓮華経鈔		20冊	
117	鎌倉管領九代記		15冊	
118	桃家春帖		1冊	
119	保元物語		3冊	
120	平治物語		3冊	
121	増補いろは別好色本目録		1冊	
122	浮世絵師喜多川歌麿版画錦絵目録		1冊	
123	絵本吉野草		3冊	
124	鉄心斎文庫		1878冊	

【近代】

No	書名	数量	請求記号
1	源氏物語湖月抄 / [北村季吟著] ; 猪熊夏樹増註訂正 -- 増註訂正. -- 積善館, 1891. 3.	8 冊	ㄩ4:1501:1-8
2	破蓮集 : 文學雜著 / 星野慎之輔著. -- 矢嶋誠進堂, 1900. 10.	1 冊	ㄷ5:256
3	[大橋図書館開館資料]. -- [大橋図書館], [1902. 6].	1 冊	ㄷ6:9
4	世界都路 (せかいみやこじ) / 假名垣魯文著 -- 回春樓, 1872.	3 冊	ㄱ9:516:1-3
5	音曲自慢 : 遊芸全書 / 弥生園主人撰. -- 藍外堂, 1891. 8.	1 冊	ㄹ6:516
6	ポケット顧問 : や、此は便利だ / 下中芳岳編 : 秋永東洋[編著] ; 下中緑著. -- 増訂20版. -- 平凡社, 1915. 5.	1 冊	ㄴ3:470
7	出版條例 / 文部省[編]. -- 文部省, 1872-.	1 冊	ㄱ9:512
8	Catalogue of books in European languages in the library of the department of education = 文部省書庫洋書目録 ; [main], supple. -- 文部大臣官房圖書課, 1899-1901.	1 冊	ㄹ1:2343
9	恋ごゝろ / 田山花袋著. -- 新潮社, 1915. 9. -- (情話新集 ; 第5編).	1 冊	ㄷ4:1882
10	恋ごゝろ / 田山花袋著. -- 新潮社, 1915. 9. -- (情話新集 ; 第5編).	1 冊	ㄷ4:1883
11	鯰公必用猫名本 / 野田與三治郎編輯 -- 和田喜三郎, 1880. 11.	2 冊	ㄷ7:324:1-2
12	東京名所四季の交張 / 楓川里蝶編集. -- 楓川里蝶 [写], [1870. 4]. d.	1 冊	ㄱ3:136
13	花嫁人形 / 長田幹彦著. -- 偕成社, 1949.	1 冊	ㄷ4:1890
14	文明餘音同樂相談. -- 1號 (明12. 12)-.	1 冊	700601
15	夕波ちどり / 長田幹彦著. -- ポプラ社, 1949. 6.	1 冊	ㄷ4:1891
16	月夜烏 / 長田幹彦著 ; 高木清絵. -- 偕成社, 1949. 10.	1 冊	ㄷ4:1893
17	鈴蘭の花咲けば / 長田幹彦著 ; 辰巳まさ江絵. -- ポプラ社, 1948. 12.	1 冊	ㄷ4:1894
18	恋愛合戦 : 小説 / 宇野浩二著. -- 新潮社, 1922. 7.	1 冊	ㄷ4:1895
19	文藝夜話 / 宇野浩二著. -- 金星堂, 1922. 6.	1 冊	ㄷ0:497
20	天才 / 小栗風葉著 ; 前篇. -- 隆文館, 1908. 3.	1 冊	ㄷ4:1896
21	新家庭 / 川上眉山著 ; -- 今古堂, 1907. 7-1908. 3.	2 冊	ㄷ4:1897:1-2
22	壺中我觀 / 田岡嶺雲著. -- 嵩山房, 1906. 3.	1 冊	ㄷ6:147
23	病恋愛 / 徳田秋声著. -- 隆文館, 1905. 6.	1 冊	ㄷ4:1898
24	落し胤 / 徳田秋声著. -- 今古堂, 1907. 6.	1 冊	ㄷ4:1899
25	わたり鳥 / 徳田秋声, 清水弦二郎著. -- 卍俱樂部, 1907. 11.	1 冊	ㄷ4:1900
26	凋落 / 徳田秋声著. -- 隆文館, 1908. 7.	1 冊	ㄷ4:1901
27	黴 : 小説 / 徳田秋聲著. -- 新潮社, 1912. 1.	1 冊	ㄷ4:1902
28	灰燼 / 徳田秋聲著. -- 金星堂, 1922. 11.	1 冊	ㄷ4:1903
29	夢の女 : 小説 / 永井荷風著. -- 新聲社, 1903. 5.	1 冊	ㄷ4:1904
30	冷笑 : 小説 / 永井荷風著. -- 左久良書房, 1910. 5.	1 冊	ㄷ4:1905
31	荷風集 / 永井荷風著. -- 易風社, 1909. 10.	1 冊	ㄷ4:1906
32	新橋夜話 : 小説 / 永井荷風著. -- 靱山書店, 1912. 11.	1 冊	ㄷ4:1907
33	ふらんす物語 : 新編 / 永井荷風作. -- 博文館, 1915. 12.	1 冊	ㄷ4:1908
34	珊瑚集 : 佛蘭西近代抒情詩撰 / 永井荷風譯著. -- 第一書房, 1938. 3.	1 冊	ㄷ1:379
35	連翹 / 馬場孤蝶著. -- 久友社, 1905. 5.	1 冊	ㄷ0:498

- 36 変目伝 / 広津柳浪作 ; 広津和郎編. -- 新潮社, 1918. 1 冊 ㄊ4:1909
- 37 敬字先生詩文偶抄 / 中村敬字(正直)著 ; 松村操編. -- 兎屋誠, 1881. 10. 1 冊 ㄊ1:380
- 38 雄辨美辭法 : 全 / 黒岩大譯述 ; 堀口昇校閲. -- 第4版. -- 關根眞之助, 1888. 1 冊 ㄋ0:458
- 39 奢是吾敵論 / ビュフォン氏著 ; 井上毅譯. -- 再版. -- 大日本農會, 1893. 4. 1 冊 ㄆ0:81
- The English miscellany / compiled by English literary association in
40 Tokyo Imperial University = 英文學叢誌 / 東京文科大学英文學科内英文學會
編纂 -- Bunkwaido, 1904. 1 冊 ㄆ2:156
- 41 芸術戦線 : 新興文芸二十九人集 / 中西伊之助編. -- 自然社, 1923. 6. 1 冊 ㄊ0:499
- 42 哲學館事件と倫理問題 / 清水清明編 -- 文明堂, 1903. 2 冊 ㄆ8:312:1-2
- 43 脾肝薬玉圓功能書 1 冊
- 44 教育襍纂 1 冊
- 45 三酔人経綸問答 1 冊
- 46 三酔人経綸問答稿本 2 冊
- 47 加地時報 1 冊
- 48 猫の妙術 海軍通信学校 兵術研究資料 1 冊
- 49 驕慢児 1 冊

V 各教員実績一覧

[凡 例]

氏 名

職 名

専門分野

研究内容

研究実績 ①編著書 ②学術論文 ③総説・解説・評論等 ④学術発表（シンポジウム基
調報告・講演・学会発表等） ⑤外部資金による研究活動（項目中、分担者と
あるのは、研究分担者もしくは連携研究者のことです。）

教育活動

社会貢献

受 賞

氏 名 今 西 祐一郎

職 名 館長

専門分野 日本古典文学

研究内容 平安時代文学の諸問題、日本古典籍に関する総合書物学

研究実績 ④平成 27 年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」

(第 9 回)

⑤科学研究費補助金 基盤研究(A)「日本古典籍における表記情報学の発展的
研究」

基盤研究(A) 日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究

社会貢献 中古文学会常任委員

財団法人 新村出記念財団理事

氏 名 寺 島 恒 世

職 名 教授・副館長

専門分野 日本文学

研究内容 中世和歌文学の研究・歌仙絵資料の成立と流布に関する研究

研究実績 ①編著，基幹研究成果報告書 日本古典文学における〈中央〉と〈地方〉，2016年3月，国文学研究資料館

③「千載和歌集」・「武家百人一首」，韓国国立中央図書館所蔵の日本古典籍善本解題，日韓の書誌学と古典籍，アジア遊学 184，勉誠社，2015年5月

④「文芸・宗教における九州―〈中央〉と〈地方〉の関わりから―」，調査研究報告（国文学研究資料館調査収集事業部）36，2016年3月

平成 27 年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」

（第 5 回）

玉音放送現代語訳，朝日新聞，2015年8月1日（朝刊）、2015年8月5日（夕刊）

講演，これからの古典籍研究―大規模学術事業に関わって―，国文学言語と文芸の会 2015 年度大会，明治大学駿河台キャンパス，2015年12月13日

教育活動 総合研究大学院大学教授

社会貢献 文部科学省教科用図書検定調査審議会委員・第 1 部会長・国語小委員会委員長

和歌文学会常任委員・例会委員

中世文学会委員

氏 名 谷 川 恵 一

職 名 教授・副館長

専門分野 近代日本文学

研究内容 近代文学成立期の研究

研究実績 ④国際連携研究「日本文学のフォーラム」第 3 回国際シンポジウム「時間を翻訳する」，国際会議，2015年12月，テキストの中の時計―「クリスマス・キャロル」の翻訳をめぐる，口頭（一般）

国文学研究資料館フォーラム（第 38 回），国内会議，2015年6月，国文学研究資料館，「天命と物語―幸田露伴の『ひげ男』―」，公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等

新発見！『三酔人経綸問答』の草稿, 2016年9月

社会貢献 日本学術会議連携会員
日本近代文学会評議員
日本近代文学館評議員

氏名 大友一雄

職名 教授・研究主幹

専門分野 アーカイブズ学

研究内容 近世の記録管理研究、アーカイブズ情報資源化研究、日本近世史

研究実績 ①「近世大名のアーカイブズ資源研究 松代藩・真田家をめぐって」(思文閣出版, 3月, 国文学研究資料館編) 単行本(学術書)

「キリシタンの跡をたどるーバチカン図書館所蔵マレガ収集文書の発見と国際交流」(9月, マレガ・プロジェクトシンポジウム予稿集)

②「アーカイブズ資源研究の動向と課題」(前掲「近世大名のアーカイブズ資源研究 松代藩・真田家をめぐって」所収)

「幕府老中職文書群に関する基礎的研究ー松代藩公用方役人と文書システム」(同前)

「江戸幕府の実紀編纂と将軍の記憶装置ー幕府「日記」の作成に注目して」

(11月12日、韓国国史編纂委員会、「承政院日記データベース構築完成記念学術会議」報告書)

④国際シンポジウム「キリシタンの跡をたどるーバチカン図書館所蔵マレガ収集文書の発見と国際交流」企画・運営、および趣旨説明 9月12日、バチカン 聖ピオ10世ホール

教育活動 総合研究大学院大学教授
國學院大学大学院非常勤講師

社会貢献 日本歴史学協会常任委員
地方史研究協議会委員
関東近世史研究会評議委員

氏名 神作研一(かんさく・けんいち)

職名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 近世和歌史・学芸史

研究実績 ①『もう一つの日本文学史』アジア遊学 195（国文学研究資料館編、勉誠出版、2016年3月）

*神作は第2部「男たちの性愛—春本と春画と—」の編集を担当するとともに「イントロダクション」を執筆した。

②「江戸の今西行—似雲覚書—」（『西行学』6号、西行学会、笠間書院、2015年8月）

③『和本リテラシーニュース』第1号（日本近世文学会広報企画委員会編、笠間書院、2015年7月）

『名歌名句辞典』新装版（佐佐木幸綱・復本一郎編、三省堂、2015年8月）

*賀茂真淵18首、小沢蘆庵10首ほか、13人の近世歌人の和歌計59首を分担執筆。*2004年原刊。

「江戸のタイムカプセル—シーボルトの収集に光—」 中日新聞名古屋本社版、2015年10月9日付夕刊

「変体仮名 スマホで学ぶ」文化欄記事へのコメント 読売新聞東京本社版、2015年11月3日付朝刊

「《コラム》Documentary 和本—WAHON—礼讃」 『書物学』6号、勉誠出版、2015年11月

「《面白かった、この3つ》つれづれなるままに—江戸の〈古典〉—」 『リポート笠間』59号、笠間書院、2015年11月

「ようこそ、国文研へ」 『国文研ニュース』42号、2016年1月

「夢のつづき—極上の短冊手鑑 登場—」 「週刊読書人」3129号、読書人、2016年2月26日付 *永井一彰編『誹諧短冊手鑑』（八木書店）の書評。

「国文学研究資料館の収蔵品⑳ 勝川春章画『錦百人一首あづま織』」

『文部科学教育通信』383号、教育新社、2016年3月14日

「国文学研究資料館の収蔵品㉑ 歌合部類」 『文部科学教育通信』384号、教育新社、2016年3月28日

④「〈大名和歌〉の性格」南部フォーラム2015〈南部藩の文化活動を考える〉

於八戸、2015年9月22日

「古典の〈かたち〉—江戸の本を知る・さわる・楽しむ—」日本近世文学会出前授業 於和洋九段女子高校、2015年11月4日

「くずし字で読む百人一首」国文学研究資料館連続講座 於国文学研究資料館、
2015年11月26日

「本にも身分がある—古典籍のカタチ—」武蔵野美術大学造形研究センター
/ミニ講座 於武蔵野美術大学、2015年12月11日

「はじめての古典籍」日本古典籍講習会 於国文学研究資料館、2016年1月
26日

「昔の文字を読んでみよう」日本近世文学会出前授業 於桐蔭学園中学校、
2016年2月22日

Research on Illustrated Waka Books (「和歌絵本」の研究) プリンスト
ン写本版本国際集会2016 於プリンストン大学、2016年3月5日

*石川透科研主催

「江戸の写本文化」Kotenseki Workshop (Workshop on Japanese Old and Rare
Books) 於カリフォルニア大学バークレー校 C.V. Starr East Asian Library
Art History Seminar Room、2016年3月11日

⑤科学研究費補助金・基盤研究(C)「近世歌合の総合的調査・研究」(研究代表
者)

科学研究費補助金・基盤研究(A)「日本古典籍における表記情報学の発展的研
究」(研究分担者)

科学研究費補助金・基盤研究(A)「室町～江戸期における写本と版本の關係に
ついての総合的研究」(連携研究者)

科学研究費補助金・基盤研究(B)「在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解
釈の総合的研究」(研究分担者)

科学研究費補助金・基盤研究(C)「松代・一関・南部・秋田各藩の和歌活動・
俳諧活動による大名文化圏形成解明の新研究」(研究分担者)

武蔵野美術大学造形研究センター共同研究「近世活版印刷物における図像と
文字形象および造本・装訂デザインの解析」(客員研究員)

教育活動 総合研究大学院大学教授

日本女子大学大学院 非常勤講師

立正大学文学部 非常勤講師

武蔵野美術大学造形研究センター 客員研究員

社会貢献 日本近世文学会 常任委員・広報企画委員長

和歌文学会 常任委員・編集委員

俳文学会 委員

日本古典文学学術賞 選考委員

氏 名 小 林 健 二

職 名 教授・研究主幹

専門分野 日本文学

研究内容 室町時代の文芸（能・狂言、幸若舞曲、物語草子など）

研究実績 ①「もう一つの日本文学史」勉誠出版，2016年3月，国文学研究資料館編

単行本（学術書），もう一つの室町一女・語り・占い

③宮崎文庫記念館蔵「敦盛」絵巻攷：翻刻と考察，かがみ，2016年3月

能界展望(平成二十四年)，能楽研究，2015年

④国文研フォーラム（第41回），国内会議，2015年12月，国文学研究資料館，

「国文学研究資料館蔵『狂言絵』をよむ」，公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等

国文学研究資料館通常展示「和書のさまざま」ギャラリートーク（平成27年度第4回）

宇和島伊達400年記念祭シンポジウム

⑤基盤研究(C)，『舞の本絵巻』を中心とした幸若舞曲の絵入り本の調査研究

教育活動 総合研究大学院大学教授

法政大学能楽研究所兼任所員

神戸女子大学古典芸能研究センター客員研究員

社会貢献 能楽学会代表

中世文学会常任委員

説話文学会委員

藝能史研究会評議員

氏 名 田 中 大 士

職 名 教授・研究主幹

専門分野 万葉集（特に伝本研究）

- 研究内容 万葉集の伝本、古筆切の研究
- 研究実績 ②「万葉集忠兼本の系譜」国語国文（京都大学）第84巻第11号 平成27年11月
- ④「紀州本万葉集卷十」美夫君志会全国大会招待研究発表会 平成27年6月28日
「春日本万葉集と古葉略類聚鈔—中臣祐定の万葉学—」高岡市立万葉歴史館
2015高岡万葉セミナー（古写本の魅力）講演 平成27年8月2日
「春日若宮社神主中臣祐定と万葉集」奈良県立万葉文化館講演会 平成27年10月4日
- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「万葉集仙覚校訂本作成過程の解明に関わる万葉集諸伝本の包括的研究」
- 教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授
日本女子大学非常勤講師
- 社会貢献 第一回上代文学会夏季セミナー（万葉写本学入門）の講義
担当 『萬葉集』の諸本、系統 平成27年8月21日
美夫君志会万葉ウォーク 昭和美術館での紀州本万葉集の解説 平成27年9月13日
上代文学会理事
和歌文学会常任委員
- 氏 名 伊 藤 鉄 也
- 職 名 教授
- 専門分野 国文学
- 研究内容 中古物語の研究、特に『源氏物語』に関する研究
- 研究実績 ①「もう一つの日本文学史」勉誠出版、2016年3月、国文学研究資料館編
単行本（学術書）
共編著 国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫」、新典社、2015年10月、伊藤 鉄也、阿部江美子、浅川慎子 編
- ⑤挑戦的萌芽研究，視覚障害者と共に古写本の仮名文字を読み日本古典文化を共有するための挑戦的調査研究
基盤研究(A)，海外における源氏物語を中心とした平安文学及び各国語翻訳に関する総合的調査研究
- 社会貢献 特定中古文学会委員

非営利活動法人源氏物語電子資料館代表理事

氏 名 大 高 洋 司

職 名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 近世文学、特に後期小説の研究 近世都市風俗の研究

研究実績 ②「馬琴読本と「潤筆」、『文学』第15巻3号 5・6月号、岩波書店
「八戸南部家の読本収集」、『読本研究新集』第6集 6月、読本研究の会
③「悔恨と感謝」、『近世文芸』百号記念号「特別企画 思い出の論文」 7月、
日本近世文学会
研究ノート「八戸南部家の読本収集」余滴、『国文研ニュース』No.36
8月、国文学研究資料館
「学界時評 近世」、『アナホリッシュ國文學』第7号 8月、響文社
書評「武藤元昭著『人情本の世界』」、『図書新聞』第3173号 9月6日
「国文学研究資料館の収蔵品⑤『浮世風呂』一出現した二～四編の初印本
一」・「同⑥「秋里籬島『撰津名所図会一稿本・版本から分かる絵師交代の内
側一」、『文部科学教育通信』No.351・352 11月10日、11月24日
⑤人間文化研究機構連携研究「都市風俗と「職人」一日本中近世の絵画資料を
中心に一」（研究代表者）
科学研究費補助金 基盤研究(B)「韓国国立中央図書館所蔵日本古典籍の
日韓共同研究」（研究代表者）

教育活動 総合研究大学院大学教授

國學院大学大学院非常勤講師

社会貢献 日本近世文学会委員

氏 名 落 合 博 志

職 名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世文学・中世芸能の研究、古典籍書誌学の研究

研究実績 ①共編著『伊藤正義中世文華論集』第三巻 金春禅竹の研究、和泉書院、2016年

1月, 樹下 文隆、落合 博志

②和歌・連歌・平家と能および早歌—諸ジャンルの交渉—, 『中世文学』60号, 2015年6月, 落合 博志

『毘沙門堂本古今集注』の書誌的問題, 『国文研ニュース』42号, 2016年1月, 落合 博志

④国文研フォーラム(第40回), 国内会議, 2015年10月, 国文学研究資料館, 『毘沙門堂本古今集注』の書誌的問題

第1回日本語の歴史的典籍国際研究集会プログラム, 国際会議, 2015年8月, 日本古典籍の書誌概念と書誌用語の諸問題, 口頭(基調)

国文学研究資料館通常展示「和書のさまざま」ギャラリートーク(平成27度第1回)

⑤科学研究費補助金基盤研究(B)「観世家のアーカイブの形成と室町期能楽の新研究」(研究分担者)

科学研究費補助金基盤研究(B)「再興・布教から霊場化へ—増峠関連の寺院経蔵調査を中心に—」(研究分担者)

教育活動 総合研究大学院大学教授

社会貢献 能楽学会常任委員

説話文学会委員

氏 名 齋 藤 真麻理

職 名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世文学、特に室町の学芸に関する研究

研究実績 ②「黒白争闘—『鴉鷺合戦物語』の場合—」, 『いくさと物語の中世』, 汲古書院, 2015年8月

④平成27年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」(第6回)

平成27年度国文学研究資料館「古典の日」講演会「春琴の恋—御伽草子の世界から—」

⑤基盤研究(C), 中・近世日本における中国明代日用類書の変成—異類・異界表現を中心に—

教育活動 総合研究大学院大学教授
お茶の水女子大学非常勤講師

社会貢献 東洋文庫研究員

氏 名 陳 捷

職 名 教授

専門分野 中国古典文献学 日中書籍交流史

研究内容 アジアのなかの日本古典籍 日本における漢籍の受容の研究

研究実績 ①共編著「日韓の書誌学と古典籍」(アジア遊学 184), 勉誠出版, 2015年5月, 大高洋司、陳捷, 単行本(学術書)

②「韓国国立中央図書館所蔵琉球『選日通書』について」, 大高洋司・陳捷 編, 「アジア遊学」特集『日韓の書誌学と古典籍』(勉誠出版), pp. 93-104, 2015年5月

「關於宮島誠一郎文書中の筆談資料」, 彭小妍主編『翻譯與跨文化流動: 知識建構、文本與文體的傳播』(*Translation and Transcultural Movement: Knowledge Construction and the Transmission of Texts and Literary Style*, 臺北: 中央研究院中國文哲所), pp. 435-458, 2015. 10

L' imprimerie et l' activité éditoriale des monastères bouddhiques sous les Song (960-1279), Édité par Michela Bussotti, Jean-Pierre DRÈGE: *Imprimer sans profit? Le livre non commercial dans la Chine impériale Non commercial books in Imperial China*, Genève: Librairie Droz, pp. 71-104, 2015.

③『夢梅華館日記』翻刻(第30~31卷), 国文学研究資料館調査研究報告, 2016年3月, 陳捷

④第1回日本語の歴史的典籍国際研究集会プログラム, 国際会議, 東アジアの医書・農書・理学書への新たな視界, 口頭(基調), 2015年8月

「清末銅版『西清古鑑』與日本近代銅版書」, 「東方印迹: 中韓日雕版印刷国際学術研討会」, 北京大学新聞与伝播学院, 2015. 11. 27-29

「中国人外交官が見た明治日本—清国駐日公使館随員孫点の日記を中心として—」, 東アジア文化交渉学会第8回大会, 関西大学東西文化研究所, 2016. 5. 7-8

⑤基盤研究(C), 『古逸叢書』の編纂・出版およびそのテキストの研究

教育活動 総合研究大学院大学教授

社会貢献 日本中国学会・中国社会と文化学会の学会活動

氏 名 古 瀬 蔵

職 名 研究部教授

専門分野 自然言語処理

研究内容 日本文学研究支援のための情報アクセスに関する研究

研究実績 ⑤基盤研究(B), 多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究

教育活動 総研大日本文学研究専攻 入学者選抜委員会委員長

社会貢献 情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会運営委員

科学技術動向研究センター専門調査員

氏 名 山 下 則 子

職 名 教授

専門分野 日本近世文学・近世芸能・浮世絵。

研究内容 絵入り版本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究。四世鶴屋南北の作劇法の研究—出版文化と東アジアの投影—。

研究実績 ①単著 『正本写合巻集・16 金瓶梅曾我賜宝』, 360 頁, 国立劇場調査養成部, 2016 年 1 月 29 日発行, 高橋則子

②「土佐浄瑠璃六段本『京太郎』」, 演劇研究会会報 41 号 (43 ~ 69 頁), 2015 年 5 月, 高橋則子

キオッソーネ東洋美術館所蔵日本古典籍目録, 調査研究報告 36 号, (208~279 頁), 2016 年 3 月, ロバートキャンベル、山下則子

キオッソーネ東洋美術館蔵主要近世絵本解説, 調査研究報告 36 号, 2016 年 3 月, 山下則子

③「国文学研究資料館の収蔵品 27 山東京伝の見立絵本(1)—『手拭合』—」, 文部科学教育通信 No. 373, 2015 年 10 月 12 日, 山下則子

「国文学研究資料館の収蔵品 28 山東京伝の見立絵本(2)—『小紋雅話』—」, 文部科学教育通信 No. 374, 2015 年 10 月 26 日, 山下則子

④平成 27 年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」

(第 2 回) 2015 年 6 月 25 日

学術講演「江戸時代の庶民文芸 ―現代に繋がる中国との関わり―」（中国・四川外国語大学日本語・日本文学系開設 40 周年記念特別行事） 2015 年 12 月 11 日，山下則子

文部科学省（情報ひろば）での特別授業「ぼくらのヒーローは古典から生まれた!」（八王子市立みなみ野君田小学校対象），日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画普及活動，2015 年 11 月 5 日

⑤基盤研究(B)，在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授・同専攻長
中央大学文学部非常勤講師

社会貢献 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員
日本近世文学会・歌舞伎学会運営委員・芸能史研究会・全国大学国語国文学会
和漢比較文学会・演劇研究会 演劇研究会

氏 名 渡 辺 浩 一

職 名 教授

専門分野 歴史学およびアーカイブズ学

研究内容 近世都市災害、アーカイブズ史

研究実績 ①*Memory, History and Autobiography in Early Modern Towns in East and West*, Cambridge Scholars Publishing, 単行本（学術書），2015 年 8 月，Vanessa Harding & Koichi Watanabe ed., 第 5 章 The Self, Family and Social Group in Memory of the Early Modern Japanese Towns

「自己語りと記憶の比較都市史」 勉誠出版，2015 年 11 月，渡辺浩一，ヴァネッサ・ハーディング，単行本（学術書），序章Ⅱ 自己語りと記憶の比較都市史、第 5 章 近世日本地方都市の記憶にみる自己・家・社会集団

近世大名のアーカイブズ資源研究 松代藩・真田家をめぐって，思文閣出版，2016 年 3 月，国文学研究資料館編 単行本（学術書），第 6 章 松代城下町町人地の行政情報蓄積様式にみる家と組織 渡辺浩一

②江戸時代の災害文化を考える―弘化 3 年(1846)江戸水害の避難者名簿から，気候適応史プロジェクト成果報告書（総合地球環境学研究所）Ⅰ，2016 年 3 月，渡辺浩一

③『松江市史 史料編』8（近世 4）第二章「城下町松江と在方町」解説 2016 年 3 月 渡辺浩一

書評 登谷伸宏著『近世の公家社会と京都：集住のかたちと都市社会』, 建築史学, 2016年3月, 渡辺浩一

④人間文化研究機構広領域型基幹研究「人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的研究」対比班 プレ国際シンポジウム「近世巨大都市災害研究の現状と課題ーロンドン・イスタンブル・北京・江戸ー」, 国際会議, 2016年2月, 江戸災害史研究の現状と課題, 口頭(基調) 渡辺浩一

⑤総合地球環境研究所プロジェクト「高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索」(代表中塚武) 近世史グループサブ・リーダー

教育活動 法政大学大学院人文科学研究科兼任講師(非常勤)

中央大学文学部兼任講師(非常勤)

東京大学大学院人文社会研究科兼任教授

社会貢献 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 海外学術調査審査委員

松江市史編集委員

氏名 相田 満

職名 准教授

専門分野 和漢比較文学・説話文学・人文情報学

研究内容 観相資料の日本的受容の研究・『蒙求』ほか幼学書と注釈書の受容・六国史

研究実績 ①時空間とオントロジで見る和漢古典学, 勉誠出版, 2016年3月,

相田 満

『茶譜』巻8 注釈, 大東文化大学東洋研究所, 2016年3月, 藏中しのぶ(編)

相田満, 安保博史, 佐藤信一, フレデリック・ジラルル, 高木ゆみ子, 三田明弘, 矢ヶ崎善太郎

②サポートベクトルマシンを用いた自動人相判別の検討, 2016年3月, 情報処理学会第78回全国大会 4F-05, 玉森聡, 相田満, 松井知子

「中国由来の供養から見る日本人の供養観：橋供養を中心に」, 東洋研究197, 大東文化大学, 2015年11月, 相田満

観相資料の学際的研究—発展研究のための理論と可能性, 情報処理学会論文集「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)2015」, 2015年12月, 相田満

③「観相から見る日本文学史の試み」序説：特設コーナー展示資料解説から,

国文学研究資料館紀要（文学研究篇）42，2016年3月，相田満、高野純子
単著「生き物供養と橋供養—随心院蔵『慶長五年多摩六郷橋供養願文』と関連して—」国文研ニュース40号，2015年7月，相田 満

《国文学研究資料館の収蔵品22》災害と向き合う—『地震津浪（じしんつなみ）末代（まつだい）嘶乃種（はなしのたね）』（ヤ3-161）—，2015年7月，相田満，
文部科学教育通信No.368，ジアース教育新社

《国文学研究資料館の収蔵品21》2番目に古い騎馬武者像—浮世絵師の描いた足利尊氏像：西川祐信『絵本武者備考』—，2015年7月，相田満，文部科学教育通信No.367，ジアース教育新社

無窮会専門図書館珍蔵善本紹介 幻の四十部構想時代の『古事類苑』，東洋文化112，2015年5月，相田 満

- ④観相資料の学際的研究—発展研究のための理論と可能性，国内会議，2015年12月，情報処理学会論文集「人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん）2015）」

願文・供養碑から見る日本の供養観—橋の供養と馬の供養を中心に，国際会議，和漢比較文学会第8回特別例会和漢比較シンポジウム2015，和漢比較文学会・西北大学日本文化研究センター，2015年8月

文字を惜しむこと，国内会議，書論研究会第37回大会，筑波大学5C棟216教室

どう使う?! データベース—歴史人物画像（古典キャラクター）データベースを中心に—，2015年6月，103 學年度国文学研究資料館相田満先生專題演講，台湾輔仁大学，

Creatures memorial service and anything memorial service in Japanese culture，2015年6月，JSPS サマー・プログラム 2015 特別講義，総合研究大学院大学葉山本部，招待講演（英語）

国文研フォーラム（第37回），国内会議，2015年5月，国文学研究資料館，「生き物供養と橋供養—随心院蔵『慶長五年多摩六郷橋供養願文』と関連して—」，公開講演

国文学研究資料館通常展示「和書のさまざま」ギャラリートーク（平成27年度第5回）

- ⑤挑戦的萌芽研究，観相資料の学際的研究—マンガも視野に入れた古籍観相資料の分析と応用—（研究代表者）

基盤研究(A)，和漢古典学のオントロジモデルの高次・具現化（研究代表者）

日本学術振興会研究成果公開促進費(出版助成)，『時空間とオントロジで見る和漢古典学』（代表者）

- 教育活動 総合研究大学院大学准教授
大東文化大学（兼任講師・マスコミ論）同大学院（兼任講師・情報文化論）
大東文化大学東洋研究所兼任研究員
- 社会貢献 情報知識学会編集委員
総合研究大学院大学学融合研究事業・戦略的共同研究・公開セミナー開催「観相（人相見）資料の学際的研究」（2月16日、於：国文学研究資料館）
財団法人無窮会幹事
情報規格調査会・情報処理学会 学会試行標準/WG 2文字図形識別情報 小委員会委員
東洋学・東アジア連絡協議会幹事
和漢比較文学会常任理事・特別研究例会委員長・文献目録委員委員長

氏 名 青 木 睦

職 名 准教授

専門分野 史料管理学

研究内容 史料保存に関する研究

研究実績 ②被災した組織アーカイブズの消滅と救助・復旧に関する検証：基礎自治体を事例に、国文学研究資料館紀要（アーカイブズ研究篇），2016年3月，青木 睦
記憶より記録：住民生活記録の保存と活用のために，千葉史学66号（頁1～4），2015年5月，青木 睦

③ [研究ノート] 被災した組織アーカイブズの消滅と救助・復旧に関する検証—基礎自治体を事例に一，国文学研究資料館紀要（アーカイブズ研究篇），2016年3月，青木 睦

- 教育活動 学習院大学非常勤講師
法政大学大学院文学研究科兼任講師（非常勤）
千葉大学非常勤講師
明星大学非常勤講師

氏 名 青 田 寿 美

職 名 研究部准教授

専門分野 日本文学

研究内容 日本近代文学、特に明治大正期の評論・小説の研究

研究実績 ②「研究資源としての「蔵書印データベース」『第21回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集』 2月27日、第21回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」編集・発行

③「近代文献調査が拓く新たな研究の可能性 附・忍頂寺務『潮来舟』紹介」

立命館大学・国文学研究資料館「明治大正文化研究プロジェクト」編『研究成果報告 近代文献調査研究論集』、国文学研究資料館、3月31日発行

「〈国文学研究資料館の収蔵品⑰〉 資料を集積し、情報を読み解く 一仮名垣魯文の啓蒙活動一斑一」『文部科学教育通信』363号 5月11日、ジアース教育新社

「〈国文学研究資料館の収蔵品⑱〉 書物を媒介とした知のネットワークへ ―「吉岡家蔵書目録」と吉岡敦直蔵書印―」

『文部科学教育通信』364号 5月25日、ジアース教育新社

④第21回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」, 国内会議, 2月, 研究資源としての「蔵書印データベース」

大学共同利用機関シンポジウム2015「研究者に会いに行こう! 大学共同利用機関博覧会」『とある人文系の蔵書印データベース -あなたの本は、誰の本-』

教育活動 総合研究大学院大学准教授

氏 名 入 口 敦 志

職 名 准教授

専門分野 近世文学

研究内容 近世前期の学芸に関する研究

研究実績 ①共編著 「浅井了意全集」 仮名草子編〈5〉やうきひ物語・伽婢子・狗張子, 岩田書院, 2015年9月, 浅井了意全集刊行会 編

②「古活字版の黎明―相反する二つの面」, アジア遊学, 2015年5月,

入口 敦志

「描かれた夢―吹き出し型の夢の誕生―」, 夢見る日本文化のパラダイム,

2015年5月, 入口 敦志

③「韓国古版画博物館名品展 : 中国版画を中心に」東方, 2015年12月,

入口 敦志

学問のいりぐち メディア転換期の古典籍, 雅俗, 2015年7月, 入口 敦志

展評 五次原州古版画文化祭, 韓国朝鮮の文化と社会, 2015年7月,

入口 敦志

『葛巻昌興日記』所引能楽記事稿(貞享二年分), 演劇研究, 2015年7月,

入口 敦志、他

④国際シンポジウム「韓日古版画学術大会」, 国際会議(韓国:古版画博物館),
2015年7月3日, 韓国版本の日本伝来—『三綱行実図』の和刻本と和訳本—

国際シンポジウム「日韓古版画学術大会」, 国際会議(韓国:国立民俗博物館),
2015年7月5日, 日本の世俗版画

国際ワークショップ「東アジアの絵入刊本」, 国際会議, 2015年10月, 全相
平話五種(国立公文書館蔵)の刊年を疑う

国際シンポジウム「2015 東方印迹—中韓日雕版印刷国際学術検討会」, 国際会
議(中国:北京大学), 2015年11月, 全相平話五種(国立公文書館蔵)の刊
年を疑う

第1回日本語の歴史的典籍国際研究集会プログラム, 国際会議, 2015年8月,
文化としての表記

国文学研究資料館通常展示「和書のさまざま」ギャラリートーク(平成27年
度第2回)

特別展示「韓国古版画博物館名品展」, 2015年11月

文部科学省(情報ひろば)での特別授業(新宿区立愛日小学校)

中野市文化財調査報告書第10集 山田庄左衛門家書籍資料目録 2016年3月

⑤基盤研究(B), 東アジア(日・中・韓)の絵入り刊本成立と展開に関する総合
研究

教育活動 成城大学非常勤講師

一橋大学非常勤講師

社会貢献 日本近世文学会常任委員

氏 名 海 野 圭 介

職 名 准教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世文学、和歌文学

研究実績 ②慶長前後における書物の書写と学問，鈴木健一編『形成される教養 十七世紀日本の〈知〉』（勉誠出版），2015年11月，海野 圭介

③国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」（99-136）影印・解題，調査研究報告，2016年3月，海野 圭介

短冊の愉しみ（小特集 書が語る日本文化），書物学，2015年11月，

海野 圭介

④The Place of Manuscripts in an Age of Mass Publication: The *Tales of Ise* Commentary *Ketsugisho* in Manuscript and in Print (Panel: "The Adoption of Antiquity: Print Culture and Edo Classicism"), Early Modern Japan Network Annual Meeting at AAS 2016, Sheraton Seattle, Seattle, USA, March 31, 2016, Keisuke Unno

The position of BYU' s *Waka dairin shō* in the history of Japanese poetic texts, Discovering the Japanese Collection at Brigham Young University, Symposium and Workshop, Brigham Young University, Utah, USA, March 25, 2016, Keisuke Unno

和歌的身体の想像:古今灌頂の説く胎生論の基底と展開, Imaging the World in Pre-modern Japan, University of California Los Angeles (UCLA), Los Angeles, USA, March 17, 2016, Keisuke Unno

平成 27 年度中世文学会春季大会シンポジウム「室町期の古典学」, 国内会議, 2015 年 5 月, 和歌注釈と室町の学問

平成 27 年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」(第 3 回)

⑤基盤研究(B), 金剛寺聖教・文書類を基盤とした社寺ネットワークの解明とその蔵書史的研究

挑戦的萌芽研究, 田安德川家旧蔵の入木道伝書の分析を起点とした社会知の生成と流通に関する研究

教育活動 総合研究大学院大学 准教授

立教大学大学院 非常勤講師

実践女子大学 非常勤講師

ノートルダム清心女子大学大学院 非常勤講師

社会貢献 和歌文学会 常任委員（編集委員会副委員長）

中世文学会 委員

日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員（平成 27 年 7 月迄）

氏 名 太 田 尚 宏

職 名 准教授

専門分野 日本近世史 歴史アーカイブズ

研究内容 近世地域政策の研究 江戸社会文化史研究 史料管理史研究

研究実績 ①近世大名のアーカイブズ資源研究 松代藩・真田家をめぐって，思文閣出版，
2016 年 3 月，国文学研究資料館編 第 2 章 家老職における執務記録の作成と
保存

③多摩地域の資料保存利用機関との連携に向けて，国文研ニュース 40 号，2015
年 7 月，太田 尚宏

〔書評〕『関東近世史研究論集 第 3 巻 幕政・藩政』，関東近世史研究 77 号、
2015 年 8 月

④科学研究費基盤研究(C)「近代地方公文書アーカイブズの構造・情報・関連性
に関する総合研究」（研究代表者：白井哲哉）公開研究発表会，国内会議，2016
年 1 月，幕末期における砂川村八番組の家々と組頭の役割

⑤基盤研究(C)，近世・近代移行期における森林政策アーカイブズの研究

教育活動 総合研究大学院大学准教授

駒澤大学非常勤講師

社会貢献 地方史研究協議会常任委員

関東近世史研究会評議員

日本アーカイブズ学会委員

日本歴史学協会史料保存利用特別委員会委員

氏 名 加 藤 聖 文

職 名 准教授

専門分野 日本近現代史・東アジア国際関係史・記録史料学

研究内容 近代以降の東アジアと日本との関係

- 研究実績 ①日ロ関係史：パラレル・ヒストリーの挑戦，東京大学出版会，2015年10月，五百旗頭真・下斗米伸夫・A.V.トルクノフ・D.V.ストレリツォフ，pp.314-332：ソ連の満洲進攻と日本人引揚
- 戦後日本のアジア外交，ミネルヴァ書房，2015年6月，宮城大蔵，pp.13-45：近代日本とアジア-大日本帝国の時代
- 歴史学が問う 公文書の管理と情報公開：特定秘密保護法下の課題，大月書店，2015年5月，安藤正人・久保亨・吉田裕，pp.184-215：日本の官僚制と文書管理制度
- 帝国支配の最前線：植民地（地域のなかの軍隊 7），吉川弘文館，2015年4月，坂本悠一，pp.112-150：独立守備隊と満鉄附属地，関東軍と満洲国
- 挑戦する満洲研究—地域・民族・時間，東方書店，2015年12月，加藤 聖文，pp.15-35：歴史としての満洲体験—記憶から記憶へ
- ②単著 満洲移民の歴史と個人情報への壁：開拓団実態調査表をめぐる問題（満洲特集），信濃 [第3次]，67巻11号（頁873～880），2015年11月，加藤 聖文
- ③単著「戦争と広告」-国民国家の宿命，本の旅人，22巻3号（頁66～67），2016年2月，加藤 聖文
- 個人情報保護法と歴史研究，日本歴史812号（頁99～101），2016年1月，加藤 聖文
- 公文書と私文書の境目は？，文部科学教育通信380号（頁2），2016年1月，加藤 聖文
- 公文書を管理することの難しさ—流転の愛知県庁文書，文部科学教育通信379号（頁2），2016年1月，加藤 聖文
- 座談会 日本史の論点・争点 『昭和天皇実録』を読み解く—戦前期の政治・軍事・帝国，吉川弘文館，日本歴史808号（頁2～23），2015年9月，加藤 聖文・有馬 学・一ノ瀬 俊也・加藤 陽子
- 台湾・朝鮮・満洲とどのようにかかわったのか？，洋泉社MOOK『別冊歴史 REAL 昭和天皇 「戦前の君主」と「戦後の象徴」2つの顔』（頁144～149），2015年9月，加藤 聖文
- アジ研図書館にアーカイブズを！，アジ研 ワールド・トレンド，21巻9号（頁55），2015年8月，加藤 聖文
- 流れる星は生きている，藤原てい『新版 流れる星は生きている』偕成社文庫

(頁 272～277) , 2015 年 8 月, 加藤 聖文

植民地経営は何のために行われたのか, ダイヤモンド MOOK『決断の本質 日本人の戦争と平和』(頁 44～47), 2015 年 8 月, 加藤 聖文

④「中日戦争衝撃下の亞洲」學術研討會(台湾中央研究院), 国際会議, 2015 年 12 月, 台北, 国共内戦下の戦後日中提携—支那派遣軍と国民政府

東北大学東北アジア研究センター創設 20 周年記念企画国際シンポジウム「東北アジア: 地域研究の新たなパラダイム」, 国際会議, 2015 年 12 月, 仙台, 満洲国から中国東北へ—「五族協和」と戦後日本

The International Committee for the History of the Second World War: International Congress of the Historical Sciences, jinan, 国際会議, 2015 年 8 月, Jinan, The Soviet Entry into the Pacific War and the Establishment of a New Order in Northeast Asia: Japanese Repatriation in International Politics

Comment “POWs in the Soviet Union: Comparison of Germans and Japanese “”, 国際会議, 2015 年 8 月, Makuhari, Chiba, Comment “POWs in the Soviet Union: Comparison of Germans and Japanese “”

⑤基盤研究(B), ソ連軍接收関東軍文書に関する日露共同研究

挑戦的萌芽研究, 第二次世界大戦期における中立国外交文書のアーカイブズ学的研究

科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究), 第二次世界大戦期における中立国外交文書のアーカイブズ学的研究

科学研究費補助金(基盤研究(B)), ソ連軍接收関東軍文書に関する日露共同研究

科学研究費補助金(基盤研究(A)), 国際コンソーシアムによる「原爆放射線被害デジタルアーカイブズ」の構築に関する研究

教育活動 学習院大学非常勤講師

中央大学文学部兼任講師(非常勤)

社会貢献 東アジア近代史学会 常任理事

NHK スペシャル「“終戦”知られざる 7 日間～“戦後”はこうして始まった」, 2015 年 8 月 16 日, インタビュー・取材協力

氏 名 小 山 順 子

職 名 准教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世韻文学の研究

研究実績 ②「室町時代の女性歌人たち」(『中世文学』60巻(頁83～96), 2015年6月)

『内裏女中月次続歌』考(『国文学研究資料館紀要(文学研究篇)』第42号, 頁1～28, 2016年3月)

『蒙求和歌』『百詠和歌』の表現－歌人としての源光行－(『京都大学國文學論叢』第35号, 頁1～22, 2016年3月)

③「後土御門天皇禁裏文芸と女性」, 『国文研ニュース』39号, 頁2～3, 2015年5月

「学界時評 和歌 2014. 7-2014. 12」, 『レポート笠間』No. 58, 頁32～34, 2015年5月

④平成27年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」(第4回)

⑤科学研究費補助金(若手研究(B))「戦国時代禁裏文芸の総合的研究」(研究代表者), 研究期間: 2015年4月～2018年3月

科学研究費補助金(基盤研究(C))『蒙求和歌』に見る漢文学と和文学の融合」(研究分担者), 研究期間: 2013年4月～2016年3月

教育活動 総合研究大学院大学准教授

駒澤大学文学部非常勤講師

社会貢献 和歌文学会委員

氏 名 西 村 慎太郎

職 名 准教授

専門分野 歴史学(日本近世史)・歴史資料保全学

研究内容 近世天皇・身分・家職、民間所在資料の保全

研究実績 ①近世大名のアーカイブズ資源研究－松代藩・真田家をめぐって－, 思文閣出版, 2016年3月, 西村慎太郎, 糸会所の記録作成・授受・管理と機能－記録管理システムと専売制－

第2回全国史料ネット研究交流集会予稿集, 文化庁「平成27年度美術館・歴

史博物館重点分野推進支援事業」, 2016年3月, 西村慎太郎, NPO 法人歴史資料継承機構じゃんぴんのミッションと東日本大震災

- ②民間所在資料の課題と情報化, 人間文化研究情報資源共有化研究会報告集6号, 2016年3月, 西村慎太郎

災害による朝廷儀式の消失と高御座の再生 —天明の大火後の即位礼を事例に—, 国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇12号, 2016年3月, 西村慎太郎

近世・近代伊豆の石材生産と流通, 南伊豆を知ろう会2号, 2015年11月, 西村慎太郎

- ③歴史資料は、いまこの瞬間にも失われている, 学習院大学史学会, 史学会会報170号, 2016年3月, 西村慎太郎

東日本大震災で被災した医学書と近世在村医 —福島県双葉町泉田家文書の世界—, 国文研42号, 2016年1月, 西村慎太郎

[解説] 埼玉県加須市加藤家文書所在確認調査について, NPO 法人歴史資料継承機構 NEWSLETTER じゃんぴん 20号, 2015年12月, 西村慎太郎

[解説] 千葉県野田市小林家文書所在確認調査について, NPO 法人歴史資料継承機構 NEWSLETTER じゃんぴん 20号, 2015年12月, 武子裕美・西村慎太郎

[書評] 「神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編『「地域歴史遺産」の可能性』, 新しい歴史学のために287号, 2015年10月, 西村慎太郎

[書評] 岸泰子著『近世の禁裏と都市空間』, 日本史研究636号(頁61~69) 2015年8月, 西村慎太郎

[解説] 杉並区蒲生家文書における概要調査について, NPO 法人歴史資料継承機構 NEWS LETTER じゃんぴん 18号, 2015年2月, 西村慎太郎

近代茨城のジャーナリスト・長久保紅堂の「発見」 —連携研究「大震災後における文書資料の保全と活用に関する研究」と茨城史料ネット—, 国文研ニューズ41号, 2015年10月, 西村慎太郎

[解説] 第五次塩山市石川重人家文書調査報告, 甲州史料調査会桃太郎42号 2015年8月, 西村慎太郎

[解説] 第八次笛吹市鈴木不二弥家文書調査報告, 甲州史料調査会桃太郎42号, 2015年8月, 西村慎太郎

[史料紹介] ある公家の姫君の一生, 文部科学教育通信360号, 2015年3月, 西村慎太郎

[史料紹介] 甲州青柳村七兵衛の一生, 文部科学教育通信 359号, 2015年3月, 西村慎太郎

④第2回全国史料ネット研究交流集会, 国内会議, 2016年3月, NPO 法人歴史資料継承機構のミッションと東日本大震災

第4回南アルプス市「ふるさと〇〇博物館」勉強会, 国内会議, 2016年3月, 民間歴史資料の現状とその保存・活用 -南アルプス市の古文書の世界-

平成27年度文書等保存利用機関・団体等職員研修会, 国内会議, 2015年11月, 民間資料の把握・保存・利用 -その意義と実践

国文研フォーラム, 国内会議, 2015年9月, 東日本大震災で被災した医学書と在村医 -福島県双葉町泉田家文書の世界-

茨城史料ネット「石岡一色家文書の世界」報告会, 国内会議, 2015年6月, 石岡一色家文書の世界 -茨城史料ネットレスキュー活動の紹介-

高山彦九郎記念館講演会, 国内会議, 2015年5月, 江戸時代の天皇と公家, 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等

教育活動 総合研究大学院大学准教授

学習院大学非常勤講師 (日本史特殊講義・日本史特殊研究 (大学院))

社会貢献 東京歴史科学協議会委員

NPO 法人歴史資料継承機構代表理事

青梅法人会西部支部幹事

甲州史料調査会事務局

杉並区永福古文書クラブ講師

氏名 野本忠司

職名 准教授

専門分野 情報科学、言語工学

研究内容 国文学研究における情報利用の高度化に関する研究

研究実績 NEAL: A Neurally Enhanced Approach to Linking Citation to Reference.

In Proceedings of Joint Workshop on Bibliometric-enhanced IR and NLP for Digital Libraries (BIRNDL), Joint Conference on Digital Libraries, Newark, NJ, 2016.

MediaMeter: A Global Monitor for Online News Coverage. In Proceedings of the First ACL Workshop on Computing News Storylines, Association for Computational Linguistics, 2015.

リーダビリティ研究の100年 情報基礎とアクセス技術研究会 研究報告, 情報処理学会, 2016.

ニューラルネットによる再ランキングを利用した文書トピックの導出. 第17回言語処理学会年次大会. 2016.

メモリ駆動型トピック導出にむけて. 情報基礎とアクセス技術研究会 研究報告, 情報処理学会, 2015.

Going Amphibian: A Two-Pronged Approach to Finding What the News is About. Microsoft Research - Korea/Japan Academic Day, Tokyo, 2016.

キーワード抽出技術における最近の動向. 宇津呂・神門研合同軽井沢セミナー. 2016.

Auto-Generating News Summary across Time. Microsoft Research- Korea/Japan Academic Day, Seoul, Korea, 2015.

社会貢献 言語処理学会代議員
情報処理学会代表会員
情報処理学会 論文誌 (データベース) 共同編集委員長
情報処理学会 情報基礎とアクセス技術研究会 幹事
情報処理学会 トランザクション編集委員会 委員
電子情報通信学会 言語と思考研究会 顧問

氏 名 山 田 哲 好

職 名 准教授

専門分野 アーカイブズ学

研究内容 近世史料学、記録資料の電子化に関する研究

研究実績 ①『特別講義 第30号 最後の文書整理と目録編成-佐渡国加茂郡原黒村(現・佐渡市)鶴飼家文書-』(3月31日発行、総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学専攻)
④「最後の文書整理と目録編成-佐渡国加茂郡原黒村(現・佐渡市)鶴飼家文書-」

(2014年度第2回特別講義、1月7日、総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学専攻)

社会貢献 中央大学文学部兼任講師 (非常勤)

氏 名 江戸 英雄

職 名 助教

専門分野 国文学

研究内容 中古文学、特に物語文学の研究

研究実績 ③国文学研究資料館の収蔵品(15) 『源氏物語』の枕詞といえば一『源氏物語玉の小櫛』初雁文庫本, 文部科学教育通信 361号, 頁2, 2015年4月,
江戸 英雄

国文学研究資料館の収蔵品(16) 門出の贈り物一『伊勢物語』の一伝本, 文部科学教育通信 362号, 頁2, 2015年4月, 江戸 英雄

氏 名 クリストファー リーズ

職 名 助教

専門分野 日本文学

研究内容 和漢比較文学、平安朝漢詩文史、江戸時代の類書と博物学・本草学

研究実績 ③翻訳: 中央大学グローバル人材育成推進事業内の「専門科目を外国語で教えるための教材開発プロジェクト」にて、日本古典文学を英語で教えるための教材(富士山に関係する古典作品の原文・解説)の翻訳(教材は2016年末出版予定)

翻訳: 地獄大夫及び歌川国芳関係の論文を翻訳し、江戸時代の文学(崩し字)を翻字し英訳した(ミーチ氏の論文は“Kuniyoshi and the Hell Courtesan”と題しウエバー・コレクション(John C. Weber Collection)の所蔵品カタログ *Seduction: Japan's Floating World* (San Francisco: Asian Art Museum, 2015), pp. 45-93 所収)

翻訳: カリフォルニア州の Asian Art Museum の依頼を受け、吉原遊廓関係の資料(崩し字)を翻字・英訳し詳しい解説を施した(ウエバー・コレクション(John C. Weber Collection)の所蔵品カタログ *Seduction: Japan's Floating World* (San Francisco: Asian Art Museum, 2015), pp. 192-218 所収)

書評：Stanley-Baker, Richard, et al. *Reading the Tale of Genji: Its Picture-Scrolls, Texts and Romance* (Brill/Global Oriental, 2009) の書評を書いた (美術雑誌 *Impressions* (The Journal of the Japanese Art Society of America) 36 (2015), 260-278 所収)

翻訳・研究：Routledge *Handbook of Premodern Japanese History* のために坂上康俊教授の論文「律令国家」を英訳し英米における律令国家関係の研究概要を付け加えた (Routledge, 2016 年末出版予定)

翻訳：滋賀県の Miho Museum の依頼を受け、ミーチ氏の論文 (②) を日本語に訳した (Miho Museum, 2015.10 頃出版)

氏 名 恋 田 知 子

職 名 助教

専門分野 日本文学

研究内容 室町期を中心とした物語・説話・芸能、および寺院資料の研究

研究実績 ② 「尼と物語草子」, 『國語と國文學』92—5, 2015 年 5 月

「物語草子と尼僧—もう一つの熊野の物語をめぐって—」, 国文学研究資料館編『アジア遊学 195 もう一つの日本文学史』勉誠出版, 2016 年 3 月

③ 「幻の骸骨絵巻を求めて」, 「東京新聞」「中日新聞」夕刊文化面, 2015 年 6 月 15 日

「室町の信仰と物語草子—骸骨の物語絵をめぐって」『国文研ニュース』40, 2015 年 8 月

「学界動向—領域融合と国際化をめぐって」, 『文学・語学』213 号, 2015 年 8 月
「「卵生」と「授乳」の説話—千字文説草「般遮羅王五百卵事」をめぐって」, 神奈川県立金沢文庫特別展図録『仏教説話の世界』, 2015 年 10 月

④ 金沢文庫連続講座「仏教説話の世界」第 1 回「女性をめぐる唱導—「卵生」と「授乳」の説話から」2015 年 10 月 3 日, 於 金沢文庫

平成 27 年度国文学研究資料館連続講座「くずし字で読む『百人一首』」第 8 回, 2015 年 12 月 24 日

⑤ 基盤研究(C)「尼寺の文芸文化と物語草子・仮名法語における相互関連の研究」(代表者)

教育活動 学習院女子大学非常勤講師

学習院大学非常勤講師

氏 名 野 網 摩利子

職 名 助教

専門分野 日本近代文学

研究内容 夏目漱石研究、文学理論、日本近代における東西の文化・思想の受容

研究実績 ①電子書籍（学術書）『夏目漱石の時間の創出』、東京大学附属図書館、2015年6月

電子書籍『詳註 三四郎』 東京大学附属図書館、2015年6月

②「日中の古文辞学と漱石」『国文研ニュース』39号、2015年5月

③「生巧館木口木版—銅版かと思紛う作品群—」『文部科学 教育通信』365号、2015年6月

「一新された明治の表紙—木口木版とその時代—」『文部科学 教育通信』366号、2015年6月

「呼びかけられる声の時間」『もう一つの日本文学史』勉誠出版、2016年3月
書評「柴田勝二著『夏目漱石「われ」の行方』」『日本文学』64号、2015年11月

項目執筆『新明解類語辞典』三省堂、2015年8月

④「能と漱石—『草枕』から」ディスカッサント、第8回学際日本駒場フォーラム（於 東京大学）、2015年4月

招待講演「古譚と『草枕』」大東文化大学大学院特別講義（於 大東文化大学）、2016年3月

⑤基盤研究(C)「夏目漱石によるイギリス受容—小説理論の構築の一環として」

教育活動 総合研究大学院大学助教

ケンブリッジ大学 (Faculty of Asian and Middle Eastern Studies, University of Cambridge)、訪問学者(Academic Visitor)

東京女子大学現代教養学部人文学科日本文学専攻非常勤講師

東京工業大学文系科目非常勤講師

氏 名 湯 上 良

職 名 特任助教

専門分野 西洋近世・近現代史、アーカイブズ学

研究内容 近世・近代ヴェネツィアや近現代イタリアにおける社会構造の研究

研究実績 ①「ヴェネツィア共和国とテッラフェルマ」『ヴェネツィアとテリトリーオー水の都を支える3つの川』鹿島出版会，2016年3月，28-41頁

[翻訳]「水のなかで水に事欠くヴェネツィア—14世紀から18世紀の飲料水、水力、河川管理」『水都学IV』法政大学出版局，2015年6月，103-114頁 (ISBN978-4-588-78024-0) (原題: Mauro Pitteri, 《Venezia è in acqua ma senz'acqua》. *Acqua potabile, energia idrica e controllo dei fiumi (secoli XIV-XVIII)*)

② [翻訳]「マレガ神父収集文書の整理と保存—バチカン図書館と日本による共同調査と交流—」『国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇』第12号(通巻第47号)，国文学研究資料館、2016年3月，171-180頁(原題: Ángela Núñez Gaitán, *Management e lavoro di conservazione sui documenti giapponesi nella collezione di Marega: JOINT SURVEYS e scambi tecnologici con le istituzioni giapponesi*)

③「守りつつ、攻める—イタリアで垣間見る歴史とアーカイブズ」『記録と史料』第26号、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会，2016年3月，45-47頁

④ [研究発表]「日本とイタリアのアーカイブズ行政」中京大学社会科学研究所主催 学術講演会『イタリアのアーカイブズと文書保護局』2015年12月11日，於：中京大学アネックスホール

[講演通訳]「トスカーナにおける洪水。アウッラ市立文書館とアウッラ公証人文書館で被災した文書群の回復と修復」(ディアーナ・マルタ・トッカフォンディ、トスカーナ文書保護局長) 国文学研究資料館 研究会『日伊アーカイブズ研究 被災アーカイブズの日伊比較』2015年12月9日，於：国文学研究資料館

[講演通訳]「イタリアのアーカイブズと文書保護局」(ディアーナ・マルタ・トッカフォンディ、トスカーナ文書保護局長) 中京大学社会科学研究所主催学術講演会『イタリアのアーカイブズと文書保護局』2015年12月11日，於：中京大学アネックスホール

[講演通訳]「ヴェネツィアの水と食。ラグーナと都市のさまざまな歴史」(ルドヴィーカ・ガレアッツォ、ヴェネツィア建築大学) 都市史学会大会『国際シンポジウム「水都学」の方法を探る』2015年12月13日，於：法政大学市谷田町校舎

- ⑤ [海外調査] 日本国内閣府「国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する調査－海外文書館事情調査」2016年2月21日～25日，於：イタリア共和国文化財・文化活動・観光省アーカイブズ総局，国立中央文書館，アーカイブ中央機構，国立トスカーナ文書保護局

社会貢献 ヴェネツィア史 大学間共同センター編集委員職

氏 名 丸 島 和 洋

職 名 特任助教

専門分野 日本中近世史、古文書学、アーカイブズ学、記録史料データベース構築論

研究内容 中近世移行期大名権力論

- 研究実績 ①編著『【論集戦国大名と国衆 14】真田氏一門と家臣』，岩田書院，4月
- ②「総論 真田氏家臣団の基礎研究」，丸島和洋編『【論集戦国大名と国衆 14】真田氏一門と家臣』，岩田書院，4月
- 「戦国大名武田氏の西上野支配と箕輪城代一内藤昌月宛「在城定書」の検討を中心に一」，『地方史研究』369号，6月
- 「戦国大名武田氏の佐久郡支配一内山城代小山田虎満・昌成を中心に一」，『信濃』66巻12号，12月
- ③「史料紹介 『下河田検地帳』二点（下）一真田信幸の沼田領文禄検地一」，『信濃』66巻4号，4月
- 共著「新出の武田信繁宛信玄自筆書状について」，『武田氏研究』50号，6月
- 『戦国遺文武田氏編』補遺（その2）」
- 「高野山子院と東国大名」，『高野文化圏研究会報告書』2014年度，3月
- 「北条・徳川間外交の意思伝達構造」，『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』11号，3月
- ④「「軍師」黒田官兵衛の実像」，栄区テレビセミナー講演，4月16日
- 「小山田信茂の虚像と実像」，都留市郷土研究会講演，5月18日
- 「日本の歴史の学び方～日本中世史研究の最前線～」，吉祥女子中学校講演，6月28日
- 「高野山子院と東国大名」，高野文化圏研究会シンポジウム「高野山を支えた人々一石塔を建立した戦国大名一」，於高野山大学，9月4日

「武田氏から見た今川氏の外交」, 静岡県地域史研究会シンポジウム「今川氏研究の最前線 part 3」, 於静岡商工会議所会館, 9月23日

「高野山子院の東国への教線拡大と檀那場争い」, 国文研フォーラム, 於国文学研究資料館オリエンテーション室, 1月21日)

⑤科学研究費補助金 若手研究(B)「古代～近世初期筆写史料の情報資源化の研究—小杉楹邨『徴古雑抄』を対象として—」(研究代表者)

社会貢献 日本古文書学会編集委員幹事
戦国史研究会事務局長
武田氏研究会編集委員

氏名 大野 順子

職名 機関研究員

専門分野 国文学

研究内容 中世前期和歌の表現形成と展開について

研究実績 ④『拾遺愚草』無常の部について, 和歌文学会例会, 1月

教育活動 都留文科大学兼任講師

明治大学兼任講師

早稲田大学非常勤講師

氏名 谷川 ゆき

職名 機関研究員

専門分野 日本美術史

研究内容 中世絵画

研究実績 ③英文和訳:シルヴァン・バーネット「アメリカ人の思うこと、日本仏教美術」

(Sylvan Barnet, “American thoughts, Japanese Buddhist Art”),

『仏教美術のよろこび』、ロンドンギャラリー株式会社, 11月

教育活動 京都造形芸術大学非常勤講師

明治学院大学非常勤講師

早稲田大学非常勤講師

氏 名 種 村 威 史

職 名 機関研究員

専門分野 日本近世史、アーカイブズ学

研究内容 近世政治史、幕府・藩の記録管理

研究実績 ①『調布市指定有形文化財（歴史史料）野口平一家資料目録』（調布市教育委員会郷土博物館編・発行）

③「近世人の文書に対する認識と身分制」、『書物学』No.2，勉誠出版，4月

④春日部市歴史文化講演会「朱印状から見る徳川将軍と寺社」，2月22日，春日部市教育センター

教育活動 國學院大学兼任講師

社会貢献 株式会社NHK文化センターさいたまアリーナ支社 講師

調布市文化財保護審議委員（臨時）

小金井市史編さん委員会調査員

氏 名 野 呂 香

職 名 機関研究員

専門分野 国文学

研究内容 古代和歌研究

氏 名 高 科 真 紀

職 名 機関研究員

専門分野 文化財保存科学・博物館資料保存論

研究内容 資料保存・展示環境に関する研究

研究実績 ②「和書の展示技法と保存環境制御の実践ー「和書のさまざま」展を素材としてー」国文学研究資料館紀要 文学研究篇 第41号, pp111-134

④青木睦、高科真紀、加藤歩樹「展示室における保存環境モニタリング解析」，文化財保存修復学会第36回大会

⑤科学研究費補助金 若手研究(B)「LEDによる紙資料展示照明の管理に関する検証研究」

氏 名 山 本 和 明

職 名 古典籍共同研究事業センター特任教授

専門分野 近世・近代文学

研究内容 19世紀文学の研究

研究実績 ②『邦光社黎明期に関する基礎的研究 ——附・邦光社歌会記——』, 国文学研究資料館紀要 (文学研究篇), 2016年3月, 山本 和明

③「国文学研究資料館・日本語の歴史的典籍のデータベース構築について」, 情報の科学と技術, 65巻 4号, 頁169~175, 2015年4月, 増井 ゆう子,
山本 和明

⑤基盤研究(C), 古典籍をめぐる幕末明治期における人的交流に関する基礎的研究

社会貢献 日本近世文学会委員

日本文学協会委員

氏 名 北 村 啓 子

職 名 古典籍共同研究事業センター准教授

専門分野 情報システム学・ソフトウェア工学

研究内容 古資料を対象にした研究情報DB、特に画像DBの構築からサービスまでのシステムの研究。デジタル展示、およびユビキタスユーザ環境におけるインターフェースと開発技術の研究。デジタルライブラリシステムの開発技術・利用技術の研究。

研究実績 ③デジタル展示作品

中世の文学 『浦島太郎』、近世の文学 『金々先生栄花夢』・『雨月物語』(通常展示「書物で見る日本古典文学史」)

『生巧館木口木版整理済み』『生巧館木口木版カテゴリー分け』(展示特設コーナー「生巧館木口木版作品群」)

東京博物館所蔵 『近世職人尽絵詞』3巻(展示特設コーナー「職人」のいる文芸—中世から近世へ—)

⑤基盤研究(C), 拡張現実技術を利用しデジタル展示と展示原本とを連続的に融合するための基礎技術開発

社会貢献 電子図書館プロジェクトの技術支援

氏 名 金 田 房 子

職 名 古典籍共同研究事業センター特任准教授

専門分野 日本近世文学

研究内容 芭蕉作品の解釈・地方俳諧宗匠の活動・在外俳諧資料

研究実績 ①共編：『新芭蕉俳句大成』（10月12日発行、明治書院）編集委員・項目執筆

共著：鈴木健一編『天空の文学史 太陽・月・星』（10月20日発行、三弥井書店）「あらたうと青葉若葉の日の光」 pp238-256

共著：人間文化研究機構国文学研究資料館編『シーボルト日本書籍コレクション現存書目録と研究』（12月25日発行、勉誠出版）「シーボルトの持ち帰った俳書—『八重山吹』の入手経路と安永三年刊『俳諧七部集』」 pp522-535

②「「葉越し」考—芭蕉句における用例について—」、『俳文学報』48号（11月4日発行、大阪俳文学研究会） pp9-18

③「平成24年 国語国文学会の動向 近世韻文・国学」、『文学・語学』第210号（8月31日発行、全国大学国語国文学会） pp66-69

「〈書評〉加藤定彦『関東俳壇史叢稿—庶民文芸のネットワーク』」、『国文学研究』第175集（3月15日発行、早稲田大学国文学会） pp49-52

⑤科学研究費補助金 基盤研究(B)「韓国国立中央図書館所蔵日本古典籍日韓共同研究」（連携研究者）

社会貢献 俳文学会委員

氏 名 岩 橋 清 美

職 名 特任准教授

専門分野 日本近世史

研究内容 近世後期における地域文化

研究実績 ①『シリーズ書物の文化史3 書籍文化とその基底』（若尾政希編、平凡社、2015年10月、pp356）（執筆担当部分）岩橋清美「歴史叙述と読書」 pp237-264

②「近世日光をめぐる歴史意識—『日光山志』・『日光巡拝図誌』を中心として—」、『国文学研究資料館紀要』第42号文学研究篇、2016年3月、pp61-90
「1920年代の多摩地域における郷土史運動—武蔵野会を中心として—」、『法

政大学『多摩論叢』第32号, 2016年3月, pp53~70

③「オーロラと人間社会の過去・現在・未来—古典籍・古文書が伝える江戸時代のオーロラ」, 『日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画ニューズレター ふみ』第5号, 2016年1月

④「近世後期における救済と言説」, 国史学会シンポジウム「近世後期の言説と身体—言語論的転回のために—」, 2015年10月24日, 國學院大學

「近世後期における村運営と和算」, 第2回国際和算会議, 2015年11月7日, 国文学研究資料館

IWASHI kiyomi, YAMAMOTO kazuaki, ISOBE hiroaki, TERASHIMA tuneyo, TAMAZAWA harufumi, KATAOKA ryuho 「SEKKI -phenomena on September 17, 1770」 (The sixth Symposium on Polar Science, Monday 16 November 2015, The National Institute of Polar Research, Tokyo)

玉澤春史、早川尚志、岩橋清美 「近世伏見の観望記録から見る宇宙観の交差」, 第5回天文学史研究会, 2016年3月26日, 国立天文台

⑤基盤研究(B)、近世前期国学のネットワーク形成と文化・社会の展開に関する学際的研究(研究分担者)

社会貢献 地方史研究協議会

国史学会

日本史研究会

日本アーカイブズ学会

氏名 井黒佳穂子

職名 古典共同研究事業センター 特任助教

専門分野 日本文学

研究内容 中世から近世初期にかけての絵巻・絵入り本に関する研究

研究実績 ②『袋法師絵巻』伝本の変遷について, 浮世絵芸術, 2016年1月,

井黒 佳穂子

社会貢献 国際浮世絵学会

日本近世文学学会

中世文学学会

話説文学学会

氏 名 松 田 訓 典

職 名 古典共同研究事業センター 特任助教

専門分野 中国哲学・印度哲学・仏教学

研究内容 人文学におけるコンピューター利用に関する研究

研究実績 ④「Mahāyānasūtrālaṃkāra の構成に対する注釈態度—Blo ldan shes rab と Sthiramati」仏教思想学会第 31 回学術大会, 2015 年 7 月, 筑波大学

社会貢献 情報処理学会

Japanese Association for Digital Humanities

仏教思想学会

日本印度学仏教学会

VI 科学研究費助成事業実施一覧

[単位：円]

研究種目	研究代表者	研究課題名	研究経費
基盤研究（A）	今西 祐一郎	日本古典籍における表記情報学の発展的研究	9,000,000
	相田 満	和漢古典学のオントロジモデルの高次・具現化	4,420,000
	伊藤 鉄也	海外における源氏物語を中心とした平安文学及び各国語翻訳に関する総合的調査研究	5,200,000
基盤研究（B）	入口 敦志	東アジア（日・中・韓）の絵入り刊本成立と展開に関する総合研究	3,100,000
	古瀬 蔵	多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究	2,300,000
	加藤 聖文	ソ連軍接收関東軍文書に関する日露共同研究	4,100,000
	海野 圭介	金剛寺聖教・文書類を基盤とした社寺ネットワークの解明とその蔵書史的研究	3,900,000
	山下 則子	在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究	2,400,000
基盤研究（C）	藤島 綾	本文と絵画を通じて形成された伊勢物語場面理解の研究	600,000
	海野 圭介	黒川家旧蔵資料の書誌的調査に基づく古典学の形成と知識流通に関する調査研究	事業期間延長
	恋田 知子	尼寺の文芸文化と物語草子・仮名法語における相互連関の研究	1,100,000
	武井 協三	17世紀歌舞伎の演技・演出—文献資料・絵画資料・民俗資料による総合研究—	480,000
	北村 啓子	拡張現実技術を利用してデジタル展示と展示原本とを連続的に融合するための基礎技術開発	1,000,000
	陳 捷	『古逸叢書』の編纂・出版およびそのテキストの研究	1,400,000
	石澤 一志	中近世期における九条家蔵書の形成と流伝に関する研究	1,000,000
	田中 大士	万葉集仙覚校訂本作成過程の解明に関わる万葉集諸伝本の包括的研究	1,100,000
	小林 健二	『舞の本絵巻』を中心とした幸若舞曲の絵入り本の調査研究	900,000
	齋藤 真麻理	中・近世日本における中国明代日用類書の変成—異類・異界表現を中心に—	1,000,000
	野網 摩利子	夏目漱石によるイギリス受容—小説理論の構築の一環として	100,000
	神作 研一	近世歌合の総合的調査・研究	1,100,000
	山本 和明	古典籍をめぐる幕末明治期における人的交流に関する基礎的研究	1,000,000
	太田 尚宏	近世・近代移行期における森林政策アーカイブズの研究	1,300,000
	挑戦的萌芽研究	加藤 聖文	第二次世界大戦期における中立国外交文書のアーカイブズ学的研究
相田 満		観相資料の学際的研究—マンガも視野に入れた古籍観相資料の分析と応用—	1,100,000
海野 圭介		田安德川家旧蔵の入木道伝書の分析を起点とした社会知の生成と流通に関する研究	1,200,000
伊藤 鉄也		視覚障害者と共に古写本の仮名文字を読み日本古典文化を共有するための挑戦的調査研究	1,200,000
若手研究（B）	丸島 和洋	古代～近世初期筆写史料の情報資源化の研究—小杉榎郎『徴古雑抄』を対象として—	1,200,000
	高科 真紀	LEDによる紙資料展示照明の管理に関する検証研究	900,000
	小山 順子	戦国時代禁裏文芸の総合的研究	500,000
特定研究員奨励費	野上 潤一	中世末期・近世初期学問史の基礎的研究—中世後期学問史研究の基盤構築のために—	800,000
	野村 亞住	李吟門連句の研究	700,000
国際牽動研究加速	野網 摩利子	夏目漱石によるイギリス受容—小説理論の構築の一環として（国際共同研究強化）	10,300
学術図書	相田 満	時空間とオントロジで見る和漢古典学	1,000,000
	大野 順子	新古今前夜の和歌表現研究	2,000,000
研究成果データベース	大高 洋司	日本古典籍総合目録	2,000,000
	伊藤 鉄也	日本文学研究論文の総合目録データベース（大正・昭和・平成）	3,100,000
	山本 和明	所蔵機関との連携による日本古典籍データベース	5,200,000

VII 刊行物一覧

No	刊行物名	出版社
1	調査研究報告 第36号	—
2	国文学研究資料館平成26年度年報	—
3	国文学研究資料館紀要 文学研究篇 第42号	—
4	国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇 第12号(通巻47号)	—
5	国文研ニュース No. 39~No. 42	—
6	ふみ(古典籍共同研究事業センターニュース) 第4号~第5号	—
7	国際日本文学研究集会会議録 第38回	—
8	史料目録 第102集、第103集	—
9	〈曾我物語〉の絵画化と文化環境—物語絵・出版・地域社会を手がかりにして—	—
10	近代文献調査研究論集	—
11	近世大名のアーカイブズ資源研究—松代藩・真田家をめぐって	思文閣出版
12	Memory, History, and Autobiography in Early Modern Towns in East and West	Cambridge Scholars Publishing
13	記憶と自己語りの比較都市史	勉誠出版
14	もう一つの日本文学史	勉誠出版

VIII 外国人教員・外来研究員

1 外国人研究員

平成27年度は受入実績なし

2 外来研究員

氏名：邱春泉

期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

国籍：中華人民共和国

所属等：北京外国語大学日本学研究センター・学生

研究課題：中世女性日記文学研究

氏名：商海鋒

期間：平成27年4月5日～平成27年6月5日

国籍：中華人民共和国

所属等：中央研究院中國文哲研究所・博士後

研究課題：日本五山僧群による唐宋詩禪經典解釈の伝統

氏名：鄭雅尹

期間：平成27年5月6日～平成27年6月26日

国籍：中華人民共和国

所属等：中央研究院中國文哲研究所・博士培育生

研究課題：清末留日学生の漢詩活動及び明治漢詩壇との交流—明治期の漢詩文雑誌を考察対象にして

氏名：韓凌燕

期間：平成27年3月22日～平成27年9月22日

国籍：中華人民共和国

所属等：揚州大学・講師

研究課題：『蜻蛉日記』についての研究

IX 海外出張・研修一覧

番号	所属	氏名	目的国	本邦出国日	本邦帰国日	目的	用務先
1	館長	今西 祐一郎	アメリカ	H27.5.3	H27.5.11	日本古典籍（くずし字）講習会講師及び事前事後打合せ、図書館視察	カルフォルニア大学バークレー校・図書館
2	研究部准教授	野本 忠司	韓国	H27.5.6	H27.5.8	マイクロソフトCOREレビューミーティング出席	マイクロソフトコリア ソウル本社
3	研究部教授	陳 捷	中国	H27.5.8	H27.5.17	資料調査及び研究打合せ	北京大学中国古文献研究センター・図書館
4	研究部教授	渡辺 浩一	イギリス	H27.6.15	H27.6.21	総合地球環境研究所研究プロジェクト関連史料調査及び人間文化研究機構広領域連携型基幹研究打合せ	イギリス国立公文書館、ロンドン大学歴史学研究所
5	研究部教授	陳 捷	中国	H27.6.16	H27.6.25	資料調査	泉州博物館、泉州海外交通博物館、泉州文廟、福州図書館、福州大学図書館、福州師範大学図書館、福州市博物館
6	研究部准教授	相田 満	台湾	H27.6.28	H27.7.4	講演、資料調査、研究打合せ	輔仁大学、国立歴史博物館、台湾大学、国立故宫博物院、重慶南路書店街
7	研究部准教授	入口 敦志	韓国	H27.7.4	H27.7.7	調査、韓日古版画学術大会及び韓日古版画学術大会参加（研究発表）	景福宮他、古版画博物館、韓国国立民俗博物館、ミュージアムSAN
8	研究部准教授	野本 忠司	イギリス	H27.7.19	H27.7.26	Generation Summer School参加	アバディーン大学
9	研究部准教授	野本 忠司	中国	H27.7.29	H27.8.1	ACL Workshop on computing News Storylines参加（研究発表）	China National Convention Center
10	研究部教授	陳 捷	中国	H27.8.10	H27.8.25	資料調査、研究打合せ	中国国家図書館
11	研究部准教授	海野 圭介	ベトナム	H27.8.23	H27.8.27	所蔵図書調査	ベトナム社会科学院社会科学情報院
12	研究部准教授	相田 満	中国	H27.8.28	H27.9.3	学会参加及び発表、研究情報交換、学術調査	西北大学賓館、臨潼陝西省療養院、兵馬俑、驪山、華清池等、碑林博物館
13	研究部准教授	海野 圭介	アメリカ	H27.8.30	H27.9.7	Wahon Literacies(ワークショップ)参加及び講義	カリフォルニア大学ロサンゼルス校、カリフォルニア大学サンタバーバラ校
14	研究部研究主幹	大友 一雄	バチカン市国、イタリア	H27.9.6	H27.9.14	マレガ収集文書概要調査、シンポジウム運営	バチカン図書館、サレジオ大学、教皇庁神学アカデミー
15	研究部教授	神作 研一	アメリカ	H27.9.6	H27.9.17	日本古典籍文献調査、研究打合せ	カリフォルニア大学バークレー校図書館、ホノルル美術館
16	研究部准教授	太田 尚宏	バチカン市国、イタリア	H27.9.6	H27.9.21	マレガ収集文書概要調査、シンポジウム運営	バチカン図書館、教皇庁神学アカデミー
17	研究部准教授	入口 敦志	アメリカ	H27.9.7	H27.9.14	日本古典籍文献調査、研究打合せ	カリフォルニア大学バークレー校図書館
18	館長	今西 祐一郎	バチカン市国、イタリア	H27.9.9	H27.9.14	マレガ収集文書概要調査視察、シンポジウム参加	バチカン図書館、教皇庁神学アカデミー
19	研究部教授	渡辺 浩一	バチカン市国	H27.9.13	H27.9.20	マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館
20	研究部准教授	青木 睦	バチカン市国	H27.9.13	H27.9.20	マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館
21	研究部准教授	加藤 聖文	台湾	H27.9.13	H27.9.16	国際シンポジウム出席及び報告	中央研究院近代史研究所
22	研究部研究主幹	小林 健二	フランス	H27.9.30	H27.10.12	研究打合せ、国際研究集会参加、交流会参加、フォーラム参加、資料調査、ワークショップ参加	ストラスブール大学外国語外国文化学部、天理日仏文化協会、フランス国立図書館、フランス言語文化研究学院
23	研究部准教授	野本 忠司	中国	H27.11.2	H27.11.5	研究打合せ	マイクロソフト・リサーチ・アジア
24	研究部研究主幹	小林 健二	ドイツ	H27.11.4	H27.11.10	調査、打合せ、ワークショップ聴講	ベルリン国立博物館、ベルリン自由大学
25	研究部教授	齋藤 真麻理	ドイツ	H27.11.4	H27.11.10	調査、打合せ、ワークショップ聴講	ベルリン国立博物館、ベルリン自由大学
26	研究部助教	恋田 知子	ドイツ	H27.11.4	H27.11.10	調査、打合せ、ワークショップ聴講	ベルリン国立博物館、ベルリン自由大学
27	古典籍共同研究事業センター特任教授	山本 和明	ドイツ	H27.11.11	H27.11.16	国際シンポジウム参加及び発表	ハイデルベルグ大学
28	研究部研究主幹	大友 一雄	韓国	H28.11.12	H28.11.15	「東アジアと実録」シンポジウム	国史編纂委員会、国際会議室、昌徳宮
29	研究部教授	陳 捷	中国	H27.11.27	H27.11.30	シンポジウム参加（研究発表）、施設見学、資料調査、研究打合せ	北京大学新聞与伝播学院、中国国家図書館典籍博物館他、北京大学古文獻中心

番号	所属	氏名	目的国	本邦出国日	本邦帰国日	目的	用務先
30	研究部准教授	入口 敦志	中国	H27. 11. 27	H27. 11. 30	シンポジウム参加（研究発表）、施設見学	北京大学新聞与伝播学院、中国国家図書館典籍博物館他
31	研究部教授	山下 則子	中国	H27. 12. 10	H27. 12. 13	学術招待講演	四川外国語大学日本語・日本文学専攻、大足石刻・山峽博物館
31	研究部准教授	加藤 聖文	台湾	H27. 12. 18	H27. 12. 20	日中国際会議出席	中央研究院近代史研究所
32	研究部准教授	加藤 聖文	バチカン市国、イタリア、スイス、フランス	H28. 1. 28	H28. 2. 8	大戦末期日本・連合国間外交に関する文書の調査収集、国際人道支援関係文書の調査収集、日ソ戦争関係文書の調査収集	バチカン機密公文書館、ムッソリーニ記念館、イタリア国立外交公文書館、国際連合欧州本部アーカイブズ、スイス国立公文書館、国際赤十字委員会アーカイブズ、レジスタンス博物館、フランス国立公文書館、フランス国立図書館保存技術センター、フランス国立図書館（トリビアク館、リシュリュー館）、フランス国立文化財学院、ルーブル美術館、バチカン図書館
33	研究部准教授	青木 睦	フランス、バチカン市国、イタリア	H28. 2. 1	H28. 2. 15	LED照明管理研究関連調査、マレガ収集文書概要調査	フランス国立公文書館、フランス国立図書館保存技術センター、フランス国立図書館（トリビアク館、リシュリュー館）、フランス国立文化財学院、ルーブル美術館、バチカン図書館
34	研究部教授	陳 捷	中国	H28. 2. 2	H28. 2. 10	医学典籍調査、現地調査	中国国家図書館、北京前門・瑠璃廠古書店街
35	研究部研究主幹	大友 一雄	バチカン市国、イタリア	H28. 2. 7	H28. 2. 14	マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館、サレジオ大学
36	研究部准教授	太田 尚宏	バチカン市国、イタリア	H28. 2. 7	H28. 2. 14	マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館、サレジオ大学
37	研究部特任助教	湯上 良	バチカン市国、イタリア	H28. 2. 7	H28. 2. 14	マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館、サレジオ大学
38	研究部教授	伊藤 鉄也	インド	H28. 2. 10	H28. 2. 21	インド国際日本文学研究集会企画運営打合せ、打合せ結果の報告	アニタ・カナ教授宅、ネルー大学、サヒタヤアカデミー、国際交流基金、アラハバード大学
39	研究部教授	神作 研一	アメリカ	H28. 2. 11	H28. 2. 21	日本古典籍調査、日本古典籍関連調査打合せ	ホノルル美術館、ハワイ大学
40	研究部教授	山下 則子	アメリカ	H28. 2. 11	H28. 2. 18	日本古典籍調査	ホノルル美術館
41	研究部准教授	相田 満	台湾	H28. 2. 28	H28. 3. 4	研究打合せ、研究調査、資料収集	国立歴史博物館、台湾大学、国立故宮博物院、重慶南路書店街、永和世界宗教博物館、台湾文学館、奇美美術館
42	研究部研究主幹	小林 健二	アメリカ	H28. 3. 3	H28. 3. 7	プリンストン大学における研究集会参加	プリンストン大学
43	研究部教授	神作 研一	アメリカ	H28. 3. 3	H28. 3. 14	プリンストン写本版本国際集会における研究発表、情報収集、日本古典籍調査、打合せ	プリンストン大学、カリフォルニア大学バークレー校
44	研究部准教授	入口 敦志	アメリカ	H28. 3. 6	H28. 3. 13	カリフォルニア大学バークレー校蔵日本古典籍の調査、打合せ	カリフォルニア大学バークレー校
45	研究部准教授	海野 圭介	アメリカ	H28. 3. 6	H28. 3. 13	日本古典籍調査、打合せ	カリフォルニア大学バークレー校
46	研究部准教授	小山 順子	アメリカ	H28. 3. 6	H28. 3. 14	プリンストン写本版本国際集会における研究発表、情報収集、日本古典籍調査、打合せ	カリフォルニア大学バークレー校
47	館長	今西 祐一郎	アメリカ	H28. 3. 9	H28. 3. 14	日本古典籍調査、打合せ	カリフォルニア大学バークレー校
48	研究部准教授	入口 敦志	アメリカ	H28. 3. 14	H28. 3. 21	ホノルル美術館での古典籍調査	ホノルル美術館
49	研究部	齋藤 真麻理	フランス	H28. 3. 15	H28. 3. 20	狩野派戯画等の文献調査	コレージュ・ド・フランス、ギメ美術館
50	研究部准教授	海野 圭介	アメリカ	H28. 3. 16	H28. 3. 21	学術会議「前近代における〈世界〉の想像」参加、研究報告	カリフォルニア大学ロサンゼルス校
51	研究部准教授	海野 圭介	アメリカ	H28. 3. 24	H28. 4. 3	シンポジウムでの研究報告及び資料調査、AAS/CEAL (Council on East Asian Libraries) /EMJN会議での研究報告	ブリガム・ヤング大学、シエラトンシアトルホテル、ワシントン・ステイト・コンベンションセンター
52	古典籍共同研究事業センター特任教授	山本 和明	アメリカ	H28. 3. 28	H28. 4. 2	AAS/CEAL (Council on East Asian Libraries) 会議での発表及び意見交換	ワシントン大学、ワシントン・ステイト・コンベンションセンター

X 各種委員会委員一覧

1 運営会議

委員：浅野秀剛	大和文華館長
アレクサンドル・ドーリン	国際教養大学国際教養学部教授
井口和起	京都府立総合資料館非常勤顧問
伊藤早苗	九州大学応用力学研究所教授
上野健爾	四日市大学関孝和数学研究所長
大谷雅夫	京都大学大学院文学研究科教授
木村茂光	帝京大学文学部史学科教授
小島孝之	東京大学名誉教授
中島国彦	早稲田大学文学学術院教授
長島弘明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
身崎壽	北海道大学名誉教授
村上征勝	同志社大学文化情報学部
寺島恒世	副館長（企画調整担当）
谷川恵一	副館長（研究担当）
大友一雄	研究部研究主幹（教授）
小林健二	研究部研究主幹（教授）
田中大士	研究部研究主幹（教授）
大高洋司	研究部教授
落合博志	研究部教授
古瀬蔵	研究部教授
山下則子	研究部教授
渡辺浩一	研究部教授

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 5 月 26 日(火) 13：30～15：30

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

- 1 平成 26 年度事業部報告について
- 2 平成 26 年度研究部報告について
- 3 平成 26 年度大学院教育について
- 4 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画について

- 5 平成 26 年度に係る業務の実績に関する報告書(案)及び平成 27 年度計画について
- 6 ミッションの確認について

【審議事項】

- 1 第 3 期中期目標・中期計画について
- 2 設置目的について
- 3 特定有期雇用職員の人事について
- 4 人事協議会委員の選出について

【その他】

- 1 平成 27 年度催し物について
- 2 当館への意見について

第 2 回 平成 27 年 10 月 19 日(月) 15 : 00～17 : 00

場 所 KKR ホテル東京 11 階 丹頂の間

【報告事項】

- 1 第 3 期中期目標・中期計画(素案)について
- 2 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画について
- 3 特定有期雇用職員(特任助教)の採用可否投票結果について

【審議事項】

- 1 研究教職員の人事について
- 2 研究教育職員(准教授)の選考要領について

【その他】

- 1 平成 27 年度催し物について
- 2 当館への意見について

第 3 回 平成 28 年 2 月 23 日(火) 15 : 00～17 : 00

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

- 1 平成 28 年度国文学研究資料館予算(案)について

【審議事項】

- 1 研究教育職員の人事について
- 2 名誉教授の候補者について
- 3 任期付き助教の准教授任用に関する申し合せについて
- 4 平成 28 年度計画について
- 5 研究戦略室の設置について
- 6 平成 28 年度共同研究について

7 平成28年度客員教員及び外国人研究員について

【その他】

- 1 平成28年度催し物について
- 2 当館への意見について

2 共同研究委員会

委員：河 合 眞 澄	大阪府立大学人間社会学部教授
河 添 房 江	東京学芸大学教育学部教授
鈴 木 広 光	奈良女子大学文学部教授
田 渕 旬美子	早稲田大学教育総合科学学術院教授
中 原 豊	中原中也記念館長
廣 瀬 千紗子	同志社女子大学表象文化学部日本語日本文学科特任教授
宮 崎 修 多	成城大学文芸学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
陳 捷	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
入 口 敦 志	研究部准教授
加 藤 聖 文	研究部准教授

平成27年度開催状況：

第1回 平成27年7月2日(木) 13:30～15:40

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 平成27年度共同研究について
- 2 その他

【協議事項】

- 1 平成26年度共同研究年次報告について
- 2 平成27年度基幹研究について

- 3 第3期中期目標・中期計画期間における共同研究について
- 4 平成28年度共同研究の公募について
- 5 その他

第2回 平成27年10月8日(木) 13:30~14:40

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 日本文学若手研究者会議について

【協議事項】

- 1 平成28年度共同研究の採択について
- 2 その他

3 調査収集委員会

委員：青 木 稔 弥	神戸松蔭女子学院大学文学部教授
飯 倉 洋 一	大阪大学大学院文学研究科教授
奥 田 晴 樹	立正大学文学部教授
近 衛 典 子	駒澤大学文学部教授
小 林 一 彦	京都産業大学文化学部教授
森 正 人	尚絅大学・尚絅大学短期大学部学長
横 井 孝	実践女子大学文学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 惠 一	副館長（研究担当）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 田 寿 美	研究部准教授

平成27年度開催状況：

第1回 平成27年5月11日(月) 14:00~15:40

場 所 第1会議室

- 1 平成26年度事業報告について
- 2 平成26年度「調査」・「収集」結果について
- 3 平成27年度「調査」・「収集」計画について
- 4 平成27年度国文学文献資料調査員会議について
- 5 平成28年度以降の国文学文献資料調査員会議について
- 6 法人第3期における調査収集事業について
- 7 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について
- 8 その他

第2回 平成27年10月30日(月) 14:00~16:00

場 所 第1会議室

- 1 平成27年度「調査」・「収集」進捗状況について
- 2 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について
- 3 法人第3期における調査収集事業について
- 4 その他

第3回 平成28年3月23日(水)15:00~17:20

場 所 第1会議室

- 1 平成27年度事業報告について
- 2 平成27年度「調査」・「収集」進捗状況について
- 3 調査カードの公開について
- 4 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について
- 5 法人第三期における調査収集事業について
- 6 その他

4 図書館事業委員会

委員：上 原 正 隆	一橋大学学術・図書部長
大 山 敬 三	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授
佐 藤 孝 之	東京大学史料編纂所教授
鈴 木 俊 幸	中央大学文学部教授
中 渡 明 弘	国立国会図書館利用者サービス部人文課長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授

神 作 研 一	研究部教授
陳 捷	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 木 睦	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 28 年 3 月 1 日(月) 10:00～11:20

場 所 第 1 会議室

- 1 平成 27 年度図書館事業報告（案）について
- 2 平成 28 年度図書館事業計画（案）について
- 3 その他

5 電子情報委員会

委員：相 原 健 郎	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授
下 田 正 弘	東京大学大学院人文社会系研究科教授
永 崎 研 宣	人文情報学研究所主席研究員
原 正一郎	京都大学地域研究統合情報センター教授
村 田 右富美	大阪府立大学人間社会学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
海 野 圭 介	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 3 月 20 日(金) 14:00～16:15

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

- 1 電子情報事業部会報告
- 2 第8期システム報告
- 3 第9期情報システム仕様策定報告

【審議事項】

- 1 平成26年度電子情報事業部事業報告について

6 学術企画連携委員会

委員：井上俊治	NHK文化センター講師
小森正明	宮内庁書陵部図書調査官
池田和臣	中央大学文学部教授
岡 寛 偉久子	天理大学附属天理図書館目録室長
山中玲子	法政大学能楽研究所所長
寺島恒世	副館長（企画調整担当）
谷川恵一	副館長（研究担当）
大友一雄	研究部研究主幹（教授）
小林健二	研究部研究主幹（教授）
田中大士	研究部研究主幹（教授）
神作研一	研究部教授
齋藤真麻理	研究部教授
古瀬 蔵	研究部教授
青木 睦	研究部准教授
入口敦志	研究部准教授
太田尚宏	研究部准教授
加藤聖文	研究部准教授
恋田知子	研究部助教

平成27年度開催状況：

第1回 平成28年2月24日(水) 16:00～17:40

場 所 第1会議室

- 1 平成27年度に実施した事業について
- 2 平成28年度に予定している事業について
- 3 その他

7 国際日本文学研究集会委員会

委員：板坂則子 専修大学文学部教授

坂 本 信 道	京都女子大学文学部教授
中 川 成 美	立命館大学文学部教授
櫻 井 陽 子	駒澤大学文学部教授
深 沢 眞 二	和光大学表現学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
陳 捷	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
野 網 摩利子	研究部助教

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 8 月 6 日(木) 13:30～16:15

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 第 38 回国際日本文学研究集会の報告について
- 2 第 39 回国際日本文学研究集会の準備状況について
- 3 その他
 - (1) 当日 1 F エントランスホールの受付配置について

【協議事項】

- 1 第 39 回国際日本文学研究集会における見直し事項について
- 2 第 39 回国際日本文学研究集会研究発表者の決定について
- 3 第 39 回国際日本文学研究集会ショートセッション発表者の決定について
- 4 第 39 回国際日本文学研究集会ホ^ホスターセッション発表者の決定について
- 5 第 39 回国際日本文学研究集会プログラムの決定について

第 2 回 平成 27 年 11 月 14 日(土) 10:00～12:25

場 所 第 2 会議室

- 1 第 39 回国際日本文学研究集会の準備状況について
- 2 第 40 回国際日本文学研究集会の実施計画について

8 主幹・部長会議

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
山 下 則 子	研究部教授・日本文学研究専攻長
渡 辺 浩 一	研究部教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 4 月 9 日（木） 13：30～15：00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 教育研究評議会について
- 2 経営協議会について
- 3 機構会議について
- 4 事務連絡協議会について
- 5 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 6 情報タスクフォースについて
- 7 日本関連在外資料調査研究委員会について
- 8 機構評価委員会作業部会について
- 9 館内委員会委員及び情報事業センター構成員について
- 10 学術交流協定の締結について
- 11 平成 27 年度科学研究費助成事業の内定について
- 12 機構長裁量経費について
- 13 公費により航空機に搭乗した際に取得したマイレージについて
- 14 夏季一斉休業について

15 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 年棒制について
- 2 平成 27 年度兼業について
- 3 平成 27 年度外来研究員の受入れについて
- 4 平成 27 年度日本学術振興会外国人特別研究員の申請について
- 5 公立はこだて未来大学との共同研究の申込みについて

第 2 回 平成 27 年 5 月 14 日(木) 13 : 30~15 : 00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 第 3 期中期目標・計画策定ワーキンググループについて
- 5 機構評価委員会について
- 6 広報タスクフォースについて
- 7 公的研究費の不正使用防止に関する規程の運用について
- 8 公開シンポジウムプログラムについて
- 9 外国出張及び海外研修について
- 10 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 設置目的について
- 2 運営会議の開催について
- 3 国際研究集会プログラムについて
- 4 宇和島シンポジウム、ワークショップの共催及び後援について
- 5 基幹研究の新規課題について
- 6 カリフォルニア大学バークレー校東アジア図書館との学術交流協定について

第 3 回 平成 27 年 6 月 11 日(木) 14 : 30~16 : 00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 機構評価委員会について

- 5 国立大学附置研究所・センター長会議総会について
- 6 外国出張及び海外研修について
- 7 各種委員会報告について

第4回 平成26年7月9日(木) 13:30~15:10

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 設置目的について
- 2 教育研究評議会について
- 3 経営協議会について
- 4 機構会議について
- 5 事務連絡協議会について
- 6 広報タスクフォースについて
- 7 日本関連在外資料調査研究委員会について
- 8 情報タスクフォースについて
- 9 第3期中期目標・中期計画(素案)について
- 10 平成28年度概算要求について
- 11 平成28年度共同研究の公募について
- 12 外国出張及び海外研修について
- 13 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 図書館利用規程の改正について
- 2 就業規則改正に伴う特定有期雇用職員取扱要項等の制定について
- 3 大学支援「国文研でゼミを！」について

第5回 平成27年9月17日(木) 13:30~15:20

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 公的研究不正使用防止計画推進室会議及び研究倫理教育等推進室会議合同会議について
- 5 情報タスクフォースについて
- 6 平成28年度概算要求について
- 7 平成27年度機構長裁量経費(第2回)に係る要望について

- 8 平成27年度予算の計画的執行について
- 9 外国出張及び海外研修について
- 10 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 古典籍共同研究事業センター組織運営規程の改正について
- 2 平成27年度兼業について
- 3 平成28年度連続講座について
- 4 大学支援「国文研でゼミ」について
- 5 平成27年度プロジェクト研究員の採用について
- 6 平成27年度科学研究費助成事業国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）の申請について
- 7 平成28年度日本学術振興会外国人特別研究員の申請について
- 8 外部資金の申請について

第6回 平成26年10月8日(木) 13:30~14:30

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
 - 2 事務連絡協議会について
 - 3 平成27年度機構長裁量経費（第2回）について
 - 4 外国出張及び海外研修について
 - 5 各種委員会報告について
 - 6 その他
- (1) 平成28年度事業計画書について

【協議事項】

- 1 運営会議の開催について
- 2 日本文学若手研究者会議の設置について
- 3 「歴史的典籍オープンデータワークショップ（アイデアソン）」に係る国立情報学研究所への共催依頼について

第7回 平成26年11月12日(木) 13:30~15:20

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について

- 4 広報タスクフォースについて
 - 5 評価作業部会について
 - 6 公的研究費の不正防止に関する規程第22条に基づく報告書の取扱いについて
 - 7 平成28年度共同研究（若手）の審査結果について
 - 8 平成28年度科学研究費助成事業の新規申請について
 - 9 平成27年度機構長裁量経費（第2回）について
 - 10 平成28年度アーカイブズ・カレッジの日程及び会場について
 - 11 外国出張及び海外研修について
 - 12 各種委員会報告について
 - 13 その他
- (1) 平成27年度の購入依頼書最終提出期限について

【協議事項】

- 1 立命館大学図書館との学術交流協定の更新について
- 2 実践女子大学との学術交流協定の更新について
- 3 館蔵資料のオープンデータ化について

第8回 平成26年12月10日(木) 13:30~14:45

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 教育研究評議会について
- 2 経営協議会について
- 3 機構会議について
- 4 人間文化研究機構若手研究者海外派遣プログラムについて
- 5 事務連絡協議会について
- 6 評価体制等検討チーム会議について
- 7 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 8 情報タスクフォースについて
- 9 日本関連在外資料調査研究委員会について
- 10 広報タスクフォースについて
- 11 外国出張及び海外研修について
- 12 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 第2期中期目標期間に実施した研究業績の評価について
- 2 平成28年度機関研究員の公募について
- 3 平成28年度国立情報学研究所公募型共同研究への応募について
- 4 研究開発系共同研究の実施について

第9回 平成28年1月14日(木) 13:30~14:45

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究センター設置準備室会議について
- 4 IR検討チーム会議について
- 5 評価体制等検討チーム会議について
- 6 平成28年度予算について
- 7 人間文化研究機構旅費規程及び人間文化研究機構旅費取扱規則の一部改正について
- 8 平成28年度日本学術振興会外国人特別研究員の採択結果について
- 9 外国出張及び海外研修について
- 10 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 古典籍共同研究事業センター組織運営規程の改正について
- 2 平成28年度客員教員及び外国人研究員について
- 3 平成28年度共同研究について
- 4 出光文化福祉財団平成27年度出版助成の採択結果について

第10回 平成28年2月4日(木) 13:30~15:20

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 IR検討チーム会議について
- 5 情報タスクフォースについて
- 6 研究資源共有化事業委員会について
- 7 広報タスクフォースについて
- 8 外国出張及び海外研修について
- 9 各種委員会報告について
- 10 その他

(1) 主幹・部長会議開催日程の変更について

【協議事項】

- 1 運営会議の開催について
- 2 平成28年度計画について

- 3 平成27年度兼業について
- 4 平成28年度国文学研究資料館概要の作成について

第11回 平成28年3月22日(木) 13:30~15:50

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 教育研究評議会について
 - 2 経営協議会について
 - 3 機構会議について
 - 4 事務連絡協議会について
 - 5 総合人間文化研究センター設置準備室会議について
 - 6 IR検討チーム会議について
 - 7 広報タスクフォースについて
 - 8 平成28年度委員会委員及び事業部構成員について
 - 9 外部資金の採択結果について
 - 10 平成28年度プロジェクト研究員の公募について
 - 11 特別共同利用研究員について
 - 12 平成28年度機構長裁量経費について
 - 13 他機関所蔵古典籍の保管場所について
 - 14 夏季一斉休業について
 - 15 外国出張及び海外研修について
 - 16 各種委員会報告について
 - 17 その他
- (1) 研究教育職員の採用について

【協議事項】

- 1 研究戦略室設置要項の制定について
- 2 日本文学若手研究者会議要項の制定について
- 3 資料貸付規程及び資料貸付申合せの改正について
- 4 文献複写要項の改正について
- 5 平成28年度予算(案)について
- 6 平成28年度兼業について
- 7 平成28年度機関研究員の採用について
- 8 平成28年度プロジェクト研究員の採用について
- 9 平成28年度リサーチアシスタントの採用について
- 10 平成28年度外来研究員の採用について
- 11 研究開発系共同研究の契約更新について

12 人文科学とコンピュータシンポジウム 2016 の共催依頼について

9 人事委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長

10 研究部会議

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
陳 捷	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
加 藤 聖 文	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長

平成 26 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 4 月 23 日(木) 13：30～14：45

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成 26 年度機関研究員等の研究成果報告について
- 2 平成 27 年度科学研究費助成事業の交付内定について

【協議事項】

- 1 平成 26 年度共同研究年次報告について

- 2 平成 27 年度共同利用研究室の配置について
 - 3 基幹研究の新規課題について
 - 4 人間文化研究機構における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程に定める「研究者等」の範囲について
 - 5 規程等の改正について
 - 6 その他
- (1) カリフォルニア大学バークレー校東アジア図書館との学術交流協定について

第 2 回 平成 27 年 6 月 2 日(火) 13:30~14:45

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成 27 年度特別共同利用研究員について
- 2 平成 27 年度予算配分について

【協議事項】

- 1 平成 27 年度機関研究員（国際交流室）の採用について
- 2 平成 27 年度リサーチアシスタントの採用について
- 3 平成 28 年度採用分日本学術振興会特別研究員（PD）の申請について
- 4 特別研究員の出産・育児に係る採用の中断について
- 5 大川情報通信基金 2015 年度研究助成への応募について
- 6 寄附金の使途変更について
- 7 平成 28 年度共同研究の公募について

第 3 回 平成 27 年 7 月 23 日(木) 13:30~15:00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成 27 年度外来研究員の研究成果報告について
- 2 その他

【協議事項】

- 1 平成 27 年度プロジェクト研究員の採用について
- 2 平成 27 年度科学研究費助成事業に係る間接経費について
- 3 平成 28 年度公益財団法人稲盛財団研究助成への応募について
- 4 平成 27 年度共同利用研究室の配置について

第 4 回 平成 27 年 9 月 15 日(火) 13:30~14:55

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成27年度外来研究員の研究成果報告について
- 2 人間文化研究機構公的研究費不正使用防止計画の策定について
- 3 平成27年度予算執行状況について

【協議事項】

- 1 平成27年度科学研究費助成事業国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）の申請について
- 2 平成28年度日本学術振興会外国人特別研究員の申請について
- 3 トヨタ財団2015年度研究助成プログラムへの応募について
- 4 出光文化福祉財団平成27年度出版助成への応募について
- 5 平成27年度共同利用研究室等の配置について
- 6 外来研究員室の環境整備について

第5回 平成27年10月22日(木) 13:30~14:55

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 平成27年度外来研究員の研究成果報告について
- 2 平成28年度共同研究（若手）の採択結果について
- 3 平成27年度体制整備等自己評価チェックリストについて
- 4 平成27年度予算執行状況について

【協議事項】

- 1 平成28年度科学研究費助成事業の新規申請について
- 2 立命館大学図書館との学術交流協定の更新について
- 3 平成28年度事業計画について

第6回 平成27年11月24日(火) 15:30~16:15

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 平成28年度採用分（第1回）日本学術振興会特別研究員の選考結果について
- 2 平成28年度科学研究費助成事業（新学術領域研究（研究領域提案型））について
- 3 外来研究員室の環境整備等について
- 4 平成27年度予算執行状況について

【協議事項】

- 1 平成28年度基幹研究について
- 2 平成28年度機関研究員について
- 3 平成28年度国立情報学研究所公募型共同研究への応募について
- 4 実践女子大学文芸資料研究所との学術交流協定の更新について

5 平成 27 年度共同利用研究室等の配置について

第 7 回 平成 27 年 12 月 15 日(火) 15 : 30~17 : 30

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成 28 年度機関研究員の公募について
- 2 人間文化研究機構と国内外大学等研究機関との学术交流協定締結に関するガイドラインについて
- 3 平成 27 年度予算執行状況について

【協議事項】

- 1 平成 28 年度客員教員及び外国人研究員について
- 2 平成 28 年度機関研究員について
- 3 平成 28 年度共同研究について
- 4 とうきゅう環境財団 2016 年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動助成への応募について

第 8 回 平成 28 年 1 月 12 日(火) 15 : 30~17 : 00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成 28 年度日本学術振興会外国人特別研究員の採択結果について
- 2 2016 (平成 28) 年度東京大学資料編纂所特定共同研究共同研究員への申請について
- 3 出光文化福祉財団平成 27 年度出版助成の採択結果について
- 4 国文研フォーラムについて
- 5 平成 27 年度予算執行状況について
- 6 人間文化研究機構旅費規程及び人間文化研究機構旅費取扱規則の一部改正について

【協議事項】

- 1 平成 28 年度リサーチアシスタントについて
- 2 平成 28 年度共同研究について
- 3 寄附金の受入れについて
- 4 教員研究経費について

第 9 回 平成 28 年 2 月 18 日(木) 13 : 30~14 : 40

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

- 1 トヨタ財団 2015 年度研究助成プログラムの採択結果について
- 2 平成 27 年度予算執行状況について

3 平成 27 年度コンプライアンス教育（研修会）の実施について

【協議事項】

1 平成 28 年度リサーチアシスタント採用計画について

第 10 回 平成 28 年 3 月 17 日(木) 15 : 30～16 : 40

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

1 平成 28 年度共同研究の計画変更について

2 平成 28 年度公益財団法人稲盛財団研究助成の採択結果について

3 総合人間文化研究推進センターの予算配分について

4 国文研フォーラムについて

【協議事項】

1 人間文化研究機構国文学研究資料館特定研究員取扱要項の改正について

2 平成 28 年度機関研究員の採用について

3 平成 28 年度プロジェクト研究員の採用について

4 平成 28 年度リサーチアシスタントの採用について

5 平成 28 年度外来研究員の受入れについて

6 平成 28 年度プロジェクト研究員の公募について

7 平成 28 年度共同利用研究室等の配置について

11 情報事業センター会議

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）・学術企画連携部長
陳 捷	研究部教授
小 山 順 子	研究部准教授
江 戸 英 雄	研究部助教
野 網 摩利子	研究部助教
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成 26 年 8 月 1 日から）
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 7 月 15 日(水) 10 : 30～12 : 20

場 所 第2会議室

【協議事項】

- 1 館蔵資料のオープン化について

第2回 平成27年11月5日(水) 15:30~18:00

場 所 第1会議室

【協議事項】

- 1 古典籍系DBにおける所蔵の範囲、歴史的典籍としての位置づけについて
- 2 古典籍選集本文DBの事業での運用について
- 3 館蔵画像のオープンデータ化について

【報告事項】

- 1 収集デジタル画像の透かしについて

第3回 平成28年3月24日(水) 13:30~14:30

場 所 第2会議室

【協議事項】

- 1 オープンデータ化について

12 将来計画委員会

委員：谷 川 惠 一	副館長（研究担当）
大 高 洋 司	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
陳 捷	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
加 藤 聖 文	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

平成27年度開催状況：

第1回 平成27年4月6日(月) 13:30~15:50

場 所 第1会議室

- 1 第3期中期目標・中期計画素案について

第2回 平成27年5月13日(水) 13:30~14:50

場 所 第1会議室

- 1 第3期中期目標・中期計画について
- 2 当館の設置目的について

第3回 平成27年10月7日(水) 13:30~14:50

場 所 第1会議室

- 1 第3期中期目標・中期計画(素案)の修正について
- 2 研究戦略室について

第4回 平成28年1月26日(火) 10:30~12:00

場 所 第1会議室

- 1 第3期中期目標・中期計画(案)について
- 2 研究戦略室について
- 3 日本文学若手研究者会議について

第5回 平成28年2月17日(水) 10:30~12:00

場 所 第1会議室

- 1 日本文学若手研究者会議要項について
- 2 研究戦略室について
- 3 情報事業センター等の改組について

13 研究戦略委員会

委員：谷 川 恵 一	副館長(研究担当)
大 友 一 雄	研究部研究主幹(教授)
田 中 大 士	研究部研究主幹(教授)
伊 藤 鉄 也	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
陳 捷	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
青 木 睦	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授

西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
野 網 摩利子	研究部助教
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 6 月 23 日(火) 10：00～12：00

場 所 第 1 会議室

- 1 平成 27 年度研究推進支援費制度による支援費の配分について

第 2 回 平成 27 年 10 月 14 日(水) 10：00～12：00

場 所 第 1 会議室

- 1 平成 28 年度科学研究費助成事業の新規申請について
- 2 その他

14 大学院教育委員会

委員：谷 川 惠 一	副館長（研究担当）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授・日本文学研究専攻長
渡 辺 浩 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 木 睦	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
恋 田 知 子	研究部助教
野 網 摩利子	研究部助教
岡 田 耕 作	管理部総務課長

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 5 月 7 日(木) 14:00～15:00

場 所 第 2 会議室

- 1 平成 27 年度特別共同利用研究員の受入れについて
- 2 平成 27 年度特別共同利用研究員関係のスケジュールについて
- 3 平成 27 年度特別共同利用研究員オリエンテーションについて

4 その他

第2回 ※電子メールによる審議

第3回 平成28年1月21日(木) 15:30~17:30

場 所 第2会議室

- 1 前回議事要旨について
- 2 平成27年度特別共同利用研究員の修了について
- 3 平成28年度特別共同利用研究員の受入れについて
- 4 その他

第4回 ※電子メールによる審議

15 調査収集計画委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
陳 捷	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
恋 田 知 子	研究部助教
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

16 図書資料委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
陳 捷	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 木 睦	研究部准教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
江 戸 英 雄	研究部助教
恋 田 知 子	研究部助教

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 4 月 28 日(火) 10：30～12：00

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

- 1 平成 26 年度受入和古書・近代原本一覧
- 2 米村孝一氏所蔵資料について
- 3 その他

【審議事項】

- 1 資料の選定について
- 2 資料評価実施規定について
- 3 コレクションの指定について
- 4 資料の寄贈について

第 2 回 平成 27 年 7 月 21 日(火) 15：45～17：10

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

- 1 持ち回り審議について
- 2 その他

【審議事項】

- 1 資料の寄贈について
- 2 資料の寄託について
- 3 資料の選定について

- 4 貴重書候補の選定について
- 5 日常的な郵送等での寄贈について

第3回 平成27年11月19日(木) 11:00~12:00

場 所 第1会議室

【報告事項】

- 1 持ち回り審議について

【審議事項】

- 1 資料の寄贈について
- 2 資料の寄託について
- 3 資料の選定について
- 4 その他

第4回 平成28年1月21日(木) 10:30~11:20

場 所 第1会議室

【報告事項】

- 1 持ち回り審議について
- 2 その他

【審議事項】

- 1 資料の選定について
- 2 原本の選定について
- 3 郵送等で送られてくる寄贈書の受入基準について
- 4 その他

17 評価委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 田 寿 美	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
井 深 順 二	管理部長

岡田耕作	管理部総務課長
谷口潤	管理部財務課長
大塚克威	管理部学術情報課長

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 11 月 25 日(水) 15：30～17：15

場 所 第 1 会議室

【協議事項】

- 1 第 2 期中期目標期間の評価について
- 2 平成 27 年度計画の進捗状況について

【報告事項】

- 1 平成 26 年度評価の結果について
- 2 人間文化研究機構 評価体制等検討チーム会議について

18 知的財産委員会

委員：伊藤鉄也	研究部教授
古瀬蔵	研究部教授
渡辺浩一	研究部教授
相田満	研究部准教授
太田尚宏	研究部准教授
加藤聖文	研究部准教授
西村慎太郎	研究部准教授
野本忠司	研究部准教授
岡田耕作	管理部総務課長
谷口潤	管理部財務課長
大塚克威	管理部学術情報課長

19 施設マネジメント委員会

委員：寺島恒世	副館長（企画調整担当）
谷川恵一	副館長（研究担当）
大友一雄	研究部研究主幹（教授）
田中大士	研究部研究主幹（教授）
伊藤鉄也	研究部教授
大高洋司	研究部教授
渡辺浩一	研究部教授
青木睦	研究部准教授
小山順子	研究部准教授

江戸 英雄	研究部助教
井 深 順 二	管理部長
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 6 月 3 日(水) 15：30～16：30

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

- 1 平成 27 年度の研究室の配置について
- 2 古典籍共同研究事業センター撮影室及び内製化実験室の更新について
- 3 消防計画の改正について
- 4 平成 27 年度施設の点検評価について

【報告事項】

- 1 ゲストハウス増築工事について
- 2 自衛消防訓練実施結果について
- 3 防災マニュアルの改訂について
- 4 空調機及び電気錠の修繕費について
- 5 光熱水費について
- 6 省エネポスターの変更について
- 7 その他

第 2 回 平成 27 年 12 月 8 日(火) 15:30～16:30

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

- 1 研究室の配置について
- 2 平成 27 年度における施設の点検評価の報告等について
- 3 エネルギー管理標準の改正について
- 4 特別会議室の借用について
- 5 研究室配置等に係る課題について

【報告事項】

- 1 外来研究員室の環境整備について
- 2 その他

第 3 回 ※電子メールによる持ち回り審議

20 衛生委員会

委員：岡 田 耕 作	管理部総務課長
石 井 良 幸	石井医院院長
鎌 田 進 平	総務課研究協力係員
小 勝 幸 治	総務課人事係長
江 戸 英 雄	研究部助教
恋 田 知 子	研究部助教
想 田 郁 哉	学術情報課情報サービス第2係

21 情報セキュリティ委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

平成 26 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 3 月 3 日(火) 10：30～11：20

場 所 第 3 会議室

【報告事項】

- 1 情報セキュリティ委員会委員の交代
- 2 平成 26 年度情報セキュリティに関わる作業報告
- 3 ウイルス検知状況
- 4 情報セキュリティに関わる国立大学等の対応について
- 5 平成 26 年度情報セキュリティセミナー参加報告

【審議事項】

- 1 インシデント対応について
- 2 システム管理部会メンバーについて

22 情報公開委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長

古瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大高 洋司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
山下 則子	研究部教授・日本文学研究専攻長
井深 順二	管理部長
岡田 耕作	管理部総務課長
谷口 潤	管理部財務課長
大塚 克威	管理部学術情報課長

23 ハラスメント防止委員会

委員：寺島 恒世	副館長（企画調整担当）
谷川 恵一	副館長（研究担当）
齋藤 真麻理	研究部教授
岡田 耕作	管理部総務課長
谷口 潤	管理部財務課長

24 危機管理委員会

委員：今西 祐一郎	館長
寺島 恒世	副館長（企画調整担当）
谷川 恵一	副館長（研究担当）
大友 一雄	研究部研究主幹（教授）
小林 健二	研究部研究主幹（教授）
田中 大士	研究部研究主幹（教授）
大高 洋司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
落合 博志	研究部教授・調査収集事業部長
古瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
山下 則子	研究部教授・日本文学研究専攻長
井深 順二	管理部長
岡田 耕作	管理部総務課長
谷口 潤	管理部財務課長
大塚 克威	管理部学術情報課長

25 研究倫理委員会

委員：今西 祐一郎	館長
寺島 恒世	副館長（企画調整担当）
谷川 恵一	副館長（研究担当）
大友 一雄	研究部研究主幹（教授）

小林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
山 下 則 子	研究部教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

26 日本語歴史的典籍ネットワーク委員会

委員：安 達 淳	国立情報学研究所副所長
石 上 英 一	東京大学名誉教授
石 渡 裕 子	国立国会図書館利用者サービス部長
小 倉 慈 司	国立歴史民俗博物館研究部歴史研究系准教授
高 田 時 雄	京都大学名誉教授
長 島 弘 明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
中 山 正 樹	国立国会図書館総務部司書監（情報化推進担当）
原 田 信 男	国士舘大学21世紀アジア学部教授
真 柳 誠	茨城大学人文学部教授
山 田 奨 治	国際日本文化研究センター研究部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）

平成27年度開催状況：

第1回 平成27年6月8日(月) 10:00～12:10

場 所 主婦会館プラザエフ 4階シャトレ

- 1 平成26年度古典籍共同研究事業センター実績報告について
- 2 平成27年古典籍共同研究事業センター事業計画について
- 3 各種委員会実施状況について
- 4 評価体制のあり方について
- 5 デジタル画像内製化について
- 6 公開シンポジウムの開催について

第2回 平成27年11月17日(火) 10:00～12:25

場 所 主婦会館プラザエフ 4階シャトレ

- 1 評価小委員会の設置について（申し合せ）の改正について
- 2 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会の報告について
- 3 平成 28 年度概算要求について
- 4 研究開発系共同研究について（本年度実施状況）
- 5 平成 27 年度古典籍画像収集の進捗状況について
- 6 データのオープン化等について
- 7 システム構築に関するスケジュールについて
- 8 各種委員会実施状況について
- 9 広報活動について
- 10 その他
 - (1) 新学術領域研究の申請について
 - (2) ブックレットの準備状況について
 - (3) 平成 27 年度古典籍共同研究事業センター事業計画（財源別予算表）について

第 3 回 平成 28 年 2 月 10 日(水) 10:00～12:20

場 所 主婦会館プラザエフ 3 階コスモス

- 1 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画進捗評価報告書について
- 2 平成 28 年度予算（案）について
- 3 組織運営規程の改正について
- 4 平成 27 年度画像情報作成の進捗状況及び平成 28 年度画像情報作成計画について
- 5 平成 28 年度「国際共同ネットワークシステム」公開系システムの導入（案）について
- 6 平成 27 年度研究開発系共同研究の実施状況及び平成 28 年度研究開発系共同研究計画について
- 7 平成 27 年度共同研究の実施状況及び平成 28 年度共同研究計画について
- 8 平成 27 年度研究成果の発信及び広報関連について並びに平成 28 年度研究成果の発信及び広報関連について
- 9 各種委員会実施状況について
- 10 平成 28 年度の予定について
- 11 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画進捗評価報告書について

27 事業実施委員会

委員：上 野 健 爾	四日市大学研究機構関孝和数学研究所所長
高 木 元	大妻女子大学文学部教授
木目沢 司	国立国会図書館電子情報部電子情報サービス課課長
木 部 陽 子	国立国語研究所時空間変異研究系教授

松 井 知 子	統計数理研究所モデリング研究系潜在構造モデリング グループ教授
今 西 祐一郎	館長（古典籍共同研究事業センター長）
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
山 本 和 明	古典籍共同研究事業センター副センター長・特任教授
井 深 順 二	管理部長（古典籍共同研究事業センター事務室長）

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 6 月 4 日(木) 13:30～15:20

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

- 1 平成 27 年度古典籍共同研究事業センター事業計画について
- 2 研究開発系共同研究について
- 3 館蔵資料のオープンデータ化について
- 4 ニュースレター第 1 号について

【報告事項】

- 1 平成 26 年度古典籍共同研究事業センター実績報告について
- 2 デジタル画像内製化について
- 3 シンポジウムの開催について

第 2 回 平成 27 年 12 月 14 日(月) 14:00～15:30

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

- 1 研究開発系共同研究の実施について
- 2 海外拠点の追加に伴う規程改正について

【報告事項】

- 1 人事異動（特任助教の採用等）について
- 2 古典籍共同研究事業センター組織運営規程の改正について
- 3 平成 28 年度概算要求について
- 4 各種委員会実施状況について
- 5 平成 27 年度古典籍画像収集の進捗状況について
- 6 システム構築に関するスケジュールについて
- 7 新学術領域研究の申請について

- 8 データのオープン化等について
- 9 広報活動等について
- 10 ブックレットの準備状況について

第3回 平成28年3月3日(木) 14:00~15:30

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1 平成28年度古典籍共同研究事業センター事業計画(案)について
- 2 共同研究について
- 3 平成28年度プロジェクト研究員について

【報告事項】

- 1 平成28年度予算(案)について
- 2 平成27年度古典籍共同研究事業センター実績報告について
- 3 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画進捗評価報告書について
- 4 平成28年度「国際共同研究ネットワークシステム」公開系システムの導入(案)について
- 5 平成28年度事業実施委員会開催スケジュール(案)について

28 国際共同研究ネットワーク委員会

委員：赤 間 亮	立命館大学文学部教授
伊 東 貴 之	国際日本文化研究センター研究部教授
高 木 元	大妻女子大学文学部教授
鷺 山 郁 子	フィレンツェ大学教授
ジャン・ノエル・ロベール	コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所所長
徐 一 平	北京外国語大学教授、北京日本学研究中心長
ジョシュア・モストウ	ブリティッシュ・コロンビア大学アジア研究学科教授
ハルオ・シラネ	コロンビア大学教授
ピーター・コーニツキー	ケンブリッジ大学名誉教授
ボナヴェントゥーラ・バルティ	ヴェネツィア大学教授
マティアス・ハイエク	パリ・ディドロ大学准教授
マティルデ・マストランジェロ	サピエンツァ・ローマ大学イタリア東洋研究学科長
徐 承 元	高麗大学校日語日文学科副教授・日本研究センター所長
今 西 祐一郎	館長(古典籍共同研究事業センター長)
寺 島 恒 世	副館長(企画調整担当)
谷 川 恵 一	副館長(研究担当)
山 本 和 明	古典籍共同研究事業センター副センター長・特任教授

井 深 順 二 管理部長（古典籍共同研究事業センター事務室長）

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 28 年 3 月 4 日（金） 14:00～16:00

場 所 主婦会館 3 階コスモス

- 1 平成 28（2016）年度予算（案）について
- 2 組織運営規程の改正について
- 3 平成 28（2016）年度国際共同研究計画について
- 4 平成 29（2017）年度以降の国際共同研究計画について
- 5 平成 27（2015）年度画像情報作成の進捗状況及び平成 28（2016）年度の計画について
- 6 平成 28（2016）年度「国際共同ネットワークシステム」公開系システムの導入（案）について
- 7 平成 27（2015）年度研究開発系共同研究の実施状況及び平成 28（2016）年度研究開発系共同研究計画について
- 8 平成 27（2015）年度共同研究の実施状況及び平成 28（2016）年度研究計画について
- 9 平成 27（2015）年度研究成果の発信及び広報活動の実施状況並びに平成 28（2016）年度研究成果の発信及び広報活動計画について

29 拠点連携委員会

委員：赤 澤 久 弥	京都大学附属図書館情報サービス課課長補佐
秋 澤 互	國學院大學大学院文学研究科教授
浅 田 徹	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科文化科学系教授
飯 倉 洋 一	大阪大学大学院文学研究科教授
池 澤 一 郎	早稲田大学文学学術院教授
石 川 透	慶應義塾大学文学部教授
磯 谷 峰 夫	大阪大学附属図書館利用支援課長
井 庭 朗 子	神戸大学附属図書館情報管理課電子図書館係長
伊 原 尚 子	名古屋大学附属図書館情報サービス課課長補佐
乾 善 彦	関西大学文学部教授
岩 坪 健	同志社大学文学部国文学科教授
宇佐見 博	立教大学図書館事務部長
内 田 慶 市	関西大学外国語学部教授、図書館長
大 秦 一 浩	大谷大学文学部准教授
風 間 茂 彦	慶應義塾大学三田メディアセンター事務長
金 子 敏	北海道大学附属図書館利用支援課課長補佐

金光桂子	京都大学大学院文学研究科准教授
川上裕	広島大学学術・社会産学連携室図書学術情報普及グループ主査
川崎雅史	奈良女子大学学術情報センター学術情報課電子情報係長
川平敏文	九州大学大学院人文科学研究院准教授
北村照夫	筑波大学附属図書館情報管理課課長
後藤康文	北海道大学大学院文学研究科言語文学専攻教授
小林邦久	早稲田大学図書館資料管理課課長
金厚志	大谷大学教育研究支援部図書・博物館課チームリーダー
佐倉由泰	東北大学大学院文学研究科教授
塩村耕	名古屋大学大学院文学研究科教授
高橋ひとみ	お茶の水女子大学図書・情報課係長
田中翔大	立命館大学図書館管理課員
谷口孝介	筑波大学人文社会系教授
千本英史	奈良女子大学大学院人文科学系教授
中川成美	立命館大学大学院文学研究科教授
長島弘明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
久原明美	九州大学附属図書館資料整備室長
福長進	神戸大学大学院人文学研究科教授
古山悟由	國學院大學学術メディアセンター事務部次長
本多博之	広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座教授
水谷隆之	立教大学大学院文学研究科日本文学専攻准教授
森田美由紀	東京大学附属図書館情報サービス課専門員
米澤誠	東北大学附属図書館事務部長
今西祐一郎	館長（古典籍共同研究事業センター長）
寺島恒世	副館長（企画調整担当）
谷川恵一	副館長（研究担当）
山本和明	古典籍共同研究事業センター副センター長・特任教授

平成 27 年度開催状況：

第 1 回 平成 27 年 10 月 2 日(金) 14:00～16:30

場 所 主婦会館プラザエフ 9 階スズラン

- 1 平成 28 年度概算要求について
- 2 平成 26 年度事業実績及び平成 27 年度事業計画について
- 3 平成 27 年度画像情報作成事業について
- 4 データのオープン化について
- 5 大規模提供システムの開発計画について

- 6 新学術領域の申請準備状況について
- 7 研究開発系共同研究について
- 8 各種委員会等報告について

第2回 平成28年2月22日(月) 14:00～15:30

場 所 主婦会館 9階スズラン

- 1 平成28年度予算(案)について
- 2 組織運営規程の改正について
- 3 平成27年度画像情報作成の進捗状況及び平成28年度画像情報作成計画について
- 4 平成28年度「国際共同ネットワークシステム」公開システムの導入(案)について
- 5 平成27年度研究開発系共同研究の実施状況及び平成28年度研究開発系共同研究計画について
- 6 平成27年度共同研究の実施状況及び平成28年度共同研究計画について
- 7 平成27年度研究成果の発信及び広報活動の実施状況並びに平成28年度研究成果の発信及び広報活動計画について
- 8 各種委員会実施状況について
- 9 平成28年度拠点連携委員会開催スケジュールについて

参考 賛助会運営委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長(企画調整担当)
大 友 一 雄	研究部研究主幹(教授)
小 林 健 二	研究部研究主幹(教授)
田 中 大 士	研究部研究主幹(教授)
大 高 洋 司	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長(平成26年8月1日から)
谷 口 潤	管理部財務課長
大 塚 克 威	管理部学術情報課長

平成27年度開催状況：

第1回 平成28年3月8日(火) 13:30～14:25

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 賛助会会員について

【協議事項】

- 1 賛助会運営委員会規程の改正について
- 2 賛助会のパンフレットについて
- 3 「日本古典文学学術賞」選考要綱の改正について
- 4 第8回日本古典文学学術賞選考スケジュールについて
- 5 その他
 - (1) 鉄心斎文庫寄贈に伴う賛助会資金の運用について

X I 運営会議委員・幹部職員一覧

1 運営会議委員 ※五十音順、職名は平成27年度のもの

(館外)

浅野 秀 剛	大和文華館長
アレクサンドル・ドーリン	国際京都府立総合資料館教養大学国際教養学部教授
井口 和 起	京都府立総合資料館非常勤顧問
伊藤 早 苗	九州大学応用力学研究所教授
上野 健 爾	四日市大学関孝和数学研究所長
大谷 雅 夫	京都大学大学院文学研究科教授
木村 茂 光	帝京大学文学部史学科教授
小島 孝 之	東京大学名誉教授
中島 国 彦	早稲田大学文学学術院教授
長島 弘 明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
身崎 壽	北海道大学名誉教授
村上 征 勝	同志社大学文化情報学部教授

(館内)

大高 洋 司	研究部教授
大友 一 雄	研究部研究主幹・教授
落合 博 志	研究部教授
小林 健 二	研究部研究主幹・教授
田中 大 士	研究部研究主幹・教授
谷川 惠 一	副館長（研究担当）
寺島 恒 世	副館長（企画調整担当）
古瀬 蔵	研究部教授
山下 則 子	研究部教授
渡辺 浩 一	研究部教授

2 幹部職員

館長	今 西 祐一郎
副館長（企画調整担当）	寺 島 恒 世
副館長（研究担当）	谷 川 惠 一

【研究部】

研究主幹	大友一雄
研究主幹	小林健二
研究主幹	田中大士

【情報事業センター】

センター長 (兼任)	寺島恒世
調査収集事業部長	落合博志
電子情報事業部長	古瀬蔵
情報資料サービス事業部長	大高洋司
学術企画連携部長 (兼任)	大友一雄

【古典籍共同研究事業センター】

センター長 (兼任)	今西祐一郎
副センター長	山本和明

【総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻】

専攻長	山下則子
-----	------

【管理部】

管理部長	井深順二
※古典籍共同研究事業センター事務室長 (兼任)	
総務課長	岡田耕作
財務課長	谷口潤
学術情報課長	大塚克威

X II 大学院教育

1 総合研究大学院大学

総研大日本文学研究専攻では、平成 15 年度から後期 3 年の博士課程教育を実施している。
平成 27 年度は、入学者 1 名、修了者 1 名であった。

《平成 27 年度 入学者》

初年度研究計画	主任指導教員	副指導教員
「近代文学と能」－近代における能の受容－	小林健二	太田尚宏、野網摩利子

《平成 27 年度 修了者》

博士論文題目	主任指導教員	副指導教員
『徒然草』の漢籍受容と漢訳・継承	相田 満	陳 捷、海野圭介

2 特別共同利用研究員

大学の要請に応じ、大学院における教育研究に協力するため、日本文学、歴史学及びこれらに関連する分野を専攻する大学院生に対し研究指導を行う特別共同利用研究員制度を実施している。平成 27 年度には、全国の大学から 9 名の大学院生を受け入れた。

《平成 27 年度 特別共同利用研究員》

所属	学年	研究課題（予定）	指導教員
東京大学	D 3	稚児物語の解釈－その成立環境や関連作品を視野に入れて－	小林健二
お茶の水女子大学	M 1	日中アーカイブズの比較に関する研究	大友一雄
お茶の水女子大学	M 1	律令における刑罰規定の解釈と運用	太田尚宏
お茶の水女子大学	M 1	植民地体制での文書管理における管理者と利用者の関係	青木 睦
お茶の水女子大学	M 1	馬込家文書にみる家の機能	渡辺浩一
お茶の水女子大学	M 1	資料整理の理論と実践に関する研究	大友一雄
学習院大学	M 1	分散史資料のアーカイブズ学的処置	西村慎太郎
武蔵野大学	M 1	近代戯曲作品の研究	青田寿美
早稲田大学	D 3	源通具の文学－漢詩作者という側面－	小山順子

XIII 総務・財務

1 総務

(1) 自己点検・評価及び外部評価について

当館の事業・研究について、評価委員会及び外部委員を含む各種委員会において、自己点検・評価を行い、その結果に基づき、人間文化研究機構の平成 27 事業年度に係る業務の実績報告書を作成するとともに、外部委員から出された意見を汲み上げ、当館の運営改善に努めた。

また、平成 27 年度が第 2 期中期目標・計画期間の最終年度であるため、評価委員会を中心に期末評価のための作業を実施するとともに、外部評価委員会において、第 2 期中期目標・計画期間における研究業績の評価を受け、その結果に基づき、業務実績報告書、研究業績説明書、研究に関する現況調査表及び達成状況報告書を作成した。

(2) 事務の合理化

①外部委託、組織の見直し等による事務の合理化

a. 事務の効率化を図るため、図書データ遡及入力作業の外部委託を行った。また、屋上緑化部分笹刈等作業について、蜂駆除もあわせて外部委託を行い、敷地内整備業務の合理化を行った。

b. 外来研究員室の鍵をシリンダー錠から電子錠に変更し、研究者の利便性を高めるとともに、研究室のセキュリティを向上させた。

c. 日本学術振興会特別研究員が職員と同様に健康診断を受診できるようにした。

②共同研究支援体制の整備

古典籍共同研究事業センターに古典籍共同研究係を設置し、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に係る共同研究の支援体制を整備した。

(3) 事務職員・技術職員の選考・採用・人事交流状況

平成 27 年度においては、転入職員 1 名を採用したほか、人事の活性化を図るため、以下のとおり他機関との人事交流を行った。

・東京学芸大学より 1 名（4 月 1 日付け）

(4) 外部資金による任期付き研究者の採用について

科学研究費補助金によるプロジェクト研究員を 4 月 1 日に 1 名（継続）、10 月 1 日に 1 名（新規）を採用した。また、日本関連在外資料の調査研究でプロジェクト研究員を 4 月 1 日に 1 名（継続）で採用した。

(5) 職員の研修について

①国大協及び西東京地区の国立大学法人等が共同開催する各種研修に、職員を積極的に参加させた。また、職員の発表力を育成するため、参加した研修の内容を発表する場を設けた。

②安全で快適な職場環境の維持・確保に努めるため、人事担当職員を安全管理に関する研修である国立大学法人等安全管理協議会に参加させるとともに、災害時に適切な対応を行えるようにするため、職員を防災センター要員講習及び自衛消防技術試験に受講させた。

(6) 超過勤務の管理について

超過勤務縮減のため、各課・係の業務内容、分担等の見直し及び業務の効率化について引き続き要請を行った。

(7) 職員の福利厚生について

年1回の健康診断の実施、引き続き職員の間ドック受診時の費用を一部負担することのほか、産業医を講師として「健康に関する研修会」を開催するなど、職員の健康の保持増進に努めた。

(8) 研究者の交流について

①客員教員

- ・平成27年度の採用状況

教授2名、准教授1名（所属別：国立大学2名、私立大学1名）

- ・平成28年度の採用計画

教授2名（所属別：国立大学1名、私立大学1名）

②機関研究員

- ・平成27年度の採用状況 6名（継続6名）

- ・平成28年度の採用計画 4名（新規2名、継続2名）

③外来研究員

外部資金、他機関等からの経費負担による研究者について、受け入れており、平成27年度は11名（うち外国人4名）を受け入れた。

(9) 外部資金について

科学研究費助成事業、財団法人等が募集する研究助成金、その他の寄附金を積極的に受け入れている。

また、科学研究費助成事業に関して、不採択となった研究課題のうち、日本学術振興会の評価が高かった研究課題について、次年度の採択に向けて申請者に対して支援を行った。

(10) リサーチアシスタントについて

若手研究者育成の観点から、リサーチアシスタントを採用して各共同研究に配置し、研究の補助者として当該研究活動に必要な補助業務を行わせている。

- ・平成26年度の採用状況 6名

（所属別：国立大学3名、私立大学3名）

（研究分野別：文学系3名、歴史学系3名）

うち、当館が基盤機関である総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻の学生は2名。

(11) 知的財産関係について

法人化を契機に、今まで以上に知的財産の保護、円滑な管理及び専門家の養成などが急務となっており、知的財産委員会を組織した。

また、人間文化研究機構本部の知的財産管理室へ2名の職員を室員として配置させるとともに、職員を知的財産セミナーやシンポジウムへ積極的に参加させるなど、知的財産の創造、保護及び活用に対する意識の向上に努めた。

(12) 公的研究費執行の不正防止について

研究費の不正な使用を防止するため、研究費執行のルール及び不正使用した場合の重大性・危険性について、周知徹底を図っている。

2 財務

(1) 平成 27 年度予算について

当初配分額は、1,167,784 千円である。このうち、当館の事業、研究及び管理のための予算として、人件費を除いた 416,769 千円について館内配分を実施した。

館内への予算配分に当たり、当館の中期計画及び年度計画に沿った事業については、各事業部や研究部等から、館長、副館長、管理部長等がヒアリングを行い、前年度の執行状況や決算等を総合的に勘案し、予算編成を行った。

(2) 特別経費について

特別経費「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の経費として 120,000 千円が措置され、画像データを作成、総合書物学の構築を目指す共同研究、公募による共同研究を実施するなど、事業を着実に推進した。

(3) 危機管理について

防災対策の一環として、2月に立川消防署立会のもと、情報・システム研究機構（国立極地研究所及び統計数理研究所）と合同地震火災総合訓練を実施した。

付 賛助会

【概要】

国文学研究資料館では、平成 19 年度から、当館が行う日本文学研究の推進、若手研究者への奨励、国際交流及び社会連携等の諸活動に幅広く支援を得るために賛助会を設置し、平成 27 年度の会員数は、特別会員 1 名、賛助会員（個人）42 名、賛助会員（団体）1 名である。

【会員募集要項】

1 募集対象

当館の事業趣旨に賛同する個人・団体を対象。

2 会員期間

入会日から入会日の属する年度の年度末まで。

3 寄附金

特別会員 一口 10 万円

賛助会員（個人） 一口 3 千円

賛助会員（団体） 一口 1 万円

4 入会申込みと寄附金払込みの方法

入会にあたっては、「会員募集のご案内」に添付の申込書を郵送してもらう。

別途、当館から入金に関する案内を返送する。

5 入会した際の優待

(1) 当館が開催する講演会、展示、シンポジウム、研究集会等の催し案内を送付する。

(2) 当館が刊行する広報誌（概要・ニュース）を送付する。

(3) 特別会員、10 口以上の賛助会員（個人）及び 3 口以上の賛助会員（団体）は、希望により館内に名前（社名等）を掲示する。

(4) 特別会員及び 10 口以上の賛助会員（団体）は、希望により当館のホームページに社名等を掲載する。

(5) その他、当館が主催する催しについて各種優待をする。

【日本古典文学学術賞】

当館賛助会では、日本古典文学会賞を継承し、若手日本古典文学等研究者の奨励、援助を目的として、日本古典文学学術賞を制定している。

本学術賞の対象者は 40 歳未満の研究者であり、1 回の授賞は 3 名以内までとしている。対象とする業績は前年の 1 月から 12 月までに公表された、日本古典文学に関する論文又は著書としている。

選考方法は、当館賛助会に設置している選考委員会委員からの推薦及び過去の受賞者からの推薦による対象者の論文を選考委員会で審議を行うこととしており、受賞者には賞状と賞金 20 万円を授与することとしている。

第 8 回日本古典文学学術賞（対象年：平成 26 年）

受賞者：合山林太郎氏（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授）

研究業績：『幕末・明治期における日本漢詩文の研究』和泉書院 2014 年 2 月